

A工区地質記載シート

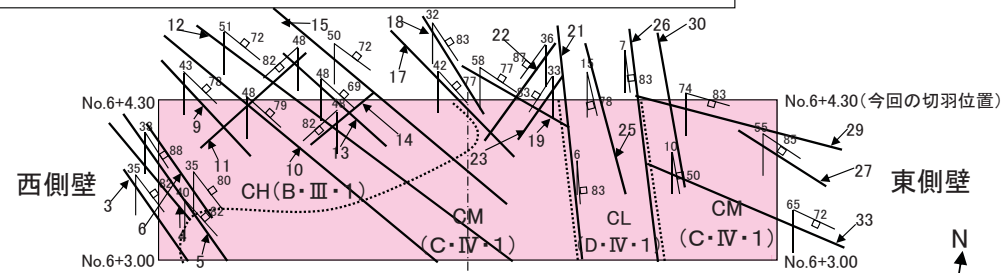
A5-請負-計測工(地質)-130417

シート番号	500mアクセス北坑道40	日時	2013/4/17 15:30~17:00	位置・深度	500mアクセス北坑道40 G.L. -496.6 m~G.L. -500.3 m	観察・撮影者	
-------	---------------	----	--------------------------	-------	--	--------	--

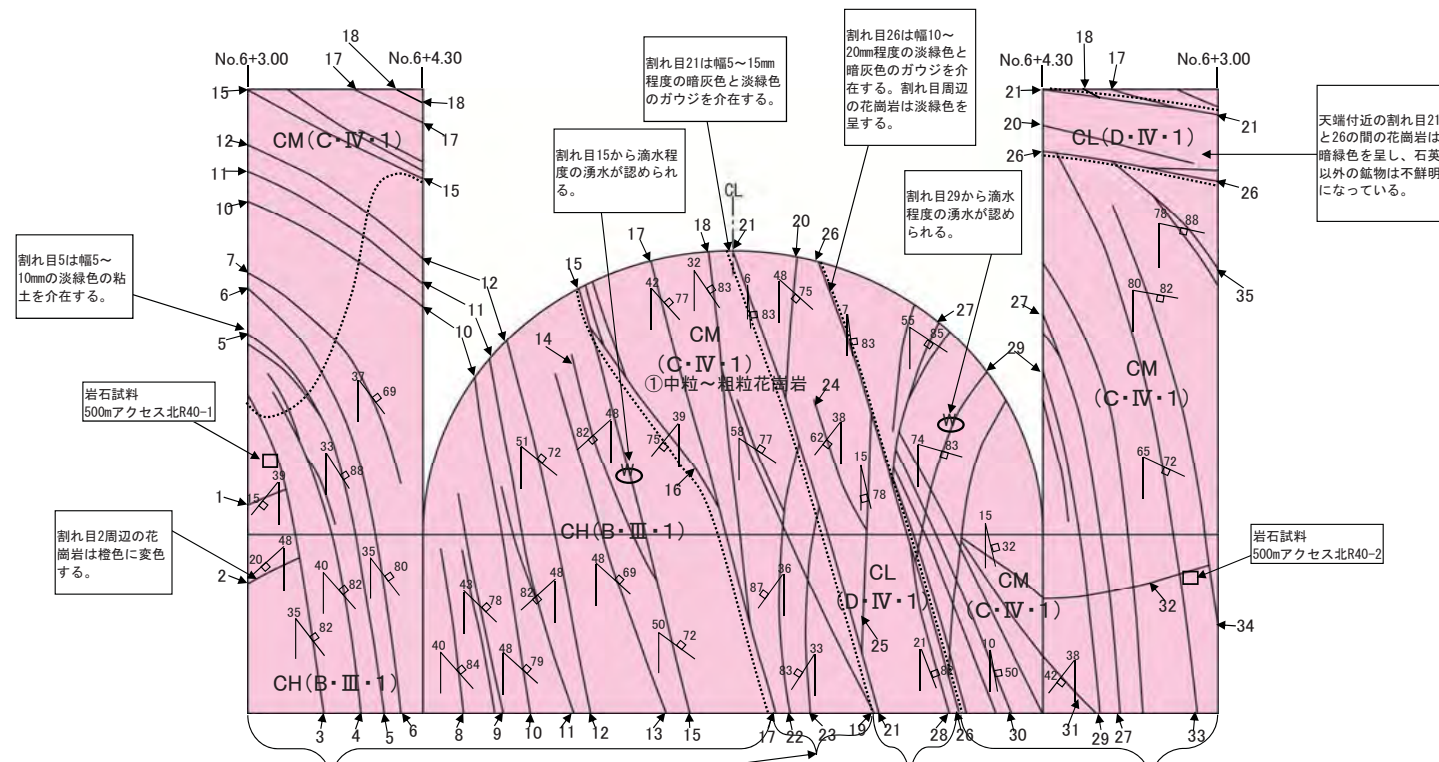
総括監督員	主任監督員	監督員	担当者

請負人 大林・大成・安藤ハザマ特定建設工事共同企業体
現場代理人

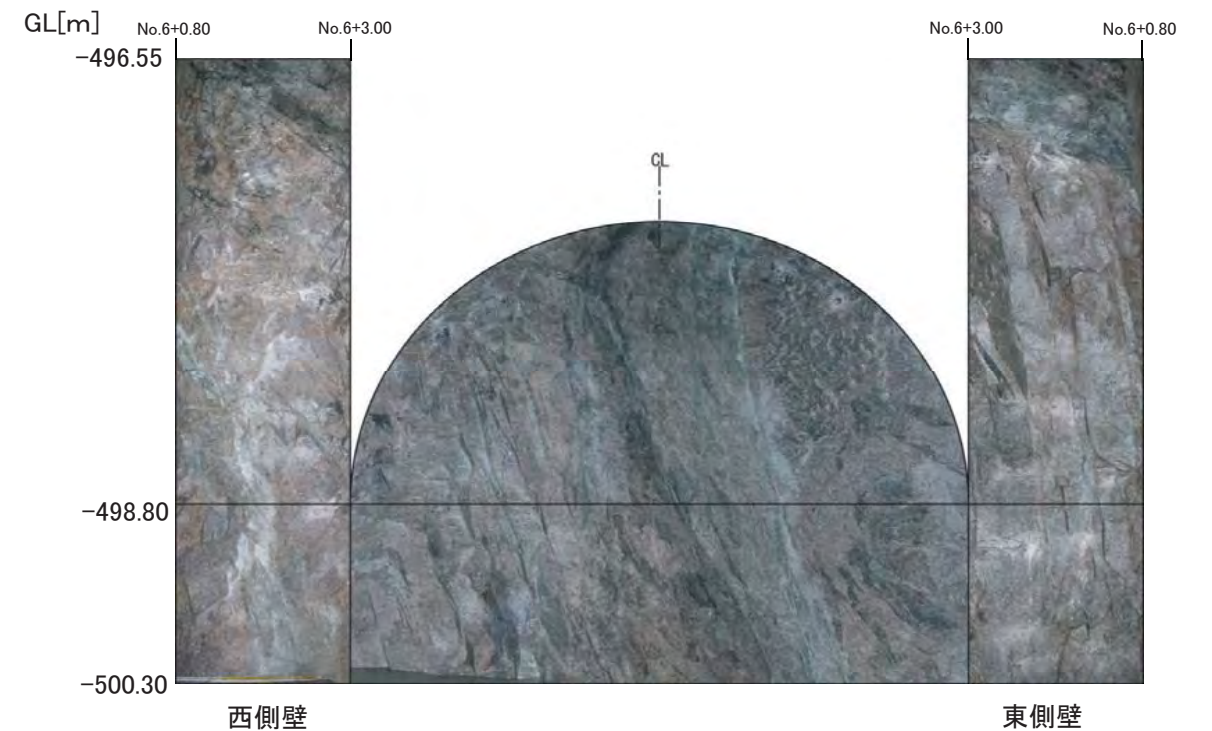
凡例 花崗岩 割れ目 割れ目の走向傾斜 岩級区分境界 湧水



スライス断面図



スケッチ



可視画像



NW走向高角度東~北傾斜の割れ目が20~30cm程度の間隔で認められ、このNW走向の割れ目で止まるNE走向低角度東傾斜の割れ目1, 2が認められる。他にNE走向高角度東傾斜の割れ目14, 16が認められる。
割れ目はクロライトとカルサイト、淡緑色の粘土を介在する。花崗岩の変質の程度は弱く、ほとんどの有色鉱物が残存している。花崗岩は西側壁付近では淡桃色を呈し、鏡面付近では橙色を呈する。ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さ。

NW走向高角度北~東傾斜の割れ目が6~20cm程度の間隔で、NE走向高角度西傾斜の割れ目が10~20cm程度の間隔で認められる。割れ目にはカルサイト、クロライト、淡緑色の粘土を介在する。花崗岩は中程度の変質を受け、黒雲母などの有色鉱物の半数程度がクロライトに置き換わる。花崗岩は全体に橙色を呈する。ハンマーの打撃で金属音を発する程度の硬さ。

NW走向高角度東傾斜の割れ目が15~20cm程度の間隔で認められる。他に、NW走向高角度西~南傾斜の割れ目20, 25やNE走向高角度東傾斜の割れ目24が認められる。割れ目にはカルサイト、クロライト、白色の粘土を介在する。割れ目21, 26は暗灰色や淡緑色のガウジを介在する。花崗岩の変質は強く、黒雲母などの有色鉱物はほとんどクロライトに置き換わる。花崗岩は全体に暗緑色または淡緑色を呈する。ハンマーの打撃で濁った音を発する程度の硬さ。

WNW走向高角度南傾斜とNNW走向中角度東傾斜の割れ目が6~15cm程度の間隔で認められる。割れ目にはクロライト、カルサイト、淡緑色の粘土を介在する。花崗岩の変質は中程度で、黒雲母などの有色鉱物の半数程度がクロライトに置き換わる。花崗岩は全体に橙色を呈する。ハンマーの打撃で金属音を発する程度の硬さ。

岩種	花崗岩	電研式岩級	G.L. -496.55m~-499.05m CH/CM/CL G.L. -499.05m~-500.3m CH/CM/CL
岩相	①中粒~粗粒花崗岩 (淡桃色、橙色、淡緑色、暗緑色)	RMR値	G.L. -496.55m~-499.05m 24 G.L. -499.05m~-500.3m 30
風化	α	岩石試料番号	500mアクセス北R40-1 (花崗岩), 500mアクセス北R40-2 (花崗岩)
変質	1~4	採水試料番号	-
湧水	滴水		

特記事項

当箇所はアクセス北坑道であり、掘進方向はN9° W方向である。横坑観察は切羽から1.3m離れた場所より目視観察を実施した。
岩種は花崗岩で、岩相は石英の粒径がφ2~8mm程度の中粒~粗粒花崗岩である。花崗岩の変質の程度は、割れ目21付近から割れ目26付近の間は、強変質により有色鉱物はほとんどクロライトに置き換わっている。この間の花崗岩は全体に淡緑色または暗緑色を呈する。割れ目17付近から割れ目21付近の間と割れ目26付近から東側は、中程度の変質により、有色鉱物の半数程度がクロライトに置き換わり、カリ長石は橙色を呈する。割れ目17付近から西側では変質の程度が弱く、有色鉱物の一部がクロライトに置き換わる程度で、花崗岩は全体に淡桃色~橙色を呈する。
割れ目の走向傾斜は、割れ目26から西側は、NW走向高角度東~北傾斜が主体で、他にNE走向低角度東傾斜やNE走向高角度東傾斜および高角度西傾斜、NW走向高角度西~南傾斜が認められる。
割れ目26から東側は、WNW走向高角度南傾斜とNNW走向中角度東傾斜が認められる。

割れ目21と26は幅5~20mm程度のガウジを介在することから、せん断割れ目と判断した。割れ目の介在物は、カルサイト、クロライト、淡緑色の粘土、白色の粘土が認められる。湧水は鏡中央付近の割れ目15, 29から滴水程度で認められた。
岩級区分は、割れ目17付近から西側では、割れ目間隔が20~30cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、CH (B・Ⅲ・1) 級と評価した。割れ目17付近から割れ目21付近の間と、割れ目26付近から東側は、割れ目間隔が6~20cm程度で、ハンマーの打撃で金属音を発する程度の硬さであることから、CM (C・Ⅳ・1) 級と評価した。割れ目21付近から割れ目26付近までの間は、割れ目間隔が15~20cm程度で、ハンマーの打撃で濁った音を発する程度の硬さであることから、CL (D・Ⅳ・1) 級と評価した。

A工区地質記載シート

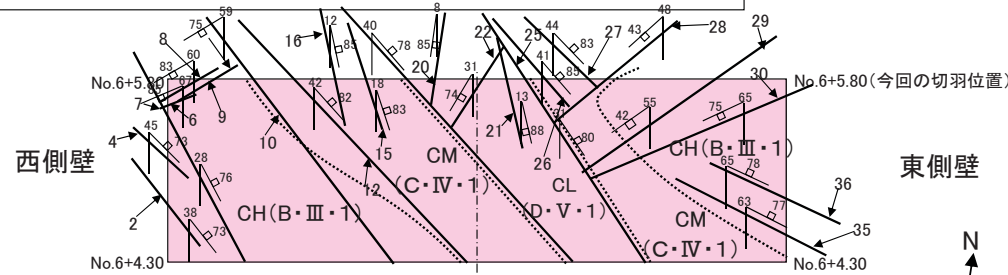
A5-請負-計測工(地質)-130420

シート番号	500mアクセス北坑道41	日時	2013/4/20 11:00~12:30	位置・深度	500mアクセス北坑道41 G.L. -496.73 m~G.L. -500.48 m	観察・撮影者	
-------	---------------	----	--------------------------	-------	--	--------	--

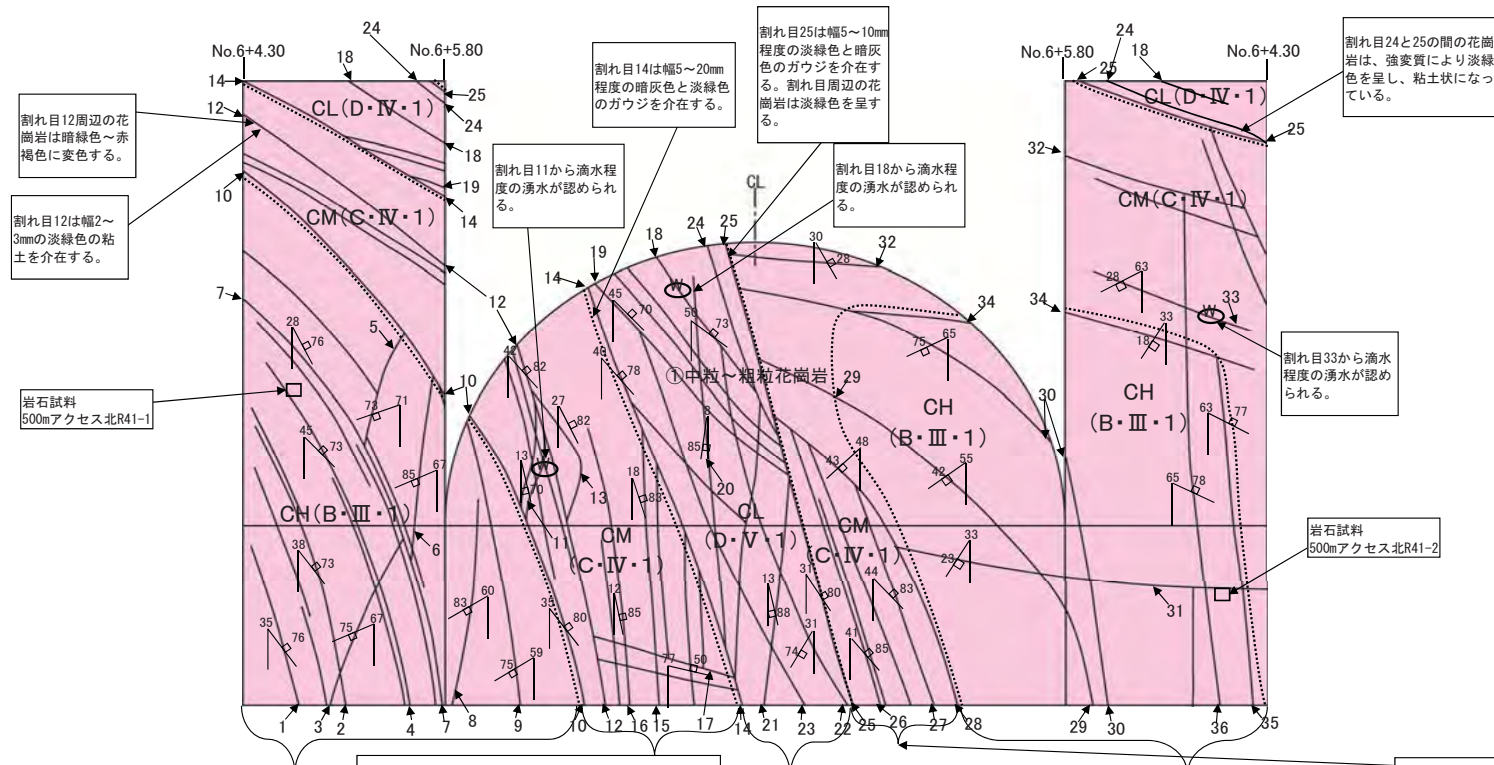
総括監督員	主任監督員	監督員	担当者

請負人 大林・大成・安藤ハザマ特定建設工事共同企業体
現場代理人

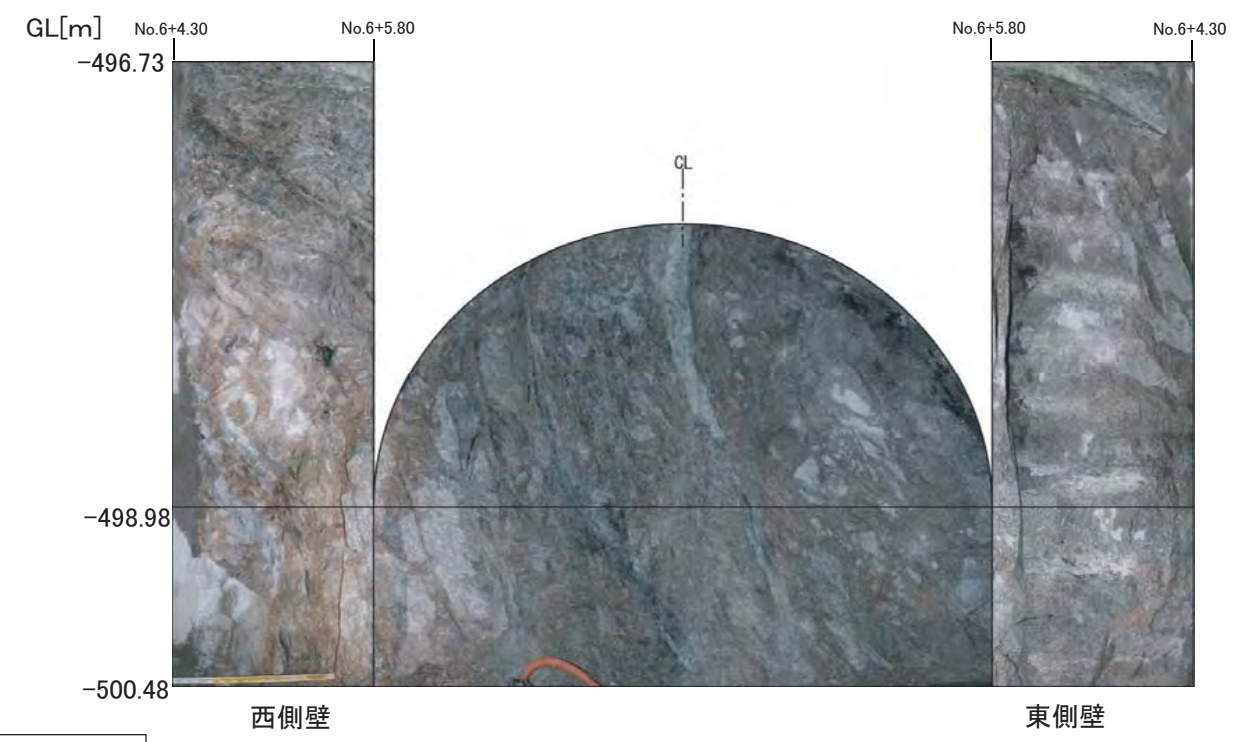
凡例 花崗岩 割れ目 割れ目の走向傾斜 岩級区分境界 湧水



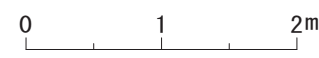
スライス断面図



スケッチ



可視画像



割れ目12周辺の花崗岩は暗緑色～赤褐色に変色する。
割れ目12は幅2～3mmの淡緑色の粘土を介在する。
岩石試料 500mアクセス北R41-1

割れ目14は幅5～20mm程度の暗灰色と淡緑色のガウジを介在する。
割れ目11から滴水程度の湧水が認められる。
割れ目18から滴水程度の湧水が認められる。
割れ目25は幅5～10mm程度の淡緑色と暗灰色のガウジを介在する。割れ目周辺の花崗岩は淡緑色を呈する。
割れ目24と25の間の花崗岩は、強変質により淡緑色を呈し、粘土状になっている。
割れ目33から滴水程度の湧水が認められる。
岩石試料 500mアクセス北R41-2

NW走向高角度東～北傾斜の割れ目が20～30cm程度の間隔で認められる。他に、NW走向高角度西傾斜の割れ目11、NNW走向高角度東傾斜の割れ目15、16、WNW走向高角度北傾斜の割れ目17が認められる。割れ目にはカルサイト、クロライト、淡緑色の粘土を介在する。花崗岩は中程度の変質を受け、黒雲母などの有色鉱物の半数程度がクロライトに置き換わる。花崗岩は全体に橙色を呈する。ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さ。

NW走向高角度北～東傾斜の割れ目が3～10cm程度の間隔で認められる。他に、NE走向高角度東傾斜の割れ目22、23やNNW走向高角度東傾斜と西傾斜の割れ目20、21が認められる。割れ目にはカルサイト、クロライト、白色の粘土を介在する。割れ目14、25は暗灰色と淡緑色のガウジを介在する。花崗岩は強～中程度の変質を受け、黒雲母などの有色鉱物はほとんどクロライトに置き換わる。花崗岩は全体に暗緑色または淡緑色を呈する。ハンマーの打撃で濁った音を発する程度の硬さ。

NNW走向高角度北傾斜の割れ目が20～30cm程度の間隔で認められる。他に、NE走向高角度南傾斜の割れ目30、NE走向低角度～中角度東傾斜の割れ目29、31、33、34、NW走向低角度東傾斜の割れ目31が認められる。割れ目はクロライトとカルサイト、淡緑色の粘土を介在する。花崗岩の変質の程度は弱く、ほとんどの有色鉱物が残存している。花崗岩は淡桃色を呈する。ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さ。

NW走向高角度北傾斜とNE走向中角度東傾斜の割れ目が6～15cm程度の間隔で認められる。割れ目にはクロライト、カルサイト、淡緑色の粘土を介在する。花崗岩の変質は中程度で、黒雲母などの有色鉱物の半数程度がクロライトに置き換わる。花崗岩は全体に橙色を呈する。ハンマーの打撃で金属音を発する程度の硬さ。

岩種	花崗岩	電研式岩級	G.L. -496.73m~-498.98m CH/CM/CL
岩相	①中粒～粗粒花崗岩 (淡桃色、橙色、淡緑色、暗緑色)	RMR値	G.L. -496.73m~-498.98m 24 G.L. -498.98m~-500.48m 30
風化	α	岩石試料番号	500mアクセス北R41-1 (花崗岩), 500mアクセス北R41-2 (花崗岩)
変質	1~4	採水試料番号	-
湧水	滴水		

特記事項

当箇所はアクセス北坑道であり、掘進方向はN9°W方向である。横坑観察は切羽から1.5m離れた場所より目視観察を実施した。
岩種は花崗岩で、岩相は石英の粒径がφ2～8mm程度の中粒～粗粒花崗岩である。花崗岩の変質の程度は、割れ目14から割れ目25までの間は、強変質により有色鉱物はほとんどクロライトに置き換わっている。この間の花崗岩は全体に淡緑色または暗緑色を呈する。割れ目10付近から割れ目14までと割れ目25から割れ目28付近までの間は、中程度の変質により、有色鉱物の半数程度がクロライトに置き換わり、カリ長石は橙色を呈する。割れ目10付近から西側と割れ目28付近から東側では、変質の程度が弱く、有色鉱物の一部がクロライトに置き換わる程度で、花崗岩は全体に淡桃色～橙色を呈する。
割れ目の走向傾斜は、NW走向高角度東～北傾斜が主体で、他にNE走向高角度東～南傾斜、NW走向高角度西傾斜、NNW走向高角度東傾斜と西傾斜、WNW走向中角度北傾斜、NE走向低角度～中角度東傾斜、NW走向低角度東傾斜が認められる。

割れ目14と25は幅5～20mm程度のガウジを介在することから、せん断割れ目と判断した。割れ目の介在物は、カルサイト、クロライト、淡緑色の粘土、白色の粘土が認められる。湧水は鏡中央付近の割れ目11、18と東側壁の割れ目33から滴水程度で認められる。岩級区分は、割れ目10付近から西側と割れ目28付近から東側では、割れ目間隔が20～30cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、CH(B・Ⅲ・1)級と評価した。割れ目10付近から割れ目14の間と、割れ目25から割れ目28付近までの間は、割れ目間隔が6～15cm程度で、ハンマーの打撃で金属音を発する程度の硬さであることから、CM(C・Ⅳ・1)級と評価した。割れ目14から割れ目25までの間は、割れ目間隔が3～10cm程度で、ハンマーの打撃で濁った音を発する程度の硬さであることから、CL(D・Ⅴ・1)級と評価した。

A工区地質記載シート

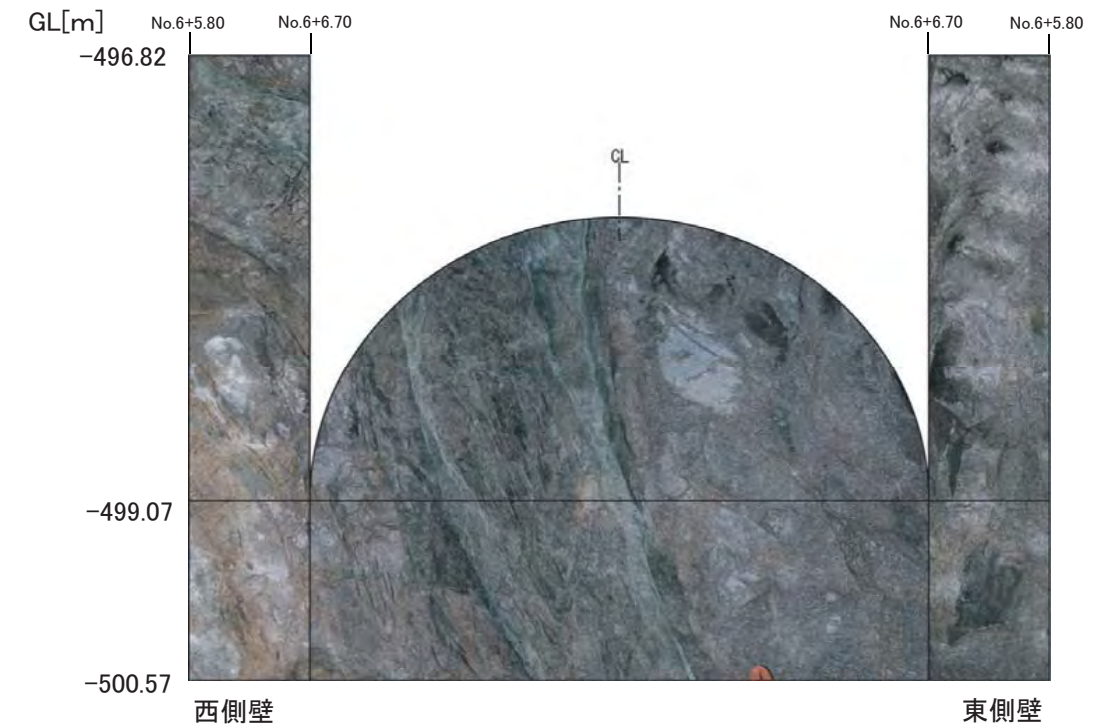
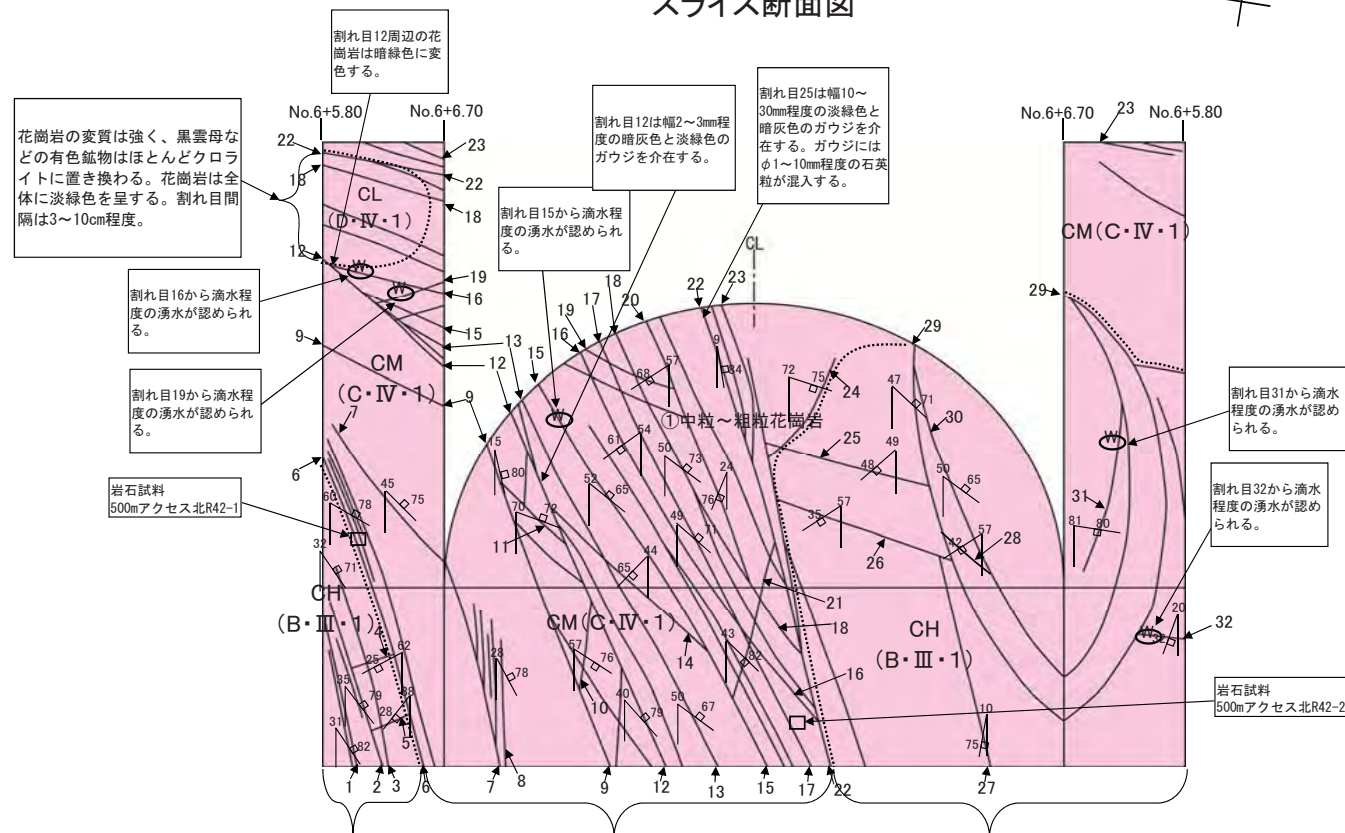
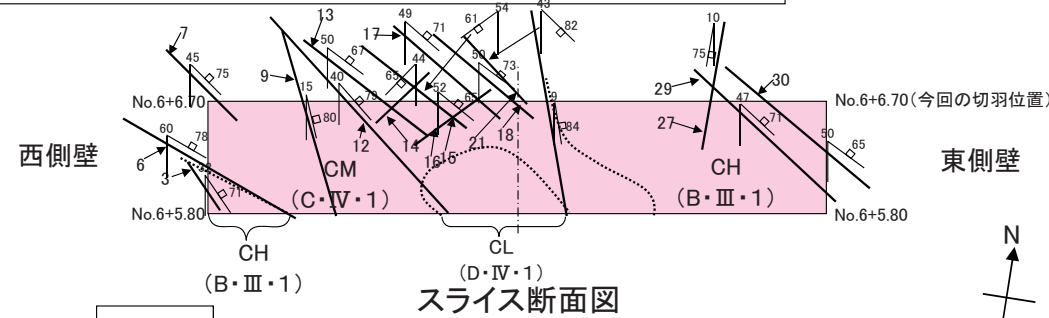
A5-請負-計測工(地質)-130422

シート番号	500mアクセス北坑道42	日時	2013/4/22 16:00~17:30	位置・深度	500mアクセス北坑道42 G.L. -496.82 m~G.L. -500.57 m	観察・撮影者	
-------	---------------	----	--------------------------	-------	--	--------	--

総括監督員	主任監督員	監督員	担当者

請負人 大林・大成・安藤ハザマ特定建設工事共同企業体
現場代理人

凡例 花崗岩 割れ目 割れ目の走向傾斜 岩級区分境界 湧水



スケッチ

NW走向高角度東~北傾斜の割れ目が20~30cm程度の間隔で認められ、このNW走向の割れ目で止まるNE走向低角度東~南傾斜の割れ目が認められる。割れ目はクォーライトとカルサイト、淡緑色の粘土を介在する。花崗岩の変質の程度は弱く、ほとんどの有色鉱物が残存している。カリ長石は橙色に変色しており、花崗岩全体としては橙色を呈する。ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さ。

NW走向高角度北~東傾斜の割れ目とNW走向高角度南傾斜の割れ目、NE走向高角度東~南傾斜の割れ目が6~20cm程度の間隔で認められる。割れ目にはカルサイト、クォーライト、淡緑色の粘土を介在する。花崗岩は中程度の変質を受け、黒雲母などの有色鉱物の半数以上がクォーライトに置き換わる。花崗岩は全体に橙色を呈する。ハンマーの打撃で金属音を発する程度の硬さ。

NW走向高角度北傾斜の割れ目が20~60cm程度の間隔で、NE走向中角度東~南傾斜の割れ目が30~50cm間隔で認められる。他に、WNW走向高角度南傾斜の割れ目27が認められる。割れ目はクォーライトとカルサイトを介在する。花崗岩の変質の程度は弱く、ほとんどの有色鉱物が残存している。花崗岩は淡桃色を呈する。ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さ。

岩種	花崗岩	電研式岩級	G.L. -496.82m~-499.07m G.L. -499.07m~-500.57m	CH/CM/CL CH/CM
岩相	①中粒~粗粒花崗岩 (淡桃色、橙色、淡緑色、暗緑色)	RMR値	G.L. -496.82m~-499.07m G.L. -499.07m~-500.57m	28 34
風化	α	岩石試料番号	500mアクセス北R42-1 (花崗岩), 500mアクセス北R42-2 (花崗岩)	
変質	1~4	採水試料番号	-	
湧水	滴水			

特記事項

当箇所はアクセス北坑道であり、掘進方向はN9°W方向である。横坑観察は切羽から0.9m離れた場所より目視観察を実施した。

岩種は花崗岩で、岩相は石英の粒径がφ2~8mm程度の中粒~粗粒花崗岩である。花崗岩の変質の程度は、天端付近の割れ目12から割れ目22までの間は、強変質により有色鉱物はほとんどクォーライトに置き換わっている。この間の花崗岩は全体に淡緑色または暗緑色を呈する。割れ目6付近から割れ目22までの間は、中程度の変質により、有色鉱物の半数程度がクォーライトに置き換わり、カリ長石は橙色を呈する。割れ目6付近から西側と割れ目22から東側では、変質の程度が弱く、有色鉱物の一部がクォーライトに置き換わる程度で、花崗岩は全体に淡桃色~橙色を呈する。割れ目の走向傾斜は、NW走向高角度東~北傾斜が主体で、他にNW走向高角度南傾斜、NE走向低角度東~南傾斜、NE走向高角度東~南傾斜、NE走向中角度東~南傾斜、WNW走向高角度南傾斜、NNE走向高角度東傾斜が認められる。

割れ目12と22は幅2~30mm程度のガウジを介在することから、せん断割れ目と判断した。割れ目の介在物は、カルサイト、クォーライト、淡緑色の粘土が認められる。湧水は鏡中央付近の割れ目15と天端付近の割れ目19、東側壁の割れ目31、32から滴水程度で認められた。

岩級区分は、割れ目6付近から西側と割れ目22付近から東側では、割れ目間隔が20~60cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、CH (B・Ⅲ・1) 級と評価した。割れ目6付近から割れ目22の間は、割れ目間隔が6~20cm程度で、ハンマーの打撃で金属音を発する程度の硬さであることから、CM (C・Ⅳ・1) 級と評価した。割れ目12から割れ目22までの間の天端付近は、割れ目間隔が3~10cm程度で、ハンマーの打撃で濁った音を発する程度の硬さであることから、CL (D・Ⅳ・1) 級と評価した。

A工区地質記載シート

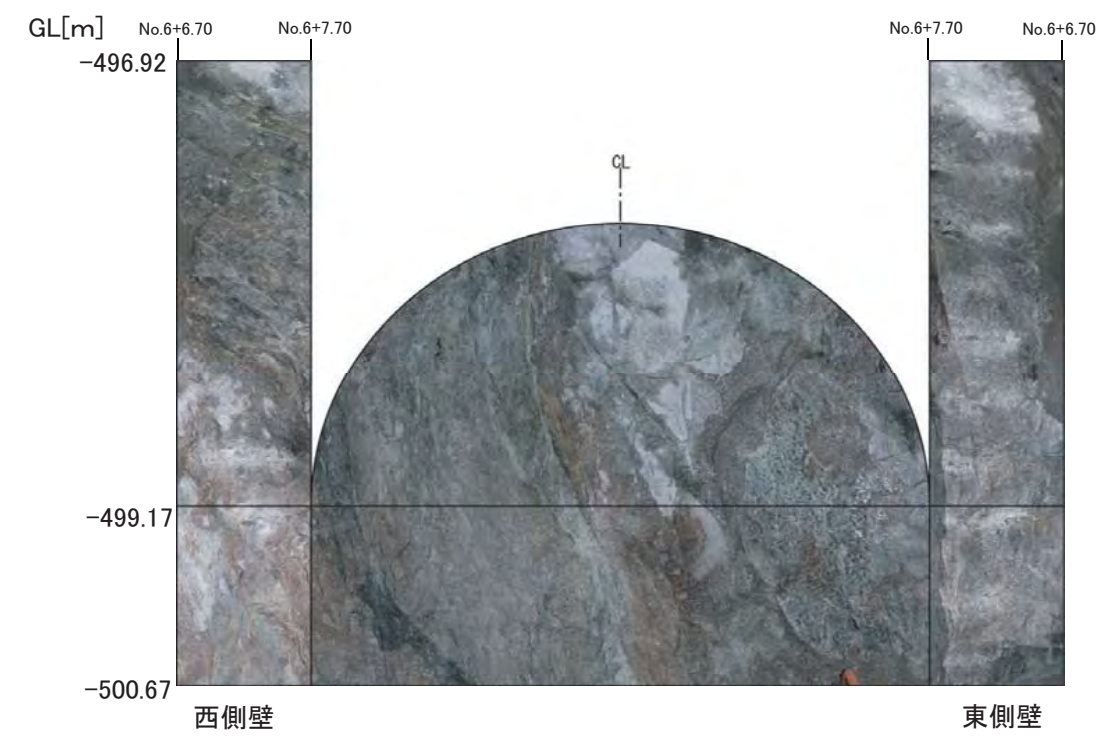
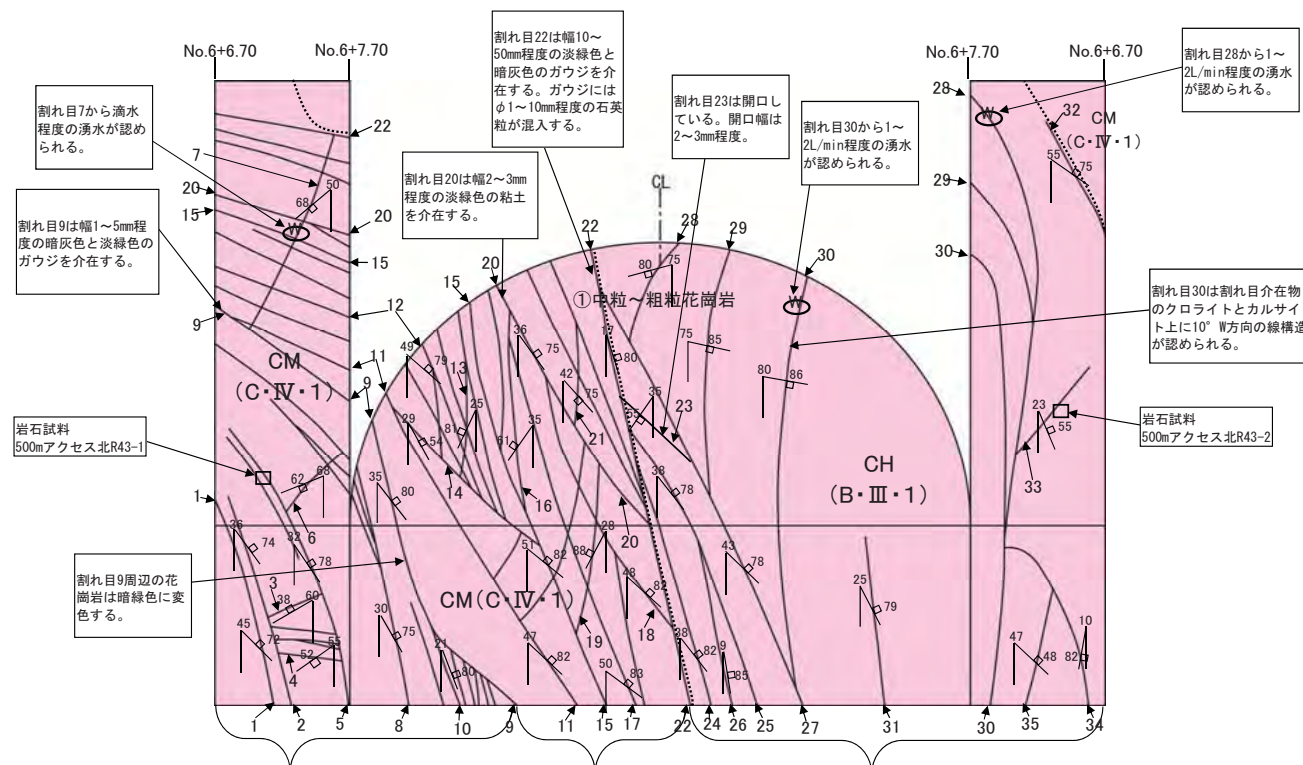
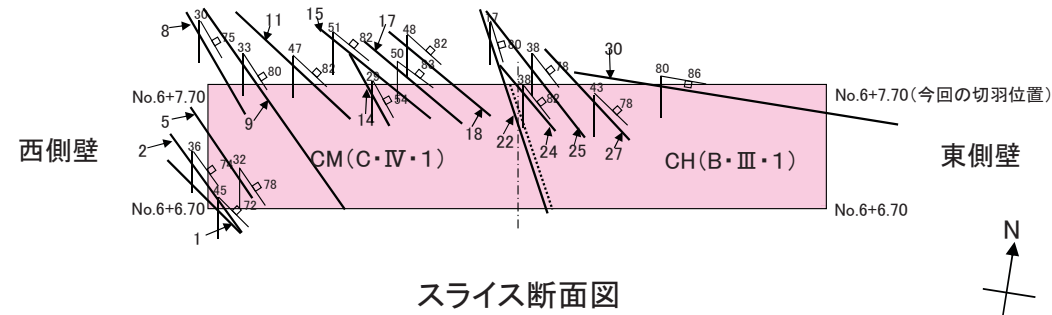
A5-請負-計測工(地質)-130424

シート番号	500mアクセス北坑道43	日時	2013/4/24 10:00~11:30	位置・深度	500mアクセス北坑道43 G.L. -496.92 m~G.L. -500.67 m	観察・撮影者	
-------	---------------	----	--------------------------	-------	--	--------	--

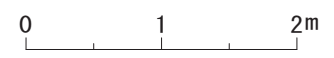
総括監督員	主任監督員	監督員	担当者

請負人 大林・大成・安藤ハザマ特定建設工事共同企業体
現場代理人

凡例 花崗岩 割れ目 割れ目の走向傾斜 岩級区分境界 湧水



可視画像



スケッチ

NW走向高角度東~北傾斜の割れ目が10~20cm程度の間隔で認められ、このNW走向の割れ目で止まるNE走向中角度北傾斜とNE走向中~高角度南傾斜の割れ目が認められる。割れ目はクロライトとカルサイト、淡緑色の粘土を介在する。割れ目はクロライトとカルサイト、淡緑色の粘土を介在する。花崗岩の変質の程度は弱く、ほとんどの有色鉱物が残存している。カリ長石は橙色に変色しており、花崗岩全体としては橙色を呈する。ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さ。

NW走向高角度北~東傾斜の割れ目とNNE走向高角度西傾斜の割れ目が6~15cm程度の間隔で認められる。割れ目にはカルサイト、クロライト、淡緑色の粘土を介在する。花崗岩は中程度の変質を受け、黒雲母などの有色鉱物の半数以上がクロライトに置き換わる。花崗岩は全体に橙色~淡緑色を呈する。ハンマーの打撃で金属音を発する程度の硬さ。

NW走向高角度東~北傾斜の割れ目が20~60cm程度の間隔で認められる。他に、WNW走向高角度南傾斜の割れ目29, 30、NNE走向中~高角度東傾斜の割れ目23, 28, 34が認められる。割れ目はクロライトとカルサイトを介在する。花崗岩の変質の程度は弱く、ほとんどの有色鉱物が残存している。花崗岩は淡桃色を呈する。ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さ。

岩種	花崗岩	電研式岩級	G.L. -496.92m~-499.17m CH/CM G.L. -499.17m~-500.67m CH/CM
岩相	①中粒~粗粒花崗岩 (淡桃色、橙色、淡緑色、暗緑色)	RMR値	G.L. -496.92m~-499.17m 22 G.L. -499.17m~-500.67m 37
風化	α	岩石試料番号	500mアクセス北R43-1 (花崗岩), 500mアクセス北R43-2 (花崗岩)
変質	1~4	採水試料番号	-
湧水	1~2L/min		

特記事項

当箇所はアクセス北坑道であり、掘進方向はN9° W方向である。横坑観察は切羽から1.0m離れた場所より目視観察を実施した。
岩種は花崗岩で、岩相は石英の粒径がφ2~8mm程度の中粒~粗粒花崗岩である。花崗岩の変質の程度は、割れ目9付近から割れ目22までの間は、中程度の変質により、有色鉱物の半数程度がクロライトに置き換わり、カリ長石は橙色を呈する。花崗岩全体としては橙色~淡緑色を呈する。割れ目9付近から西側と割れ目22から東側では、変質の程度が弱く、有色鉱物の一部がクロライトに置き換わる程度で、花崗岩は全体に淡桃色~橙色を呈する。
割れ目の走向傾斜は、NW走向高角度東~北傾斜が主体で、他にNE走向中角度北傾斜とNE走向中~高角度南傾斜、NNE走向高角度西傾斜、WNW走向高角度南傾斜、NNE走向中~高角度東傾斜が認められる。
割れ目9と22は幅1~50mm程度のガウジを介在することから、せん断割れ目と判断した。また、割れ目30は介在物に線構造が認められたことから、せん断割れ目と判断した。
割れ目の介在物は、カルサイト、クロライト、淡緑色の粘土が認められる。
湧水は鑿右肩付近の割れ目30と天端付近の割れ目28から1~2L/min程度の湧水が認められた。また、東側壁の割れ目7からは滴水程度で認められた。
岩級区分は、割れ目22付近から東側では、割れ目間隔が20~60cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、CH (B・III・1) 級と評価した。割れ目22付近から西側では、割れ目間隔が6~15cm程度で、ハンマーの打撃で金属音を発する程度の硬さであることから、CM (C・IV・1) 級と評価した。

A工区地質記載シート

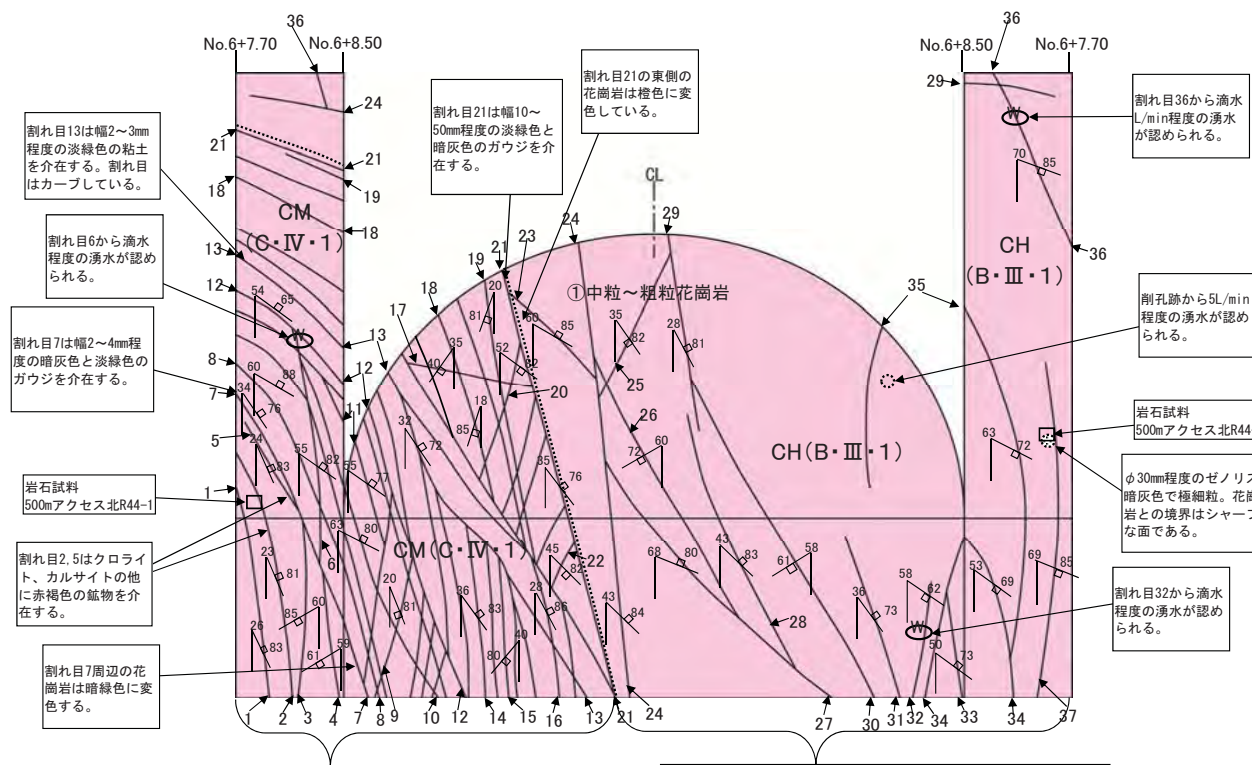
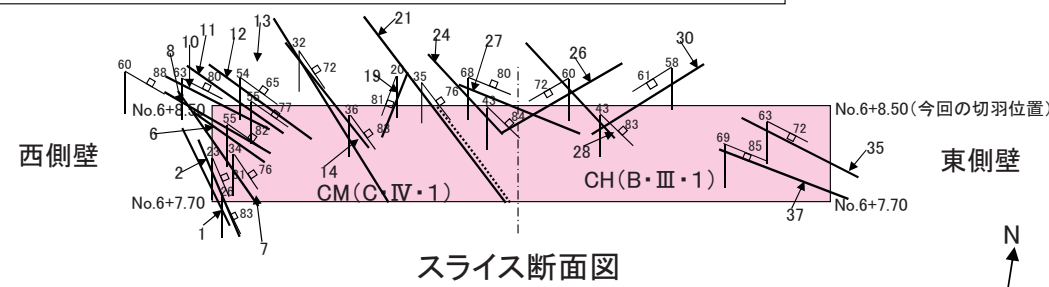
A5-請負-計測工(地質)-130507

シート番号	500mアクセス北坑道44	日時	2013/5/7 16:30~18:00	位置・深度	500mアクセス北坑道44 G.L. -497.00 m~G.L. -500.75 m	観察・撮影者	
-------	---------------	----	-------------------------	-------	--	--------	--

総括監督員	主任監督員	監督員	担当者

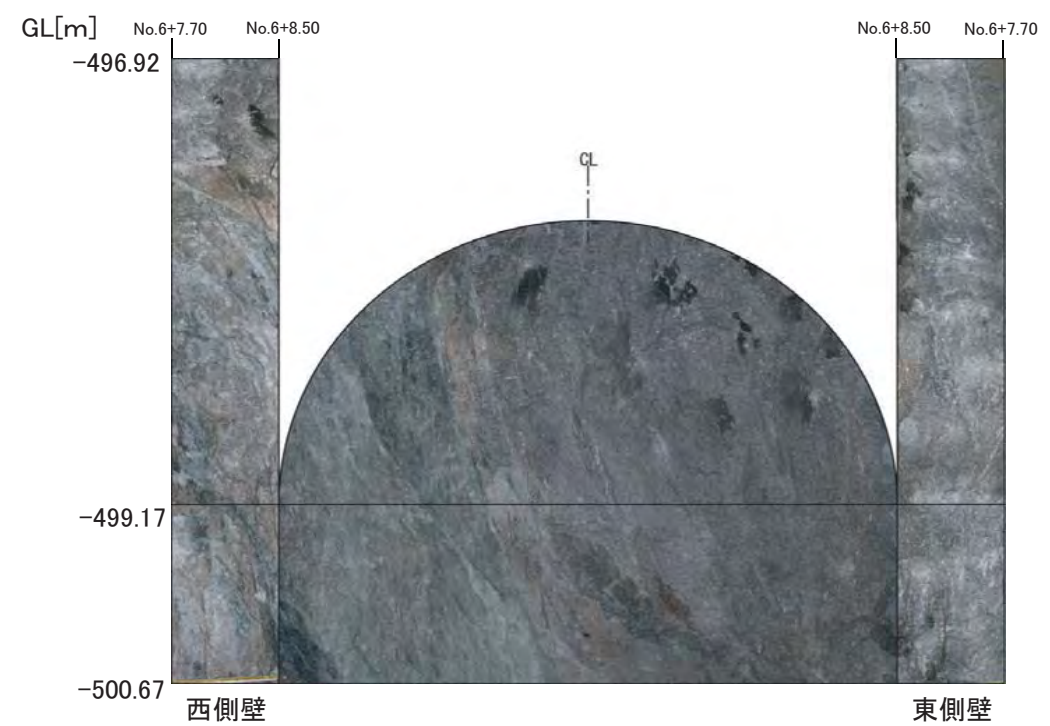
請負人 大林・大成・安藤ハザマ特定建設工事共同企業体
現場代理人

凡例 花崗岩 割れ目 割れ目の走向傾斜 岩級区分境界 湧水



NW走向高角度北~東傾斜の割れ目と、このNW走向の割れ目で止まるNNE~NE走向高角度東~南傾斜の割れ目が6~15cm程度の間隔で認められる。他に、NE走向中角度東傾斜の割れ目17が認められる。割れ目にはカルサイト、クロライト、淡緑色の粘土、白色の粘土、赤褐色の鉱物(ヘマタイトと記載)を介在する。花崗岩は中程度の変質を受け、黒雲母などの有色鉱物の半数以上がクロライトに置き換わる。花崗岩は全体に橙色~淡褐色を呈する。ハンマーの打撃で金属音を発する程度の硬さ。

NW走向高角度東~北傾斜の割れ目とNE走向高角度南傾斜の割れ目が20~60cm程度の間隔で認められる。他に、NW走向高角度西~南傾斜の割れ目25, 32が認められる。割れ目はクロライトとカルサイトを介在する。花崗岩の変質の程度は弱く、ほとんどの有色鉱物が残存している。花崗岩は淡褐色を呈する。ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さ。



可視画像



岩種	花崗岩	電研式岩級	G.L. -497m~-499.25m CH/CM
岩相	①中粒~粗粒花崗岩 (淡桃色、橙色、淡緑色、暗緑色)	RMR値	G.L. -497m~-499.25m 31 G.L. -499.25m~-500.75m 31
風化	α	岩石試料番号	500mアクセス北R44-1 (花崗岩), 500mアクセス北R44-2 (花崗岩)
変質	1~4	採水試料番号	-
湧水	滴水程度		

特記事項

当箇所はアクセス北坑道であり、掘進方向はN9° W方向である。横坑観察は切羽から0.8m離れた場所より目視観察を実施した。

割れ目の介在物は、カルサイト、クロライト、淡緑色の粘土、白色の粘土が認められる。湧水は西側壁の割れ目6と鏡右下の割れ目32、天端付近の割れ目36から滴水程度の湧水が認められた。

岩級区分は、割れ目21から東側では、割れ目間隔が20~60cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、CH(B・III・1)級と評価した。割れ目21から西側では、割れ目間隔が6~15cm程度で、ハンマーの打撃で金属音を発する程度の硬さであることから、CM(C・IV・1)級と評価した。

割れ目21から東側では、変質の程度が弱く、有色鉱物の一部がクロライトに置き換わる程度で、花崗岩は全体に淡褐色を呈する。

割れ目21から西側では、変質の程度が強く、有色鉱物の一部がクロライトに置き換わる程度で、花崗岩は全体に淡褐色を呈する。

割れ目の走向傾斜は、NW走向高角度東~北傾斜が主体で、他にNNE~NE走向高角度東~南傾斜、NE走向高角度南傾斜、NW走向高角度西~南傾斜が認められる。

A工区地質記載シート

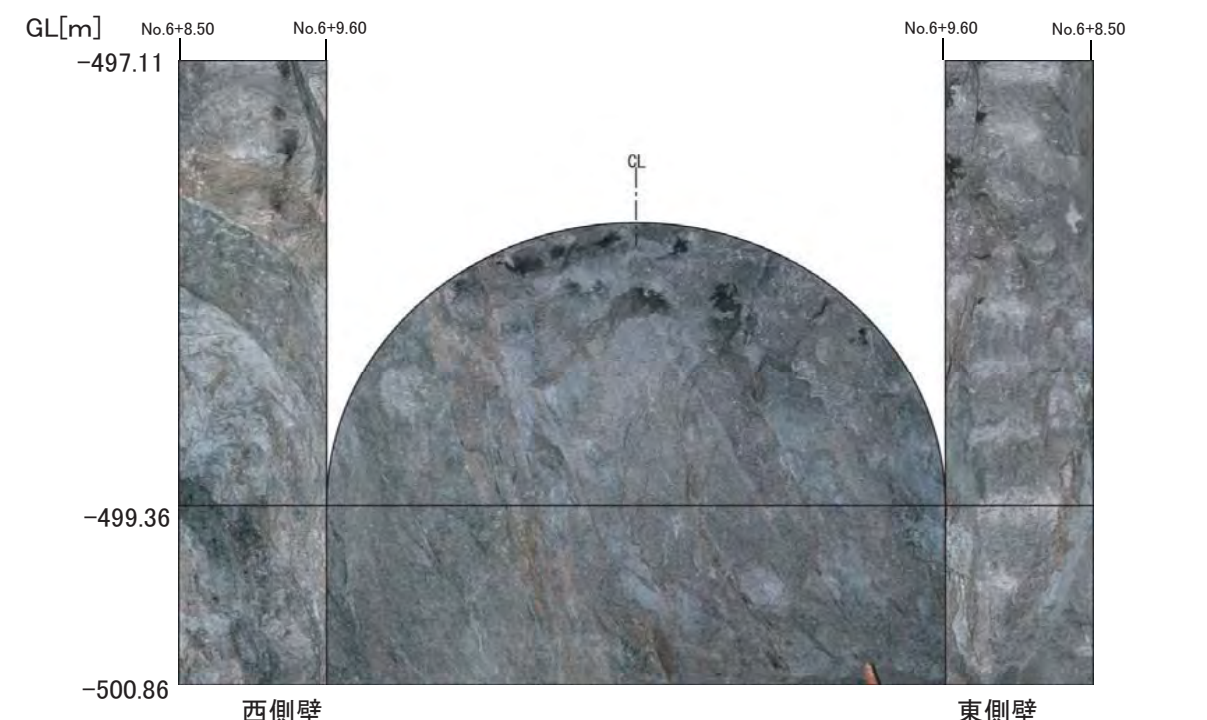
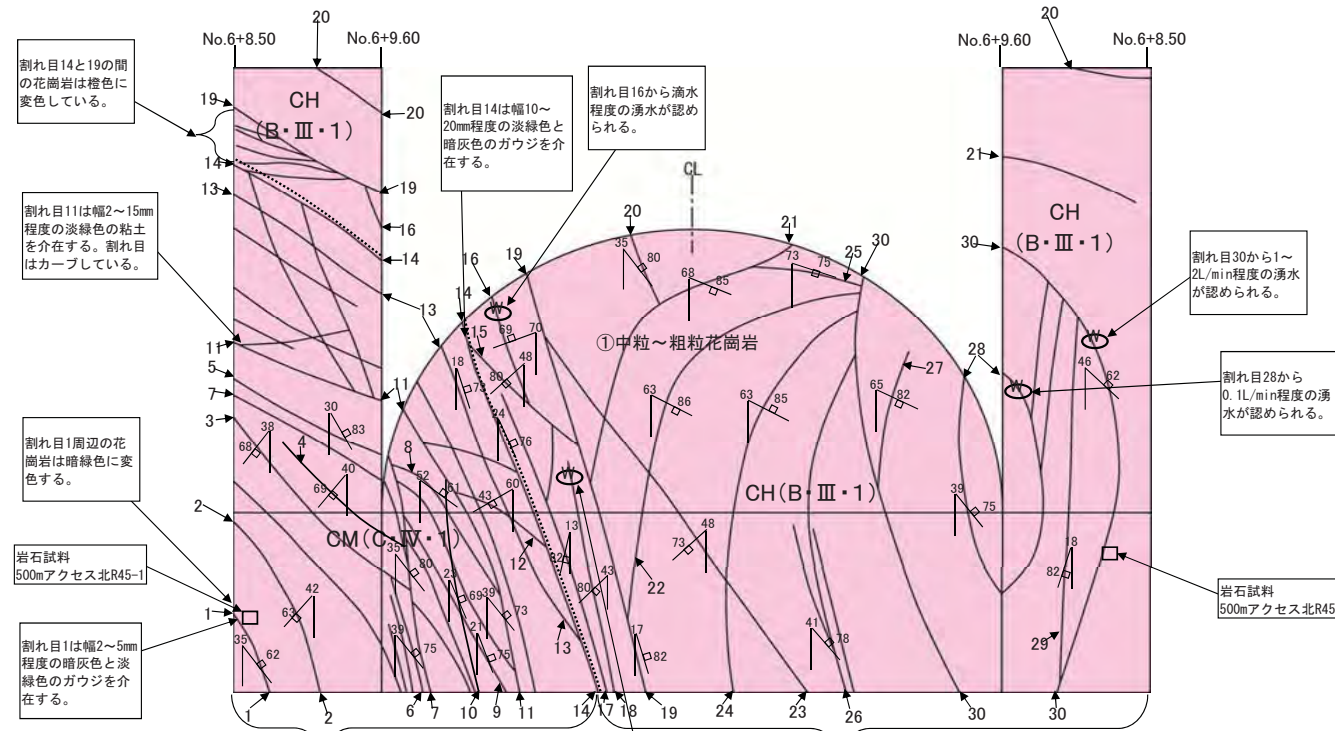
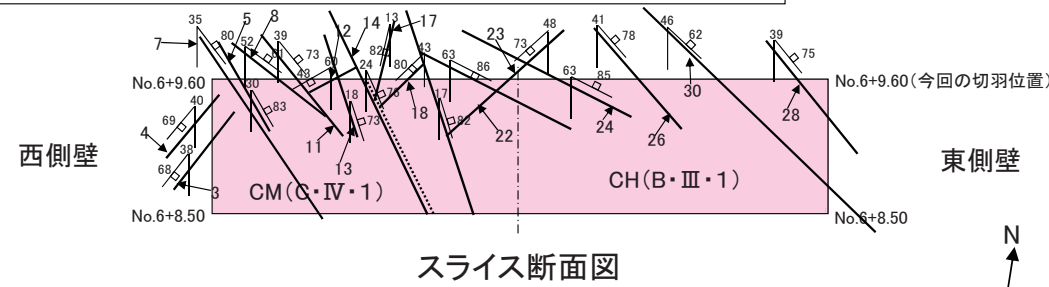
A5-請負-計測工(地質)-130509

シート番号	500mアクセス北坑道45	日時	2013/5/9 10:00~11:30	位置・深度	500mアクセス北坑道45 G.L. -497.11 m~G.L. -500.86 m	観察・撮影者	
-------	---------------	----	-------------------------	-------	--	--------	--

総括監督員	主任監督員	監督員	担当者

請負人 大林・大成・安藤ハザマ特定建設工事共同企業体
現場代理人

凡例 花崗岩 割れ目 割れ目の走向傾斜 岩級区分境界 湧水



スケッチ

岩種	花崗岩	電研式岩級	G.L. -497.11m~-499.36m CH/CM G.L. -499.36m~-500.86m CH/CM
岩相	①中粒~粗粒花崗岩 (淡桃色、橙色、淡緑色、暗緑色)	RMR値	G.L. -497.11m~-499.36m 27 G.L. -499.36m~-500.86m 37
風化	α	岩石試料番号	500mアクセス北R45-1 (花崗岩), 500mアクセス北R45-2 (花崗岩)
変質	1~4	採水試料番号	-
湧水	1~2L/min		

特記事項

当箇所はアクセス北坑道であり、掘進方向はN9°W方向である。横坑観察は切羽から1.1m離れた場所より目視観察を実施した。
 岩種は花崗岩で、岩相は石英の粒径がφ2~8mm程度の中粒~粗粒花崗岩である。花崗岩の変質の程度は、割れ目14から西側は中~強程度の変質により、有色鉱物の半数以上がクロライトに置き換わり、カリ長石は橙色~淡褐色を呈する。花崗岩全体としては橙色または橙色~淡緑色を呈する。
 割れ目14から東側では、変質の程度が弱く、有色鉱物の一部がクロライトに置き換わる程度で、花崗岩は全体に淡桃色を呈する。割れ目14と割れ目19の間は花崗岩が橙色を呈する。
 割れ目の走向傾斜は、NW走向高角度東~北傾斜が主体で、他にNNE~NE走向高角度東~南傾斜、WNW走向高角度北傾斜と南傾斜、NE走向中角度南傾斜、ENE走向高角度北傾斜が認められる。
 割れ目1と14は幅2~20mm程度のガウジを介在することから、せん断割れ目と判断した。割れ目の介在物は、カルサイト、クロライト、淡緑色の粘土、白色の粘土が認められる。湧水は東側壁の割れ目30から1~2L/min程度、割れ目28から0.1L/min程度、鏡面左側の割れ目16と割れ目18から滴水程度の湧水が認められた。
 岩級区分は、割れ目14から東側では、割れ目間隔が20~60cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、CH(B・III・1)級と評価した。割れ目14から西側では、割れ目間隔が6~15cm程度で、ハンマーの打撃で金属音を発する程度の硬さであることから、CM(C・IV・1)級と評価した。

A工区地質記載シート

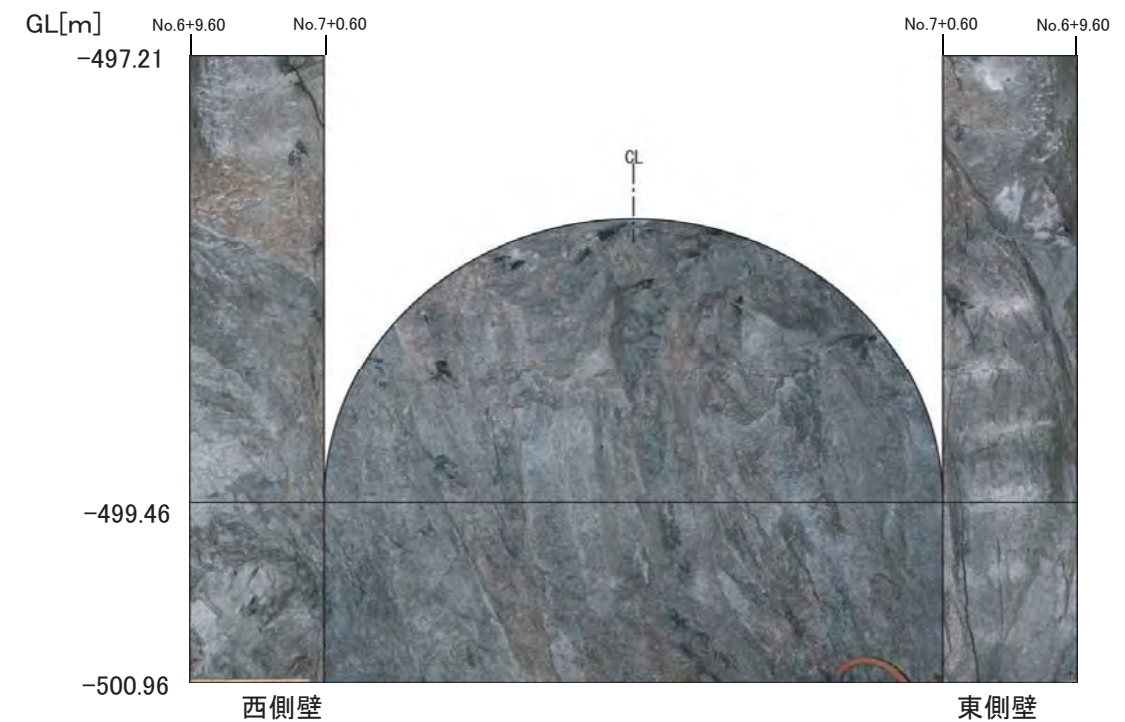
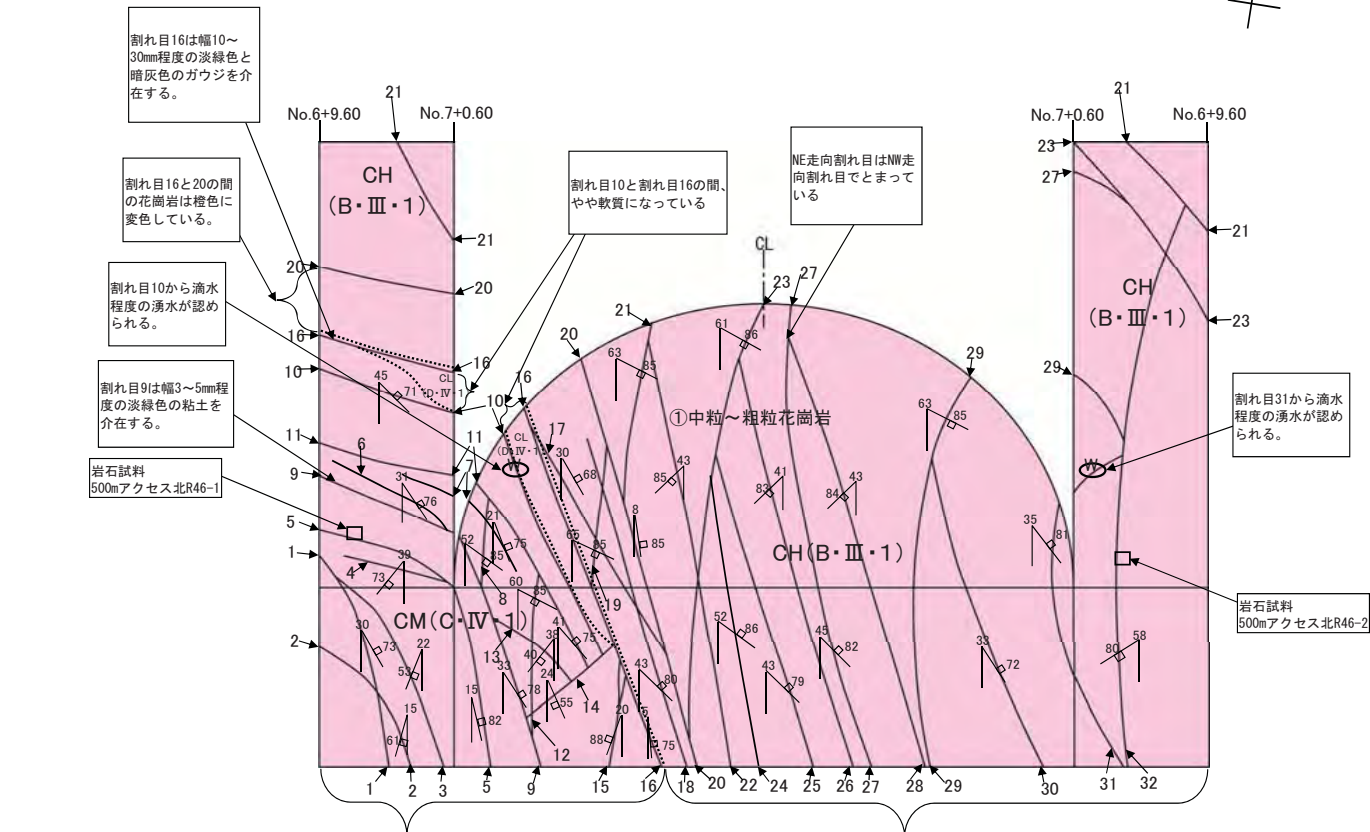
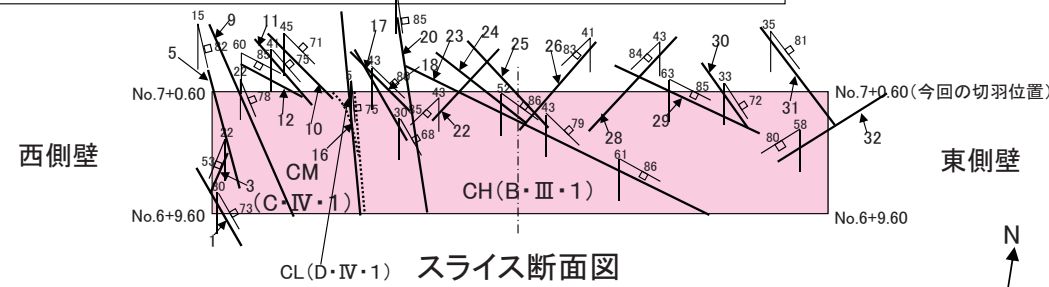
A5-請負-計測工(地質)-130510

シート番号	500mアクセス北坑道46	日時	2013/5/10 10:00~11:30	位置・深度	500mアクセス北坑道46 G.L. -497.21 m~G.L. -500.96 m	観察・撮影者	
-------	---------------	----	--------------------------	-------	--	--------	--

総括監督員	主任監督員	監督員	担当者

請負人 大林・大成・安藤ハザマ特定建設工事共同企業体
現場代理人

凡例 花崗岩 割れ目 割れ目の走向傾斜 岩級区分境界 湧水



可視画像



スケッチ

岩種	花崗岩	電研式岩級	G.L. -497.21m~-499.46m G.L. -499.46m~-500.96m	CH/CM/CL CH/CM/CL
岩相	①中粒~粗粒花崗岩 (淡桃色、橙色、淡緑色)	RMR値	G.L. -497.21m~-499.46m G.L. -499.46m~-500.96m	31 31
風化	α	岩石試料番号	500mアクセス北R46-1 (花崗岩), 500mアクセス北R46-2 (花崗岩)	
変質	1~3	採水試料番号	-	
湧水	滴水程度			

特記事項

当箇所はアクセス北坑道であり、掘進方向はN9° W方向である。横坑観察は切羽から1.0m離れた場所より目視観察を実施した。
岩種は花崗岩で、岩相は石英の粒径がφ2~8mm程度の中粒~粗粒花崗岩である。
花崗岩の変質の程度は、割れ目16から西側は中程度の変質により、有色鉱物の半数程度がクワライトに置き換わり、カリ長石は橙色~淡褐色を呈する。花崗岩全体としては橙色または橙色~淡緑色を呈する。
割れ目16から東側では、変質の程度が弱く、有色鉱物の一部がクワライトに置き換わる程度で、花崗岩は全体に淡桃色を呈する。割れ目周辺の花崗岩には橙色の変質が認められる箇所がある。
割れ目の走向傾斜は、NW走向高角度東~北傾斜が主体で、他にNNE~NE走向高角度東~南傾斜、NNE走向中角度東傾斜やWNW走向高角度南傾斜、NW走向中角度西傾斜、NNE走向高角度西傾斜が認められる。

割れ目16は幅10~30mm程度のガウジを介することから、せん断割れ目と判断した。割れ目の介在物は、カルサイト、クワライト、淡緑色の粘土、灰色の粘土が認められる。湧水は鏡左側の割れ目10と、東側壁の割れ目31から滴水程度の湧水が認められた。岩級区分は、割れ目16から東側では、割れ目間隔が20~60cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、CH (B・Ⅲ・1) 級と評価した。割れ目16から西側では、割れ目間隔が6~15cm程度で、ハンマーの打撃で金属音を発する程度の硬さであることから、CM (C・Ⅳ・1) 級と評価した。割れ目10と割れ目16の間はやや軟質になっているため、CL (D・Ⅳ・1) 級と評価した。

A工区地質記載シート

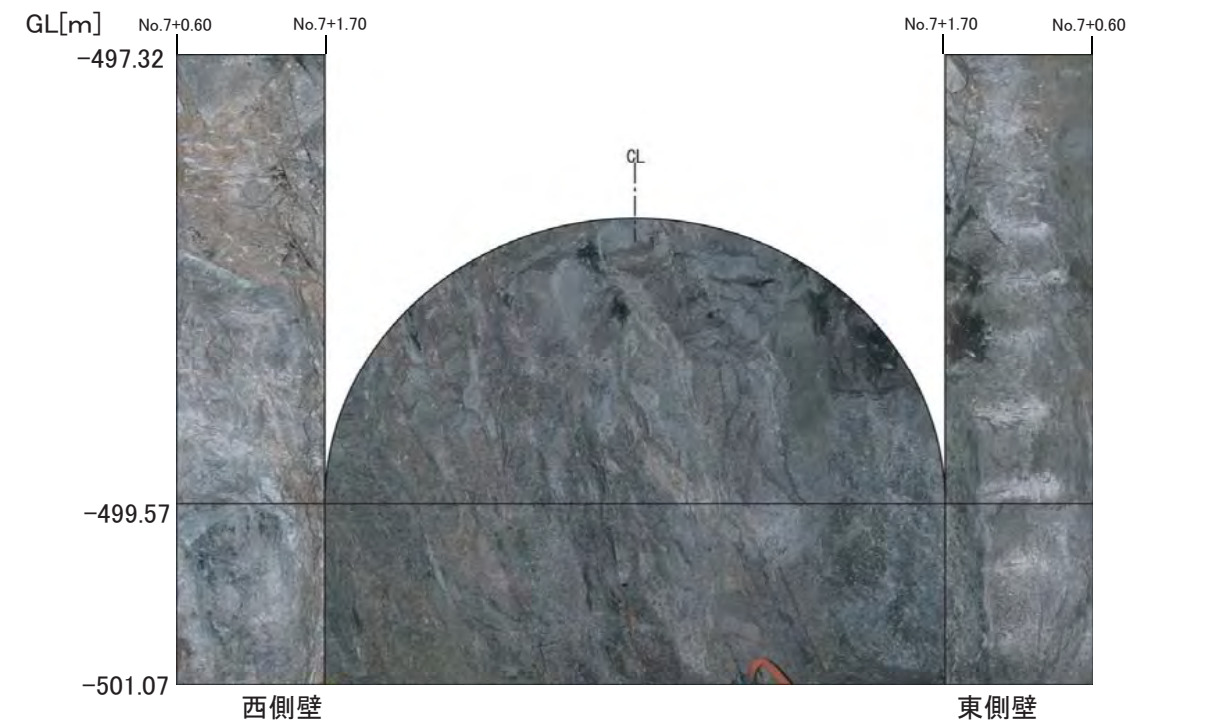
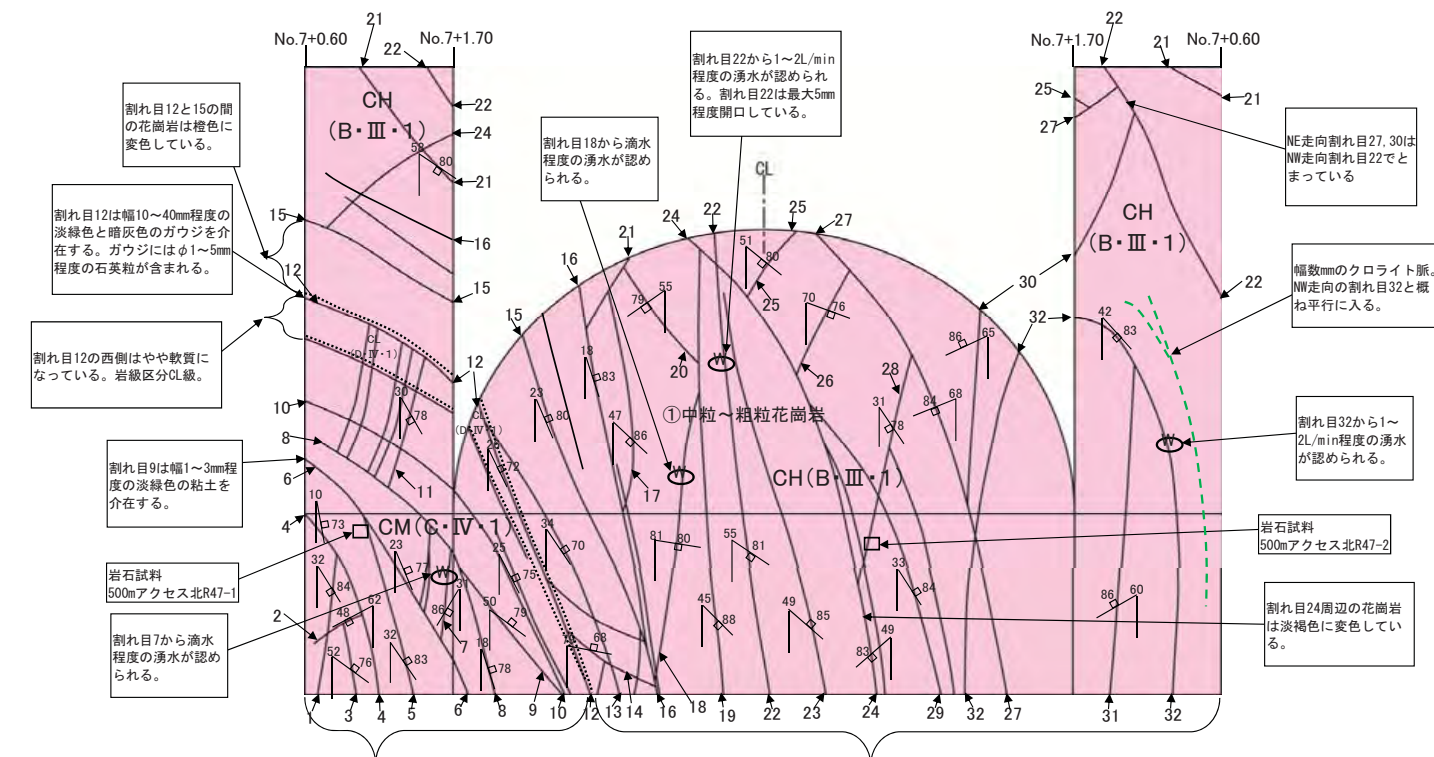
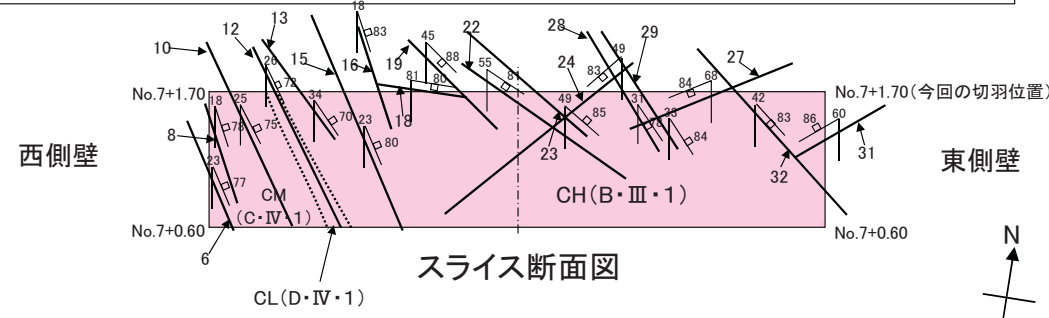
A5-請負-計測工(地質)-130513

シート番号	500mアクセス北坑道47	日時	2013/5/13 9:30~11:00	位置・深度	500mアクセス北坑道47 G.L. -497.32 m~G.L. -501.07 m	観察・撮影者	
-------	---------------	----	-------------------------	-------	--	--------	--

総括監督員	主任監督員	監督員	担当者

請負人 大林・大成・安藤ハザマ特定建設工事共同企業体
現場代理人

凡例	花崗岩	割れ目	割れ目の走向傾斜	岩級区分境界	湧水	クロライト脈
----	-----	-----	----------	--------	----	--------



NW走向高角度北~東傾斜の割れ目と、このNW走向の割れ目で止まるNNE~NE走向高角度東~南傾斜の割れ目が6~15cm程度の間隔で認められる。他に、NW走向高角度西傾斜の割れ目1, 11やNE走向中角度南傾斜の割れ目2が認められる。割れ目にはカルサイト、クロライト、淡緑色の粘土を介する。花崗岩は中~強程度の変質を受け、黒雲母などの有色鉱物の半数以上がクロライトに置き換わる。花崗岩は全体に橙色~暗緑色を呈する。ハンマーの打撃で金属音を発する程度の硬さ。

NW~WNW走向高角度東~北傾斜と南傾斜の割れ目、およびNNE~NE走向高角度東~南傾斜の割れ目が20~60cm程度の間隔で認められる。他に、NE走向高角度北傾斜の割れ目30, 31が認められる。割れ目はクロライトとカルサイト、淡緑色の粘土を介する。花崗岩の変質の程度は弱く、ほとんどの有色鉱物が残存している。花崗岩は淡桃色を呈する。割れ目12と割れ目16の花崗岩は全体に橙色を呈する。また、割れ目の周辺で橙色や淡褐色に変色する箇所が認められる。ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さ。

スケッチ

岩種	花崗岩	電研式岩級	G.L. -497.32m~-499.57m CH/CM/CL
岩相	①中粒~粗粒花崗岩 (淡桃色、橙色、淡緑色、暗緑色)	RMR値	G.L. -497.32m~-499.57m 32 G.L. -499.57m~-501.07m 31
風化	α	岩石試料番号	500mアクセス北R47-1 (花崗岩), 500mアクセス北R47-2 (花崗岩)
変質	1~3	採水試料番号	-
湧水	1~2L/min		

特記事項

当箇所はアクセス北坑道であり、掘進方向はN9°W方向である。横坑観察は切羽から1.1m離れた場所より目視観察を実施した。岩種は花崗岩で、岩相は石英の粒径がφ2~7mm程度の中粒~粗粒花崗岩である。花崗岩の変質の程度は、割れ目12から西側は中~強程度の変質により、有色鉱物の半数以上がクロライトに置き換わり、カリ長石は橙色~淡褐色を呈する。花崗岩全体としては橙色または橙色~暗緑色を呈する。割れ目12から東側では、変質の程度が弱く、有色鉱物の一部がクロライトに置き換わる程度で、花崗岩は全体に淡桃色を呈する。割れ目周辺の花崗岩には橙色や淡褐色の変色が認められる箇所がある。割れ目の走向傾斜は、NW~WNW走向高角度東~北傾斜が主体で、他にNNE~NE走向高角度東~南傾斜や、NW走向高角度西傾斜、NE走向中角度南傾斜、NE走向高角度北傾斜が認められる。

割れ目12は幅10~40mm程度のガウジを介することから、せん断割れ目と判断した。割れ目の介在物は、カルサイト、クロライト、淡緑色の粘土が認められる。湧水は鏡中央の割れ目22と東側壁の割れ目32から1~2L/min、西側壁の割れ目7と鏡中央の割れ目18から滴水程度の湧水が認められた。岩級区分は、割れ目12から東側では、割れ目間隔が20~60cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、CH (B・Ⅲ・1) 級と評価した。割れ目12付近から西側では、割れ目間隔が6~15cm程度で、ハンマーの打撃で金属音を発する程度の硬さであることから、CM (C・Ⅳ・1) 級と評価した。割れ目12付近は花崗岩がやや軟質であることから、CL (D・Ⅳ・1) 級と評価した。

A工区地質記載シート

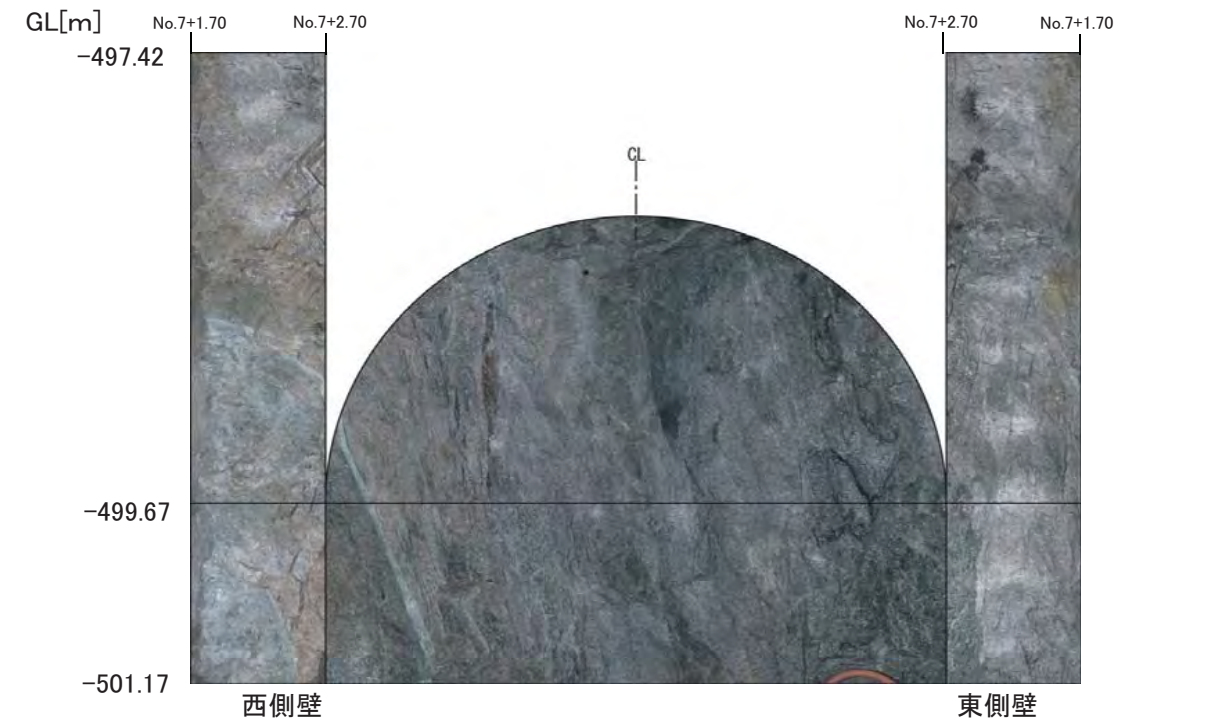
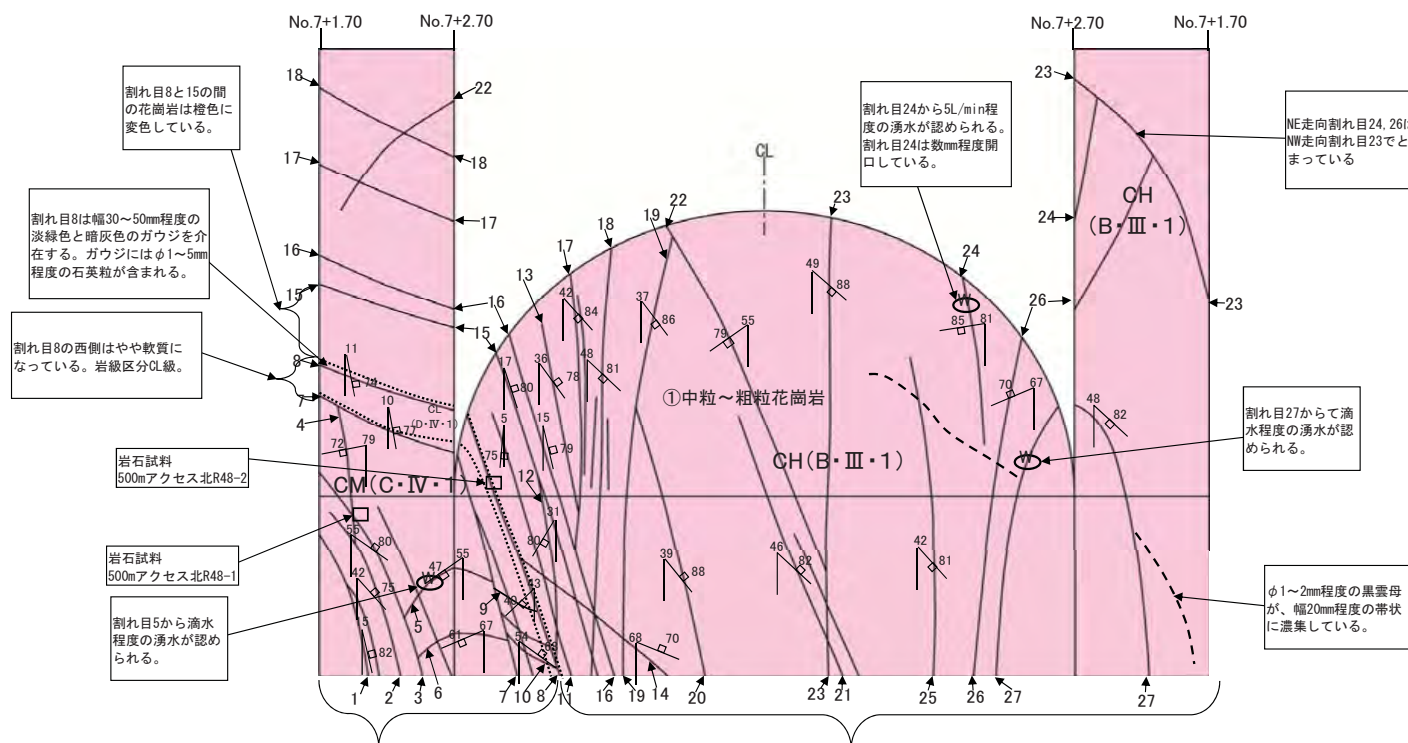
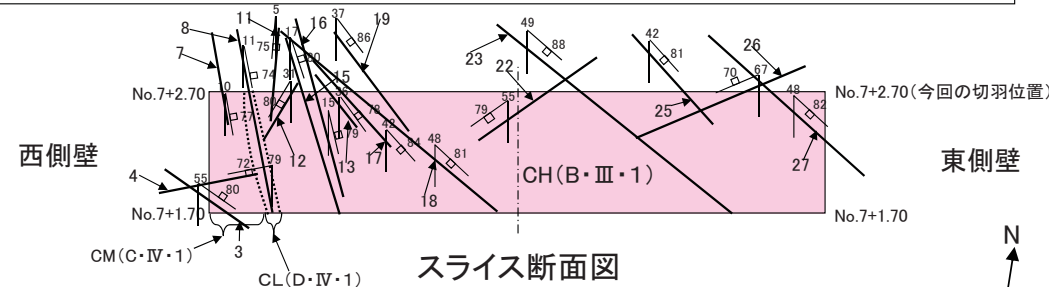
A5-請負-計測工(地質)-130514

シート番号	500mアクセス北坑道48	日時	2013/5/14 14:00~15:30	位置・深度	500mアクセス北坑道48 G.L. -497.42 m~G.L. -501.17 m	観察・撮影者	
-------	---------------	----	--------------------------	-------	--	--------	--

総括監督員	主任監督員	監督員	担当者

請負人 大林・大成・安藤ハザマ特定建設工事共同企業体
現場代理人

凡例 花崗岩 割れ目 割れ目の走向傾斜 岩級区分境界 湧水 黒雲母の濃集



可視画像



スケッチ

岩種	花崗岩	電研式岩級	G.L. -497.42m~-499.67m CH/CM/CL
岩相	①中粒~粗粒花崗岩 (淡桃色、橙色、淡緑色、暗緑色)	RMR値	G.L. -497.42m~-499.67m: 32 G.L. -499.67m~-501.17m: 27
風化	α	岩石試料番号	500mアクセス北R48-1 (花崗岩), 500mアクセス北R48-2 (花崗岩)
変質	1~4	採水試料番号	-
湧水	5L/min		

特記事項

当箇所はアクセス北坑道であり、掘進方向はN9°W方向である。横坑観察は切羽から1.0m離れた場所より目視観察を実施した。
岩種は花崗岩で、岩相は石英の粒径がφ2~7mm程度の中粒~粗粒花崗岩である。花崗岩の変質の程度は、割れ目8から西側は中~強程度の変質により、有色鉱物の半数以上がクォーライトに置き換わり、カリ長石は橙色~淡褐色を呈する。花崗岩全体としては橙色または橙色~暗緑色を呈する。
割れ目8から東側では、変質の程度が弱く、有色鉱物の一部がクォーライトに置き換わる程度で、花崗岩は全体に淡桃色を呈する。割れ目周辺の花崗岩には橙色の変色が認められる箇所がある。
割れ目の走向傾斜は、NW~WNW走向高角度東~北傾斜が主体で、他にNNE~NE走向高角度東~南傾斜や、NE走向中角度東傾斜、NNW走向高角度東傾斜、ENE走向高角度南傾斜、NE走向高角度北傾斜が認められる。
割れ目12は幅30~50mm程度のガウジを介在することから、せん断割れ目と判断した。割れ目の介在物は、カルサイト、クォーライト、淡緑色の粘土が認められる。湧水は鏡右側の割れ目24から5L/min、西側壁の割れ目5と鏡右側の割れ目27から滴水程度の湧水が認められた。
岩級区分は、割れ目8から東側では、割れ目間隔が20~80cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、CH(B・Ⅲ・1)級と評価した。割れ目8付近から西側では、割れ目間隔が6~15cm程度で、ハンマーの打撃で金属音を発する程度の硬さであることから、CM(C・Ⅳ・1)級と評価した。割れ目8付近は花崗岩がやや軟質であることから、CL(D・Ⅳ・1)級と評価した。

A工区地質記載シート

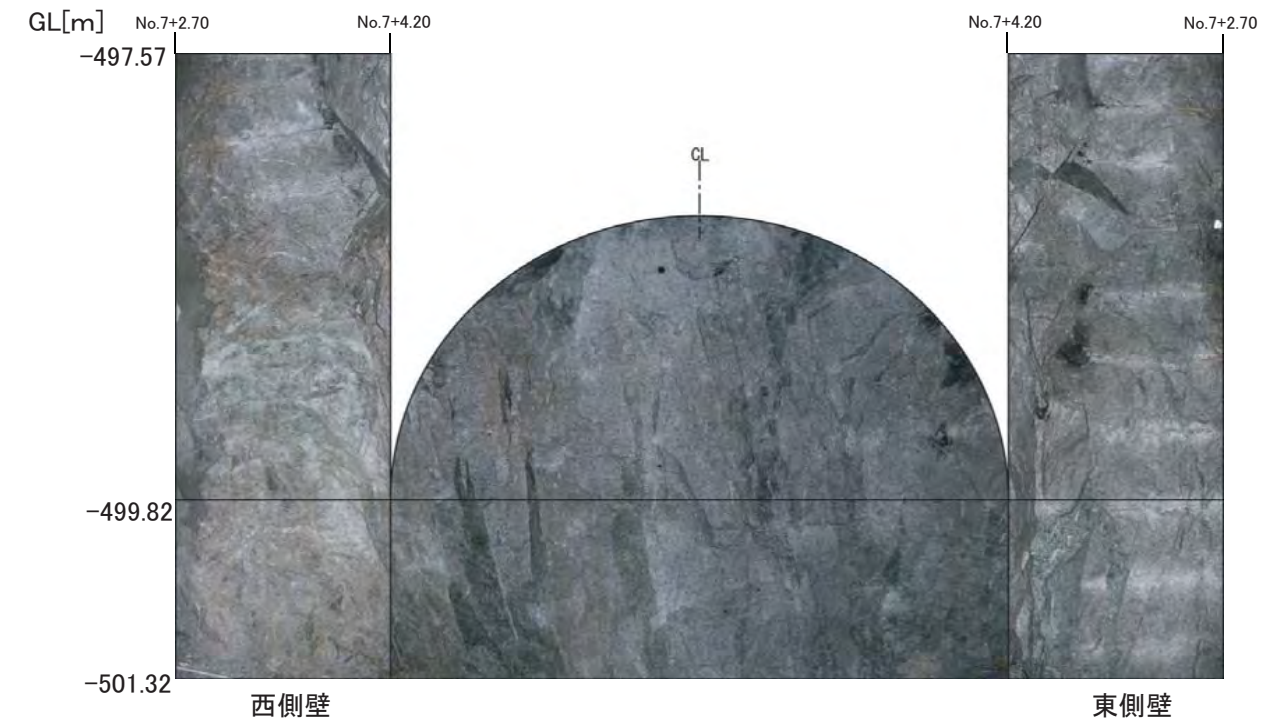
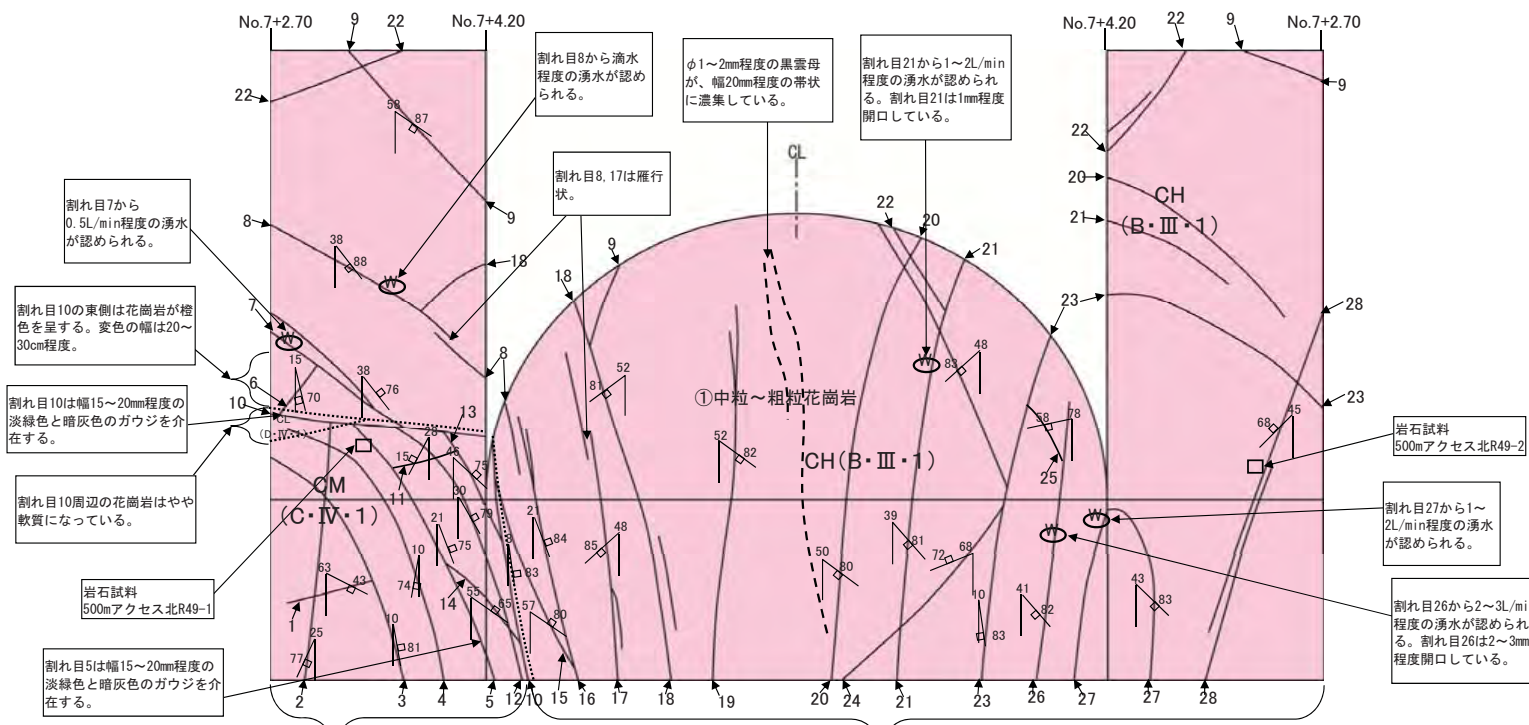
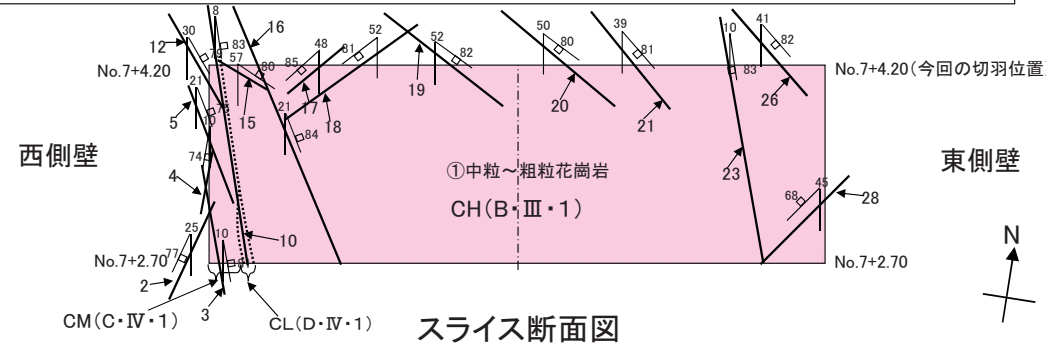
A5-請負-計測工(地質)-130515

シート番号	500mアクセス北坑道49	日時	2013/5/15 16:30~18:00	位置・深度	500mアクセス北坑道49 G.L. -497.57 m~G.L. -501.32 m	観察・撮影者	
-------	---------------	----	--------------------------	-------	--	--------	--

総括監督員	主任監督員	監督員	担当者

請負人 大林・大成・安藤ハザマ特定建設工事共同企業体
現場代理人

凡例 花崗岩 割れ目 割れ目の走向傾斜 岩級区分境界 湧水 黒雲母の濃集



NW走向高角度東~北傾斜の割れ目と、このNW走向の割れ目で止まるNNE~NE走向高角度東傾斜の割れ目が6~15cm程度の間隔で認められる。他に、NW走向中角度南傾斜の割れ目1やNNE走向高角度西傾斜の割れ目6、NW走向高角度南傾斜の割れ目8、9が認められる。
割れ目にはカルサイト、クロライト、淡緑色の粘土を介在する。花崗岩は中程度の変質を受け、黒雲母などの有色鉱物の半数以上がクロライトに置き換わる。花崗岩は全体に橙色を呈する。ハンマーの打撃で金属音を発する程度の硬さ。

スケッチ

岩種	花崗岩	電研式岩級	G.L. -497.57m~-499.82m G.L. -499.82m~-501.32m	CH/CM/CL CH/CM
岩相	①中粒~粗粒花崗岩 (淡桃色、橙色)	RMR値	G.L. -497.57m~-499.82m G.L. -499.82m~-501.32m	32 27
風化	α	岩石試料番号	500mアクセス北R49-1 (花崗岩), 500mアクセス北R49-2 (花崗岩)	
変質	1~3	採水試料番号	-	
湧水	2~3L/min			

特記事項

当箇所はアクセス北坑道であり、掘進方向はN9°W方向である。横坑観察は切羽から1.5m離れた場所より目視観察を実施した。
岩種は花崗岩で、岩相は石英の粒径がφ2~7mm程度の中粒~粗粒花崗岩である。花崗岩の変質の程度は、割れ目10から西側は中程度の変質により、有色鉱物の半数以上がクロライトに置き換わり、カリ長石は橙色を呈する。花崗岩全体としては橙色または桃色を呈する。
割れ目10から東側では、変質の程度が弱く、有色鉱物の一部がクロライトに置き換わる程度で、花崗岩は全体に淡桃色を呈する。割れ目周辺の花崗岩には橙色の変色が認められる箇所がある。
割れ目の走向傾斜は、割れ目10から西側では、NW~WNW走向高角度東~北傾斜が主体で、他にNNE~NE走向高角度東傾斜、NW走向中角度南傾斜やNNE走向高角度西傾斜、NW走向高角度南傾斜が認められる。割れ目10から東側では、NW走向高角度東~北傾斜と西~南傾斜、およびNE走向高角度東~南傾斜が主体で、他にNE走向低角度西傾斜、NE走向高角度北傾斜が認められる。

割れ目5と10はそれぞれ幅15~20mm程度のガウジを介在することから、せん断割れ目と判断した。
湧水は鏡右側の割れ目26から2~3L/min、割れ目21と27からは1~2L/min程度、西側壁の割れ目7から0.5L/min程度、割れ目8から滴水程度の湧水が認められた。
岩級区分は、割れ目10から東側では、割れ目間隔が20~80cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、CH(B・Ⅲ・1)級と評価した。割れ目10付近から西側では、割れ目間隔が6~15cm程度で、ハンマーの打撃で金属音を発する程度の硬さであることから、CM(C・Ⅳ・1)級と評価した。割れ目10付近は花崗岩がやや軟質であることから、CL(D・Ⅳ・1)級と評価した。

A工区地質記載シート

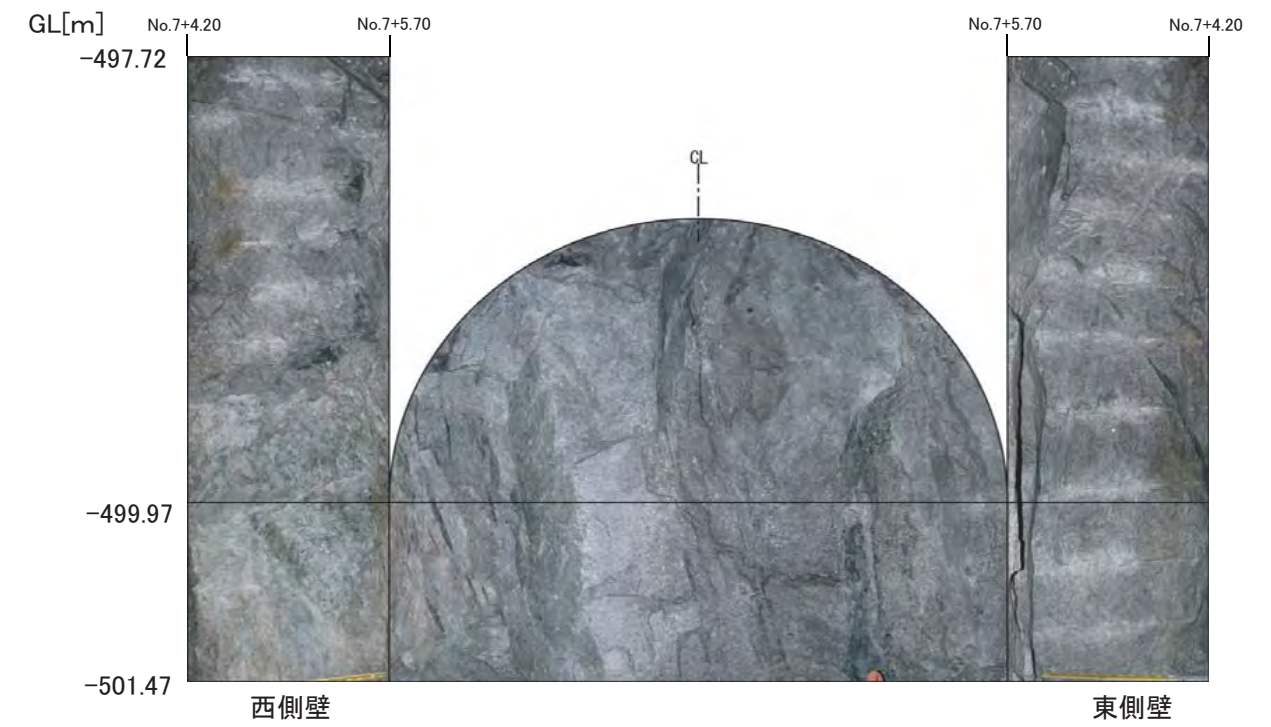
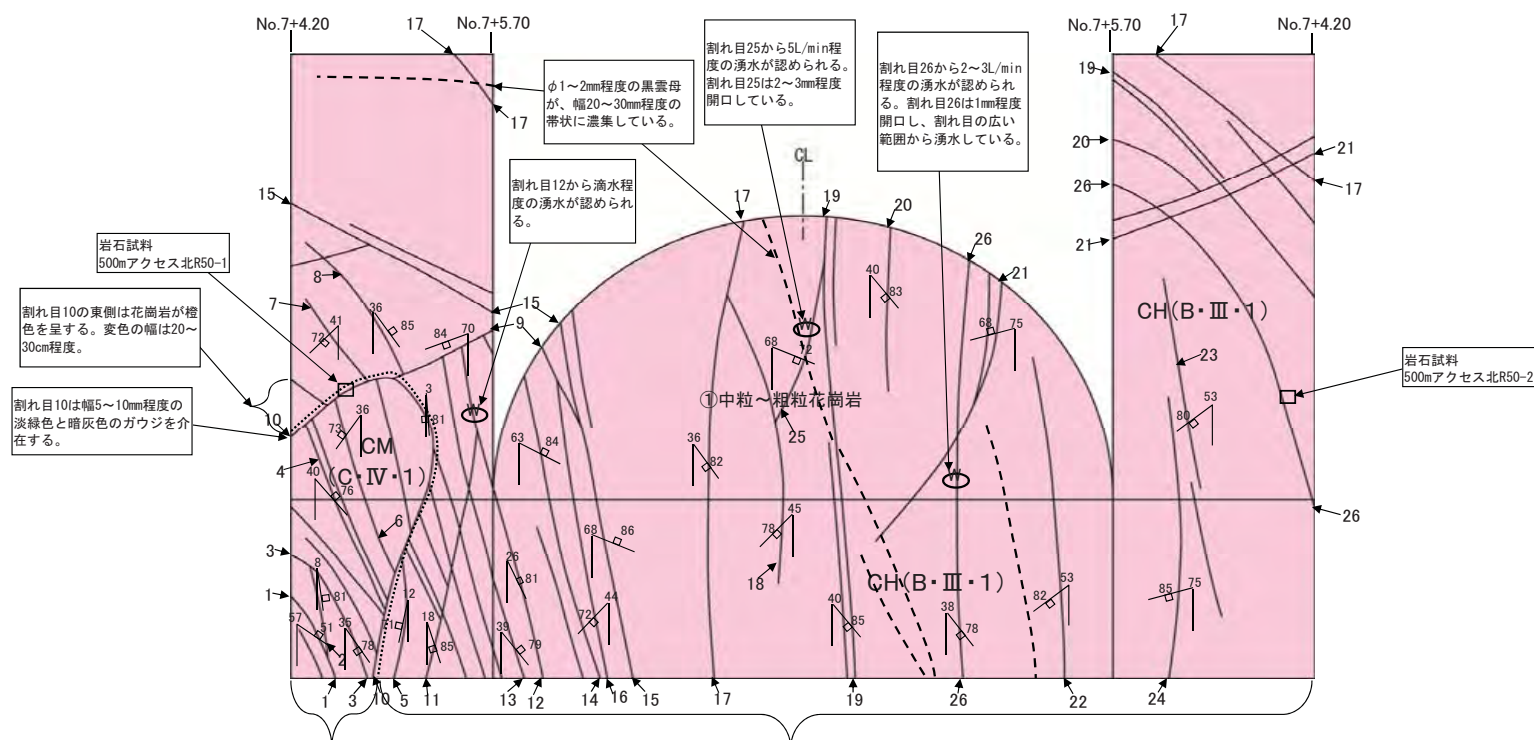
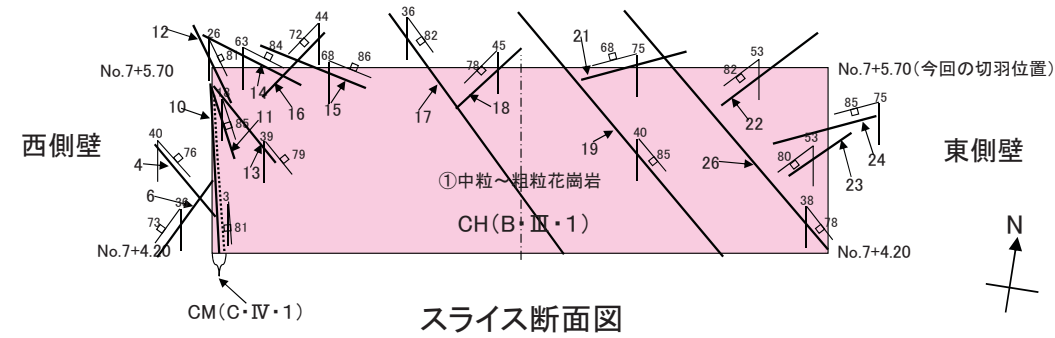
A5-請負-計測工(地質)-130517

シート番号	500mアクセス北坑道50	日時	2013/5/17 15:00~16:30	位置・深度	500mアクセス北坑道50 G.L. -497.72 m~G.L. -501.47 m	観察・撮影者	
-------	---------------	----	--------------------------	-------	--	--------	--

総括監督員	主任監督員	監督員	担当者

請負人 大林・大成・安藤ハザマ特定建設工事共同企業体
現場代理人

凡例 花崗岩 割れ目 割れ目の走向傾斜 岩級区分境界 湧水 黒雲母の濃集



NW~NNW走向中~高角度北傾斜およびNW走向高角度西傾斜の割れ目と、NE走向高角度西傾斜の割れ目が6~15cm程度の間隔で認められる。
割れ目にはクロライトや淡緑色の粘土を介在する。
花崗岩は中程度の変質を受け、黒雲母などの有色鉱物の半数以上がクロライトに置き換わり、カリ長石は橙色を呈する。
花崗岩は全体に橙色を呈する。
ハンマーの打撃で金属音を発する程度の硬さ。

NW走向高角度北~東傾斜およびNW走向高角度西~南傾斜の割れ目、およびNE走向高角度東~南傾斜の割れ目が20~80cm程度の間隔で認められる。なお、割れ目10周辺では割れ目が多く、割れ目間隔は20cm程度で認められる。他に、NNE走向高角度西傾斜の割れ目5、15、NE走向高角度北傾斜の割れ目21が認められる。
割れ目はクロライトとカルサイトを介在し、NW走向割れ目はNE走向よりもクロライトを厚く介在する。
花崗岩の変質の程度は弱く、ほとんどの有色鉱物が残存している。花崗岩は淡桃色を呈する。割れ目の周辺で橙色や褐色に変色する箇所が認められる。
ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さ。

スケッチ

岩種	花崗岩	電研式岩級	G.L. -497.72m~-499.97m CH/CM G.L. -499.97m~-501.47m CH/CM
岩相	①中粒~粗粒花崗岩 (淡桃色、橙色)	RMR値	G.L. -497.72m~-499.97m 37 G.L. -499.97m~-501.47m 34
風化	α	岩石試料番号	500mアクセス北R50-1 (花崗岩), 500mアクセス北R50-2 (花崗岩)
変質	1~3	採水試料番号	-
湧水	5L/min		

特記事項

当箇所はアクセス北坑道であり、掘進方向はN9° W方向である。横坑観察は切羽から1.5m離れた場所より目視観察を実施した。
岩種は花崗岩で、岩相は石英の粒径がφ2~8mm程度の中粒~粗粒花崗岩である。
花崗岩の変質の程度は、割れ目10から西側は中程度の変質により、有色鉱物の半数以上がクロライトに置き換わり、カリ長石は橙色を呈する。花崗岩全体としては橙色または褐色を呈する。
割れ目10から東側では、変質の程度が弱く、有色鉱物の一部がクロライトに置き換わる程度で、花崗岩は全体に淡桃色を呈する。割れ目周辺の花崗岩には橙色の変色が認められる箇所がある。
割れ目の走向傾斜は、割れ目10から西側はNW~NNW走向中~高角度北傾斜およびNW走向高角度西傾斜と、NE走向高角度西傾斜が認められる。
割れ目10から東側は、NW走向高角度北~東傾斜およびNW走向高角度西~南傾斜、NE走向高角度東~南傾斜が主体で、他にNNE走向高角度西傾斜、NE走向高角度北傾斜が認められる。

割れ目10はそれぞれ幅5~10mm程度のガウジを介在することから、せん断割れ目と判断した。
割れ目の介在物は、カルサイト、クロライト、淡緑色の粘土が認められる。
湧水は鏡中央の割れ目25から5L/min、鏡右側の割れ目26からは2~3L/min程度、西側壁の割れ目12から滴水程度の湧水が認められた。
岩級区分は、割れ目10から東側では、割れ目間隔が20~80cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、CH (B・Ⅲ・1) 級と評価した。割れ目10付近から西側では、割れ目間隔が6~15cm程度で、ハンマーの打撃で金属音を発する程度の硬さであることから、CM (C・Ⅳ・1) 級と評価した。



A工区地質記載シート

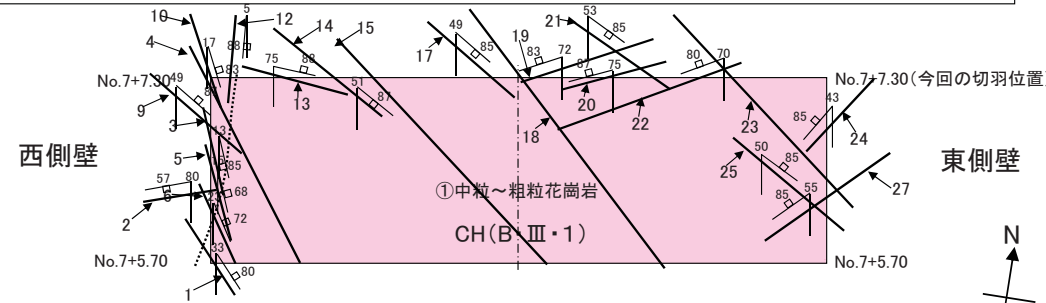
A5-請負-計測工(地質)-130520

シート番号	500mアクセス北坑道51	日時	2013/5/20 15:00~16:30	位置・深度	500mアクセス北坑道51 G.L. -497.88 m~G.L. -501.63 m	観察・撮影者	
-------	---------------	----	--------------------------	-------	--	--------	--

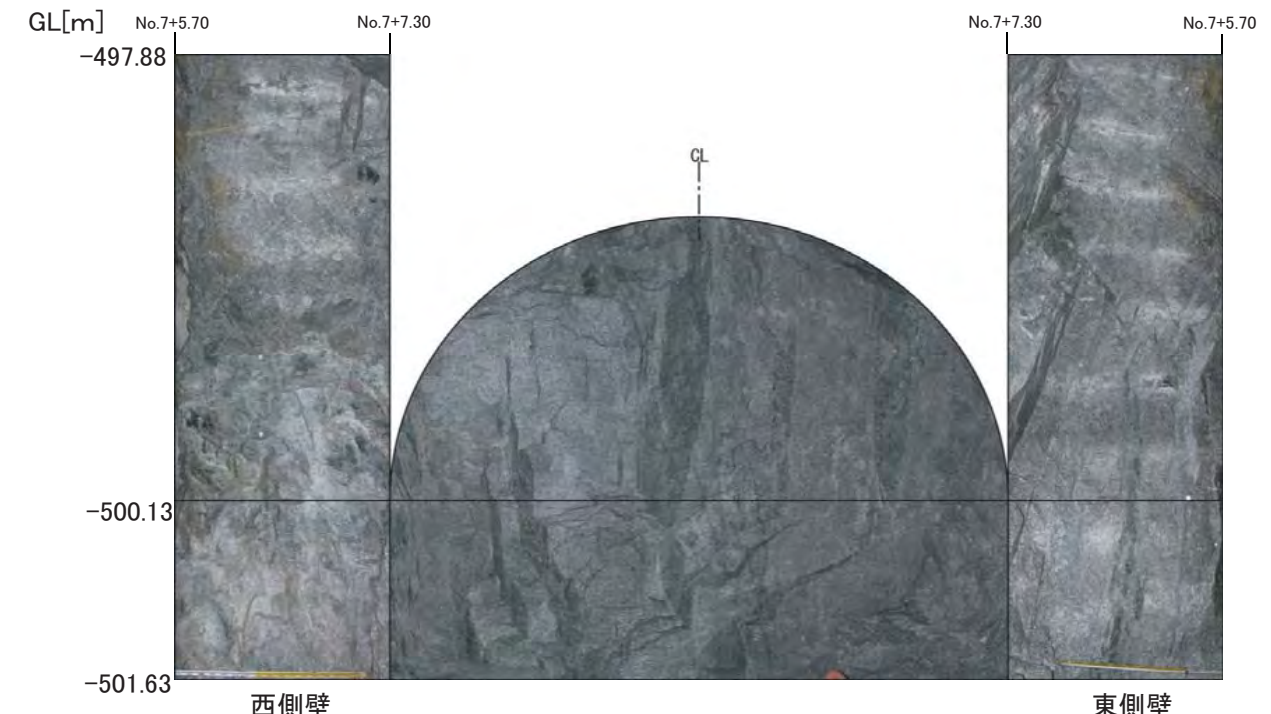
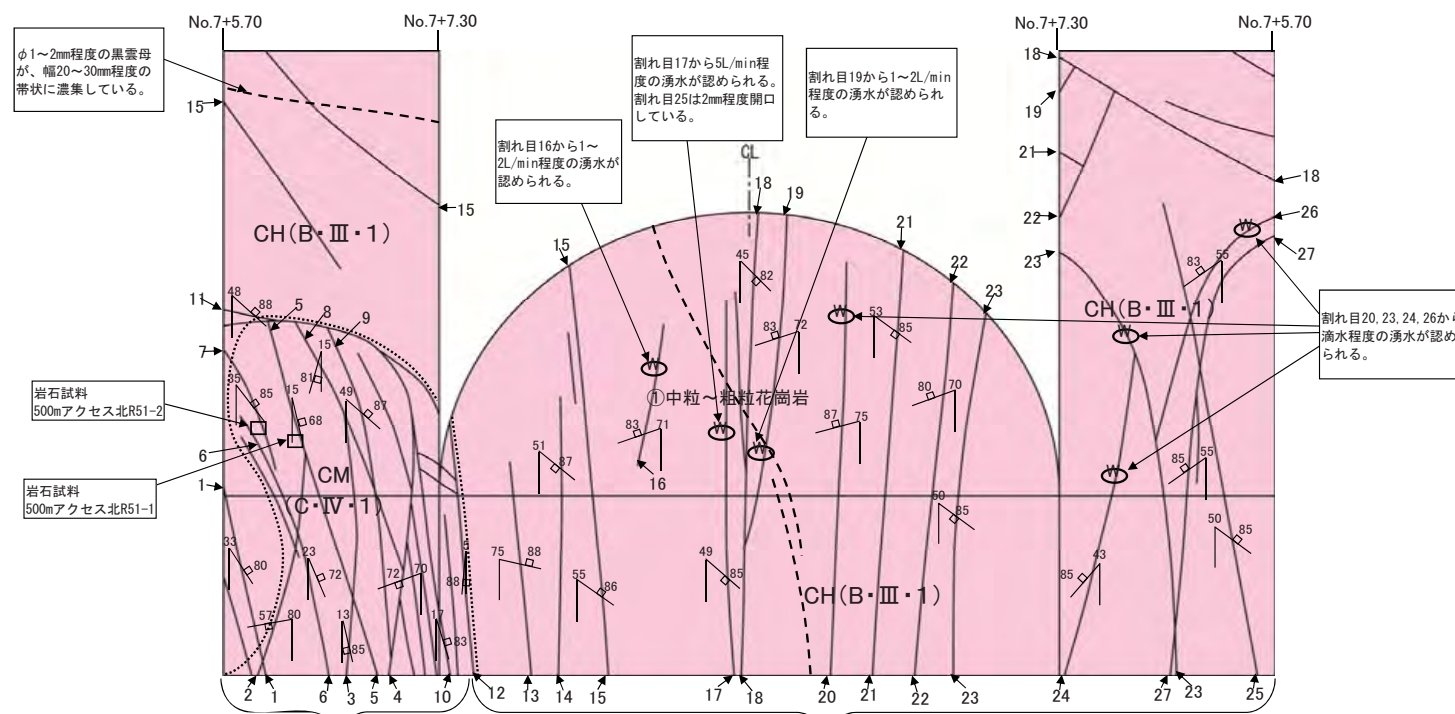
総括監督員	主任監督員	監督員	担当者

請負人 大林・大成・安藤ハザマ特定建設工事共同企業体
現場代理人

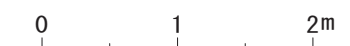
凡例 花崗岩 割れ目 割れ目の走向傾斜 岩級区分境界 湧水 黒雲母の濃集



スライス断面図



可視画像



スケッチ

岩種	花崗岩	電研式岩級	G.L. -497.88m~-500.13m CH/CM G.L. -500.13m~-501.63m CH/CM
岩相	①中粒~粗粒花崗岩 (淡桃色、橙色)	RMR値	G.L. -497.88m~-500.13m 57 G.L. -500.13m~-501.63m 67
風化	α	岩石試料番号	500mアクセス北R51-1 (花崗岩), 500mアクセス北R51-2 (花崗岩)
変質	1~3	採水試料番号	-
湧水	5L/min		

特記事項

当箇所はアクセス北坑道であり、掘進方向はN9°W方向である。横坑観察は切羽から1.6m離れた場所より目視観察を実施した。
岩種は花崗岩で、岩相は石英の粒径がφ2~8mm程度の中粒~粗粒花崗岩である。花崗岩の変質の程度は、割れ目12から西側は中程度の変質により、有色鉱物の半数程度がクロライトに置き換わり、カリ長石は橙色を呈する。花崗岩全体としては橙色を呈する。
割れ目12から東側では、変質の程度が弱く、有色鉱物の一部がクロライトに置き換わる程度で、花崗岩は全体に淡桃色を呈する。
割れ目の走向傾斜は、割れ目12から西側はNW走向高角度北~東傾斜とNW走向高角度西傾斜が主体で、他にNE走向中角度南傾斜やNNE走向高角度東傾斜、NNW走向高角度東傾斜が認められる。
割れ目12から東側は、WNW走向高角度北~東傾斜およびWNW~NW走向高角度南傾斜、NE~ENE走向高角度北傾斜が認められる。

割れ目の介在物は、カルサイト、クロライト、淡緑色の粘土が認められ、NW走向の割れ目がより厚くクロライトを介在している。
湧水は鏡中央の割れ目17から5L/min、割れ目16と割れ目19からは1~2L/min程度、鏡中央の割れ目20と西側壁の割れ目23, 24, 26から滴水程度の湧水が認められた。
岩級区分は、割れ目12から東側では、割れ目間隔が20~80cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、CH(B・Ⅲ・1)級と評価した。割れ目12付近から西側では、割れ目間隔が6~10cm程度で、ハンマーの打撃で金属音を発する程度の硬さであることから、CM(C・Ⅳ・1)級と評価した。

A工区地質記載シート

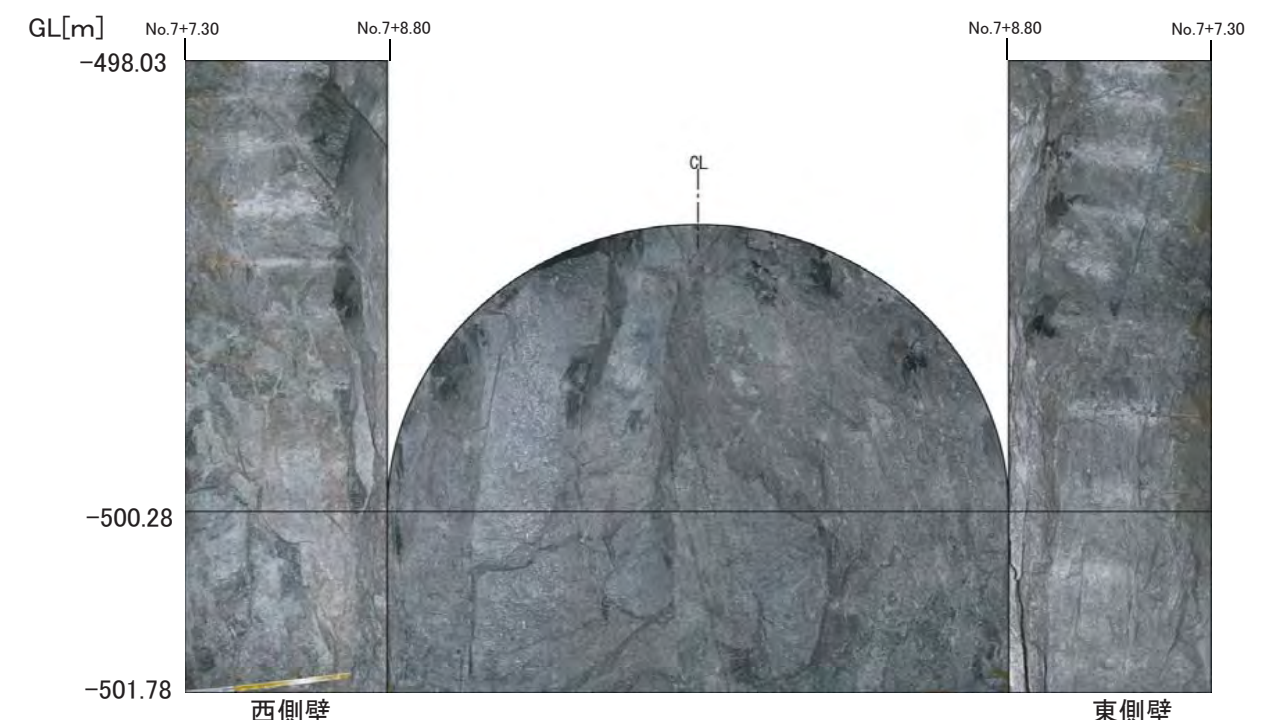
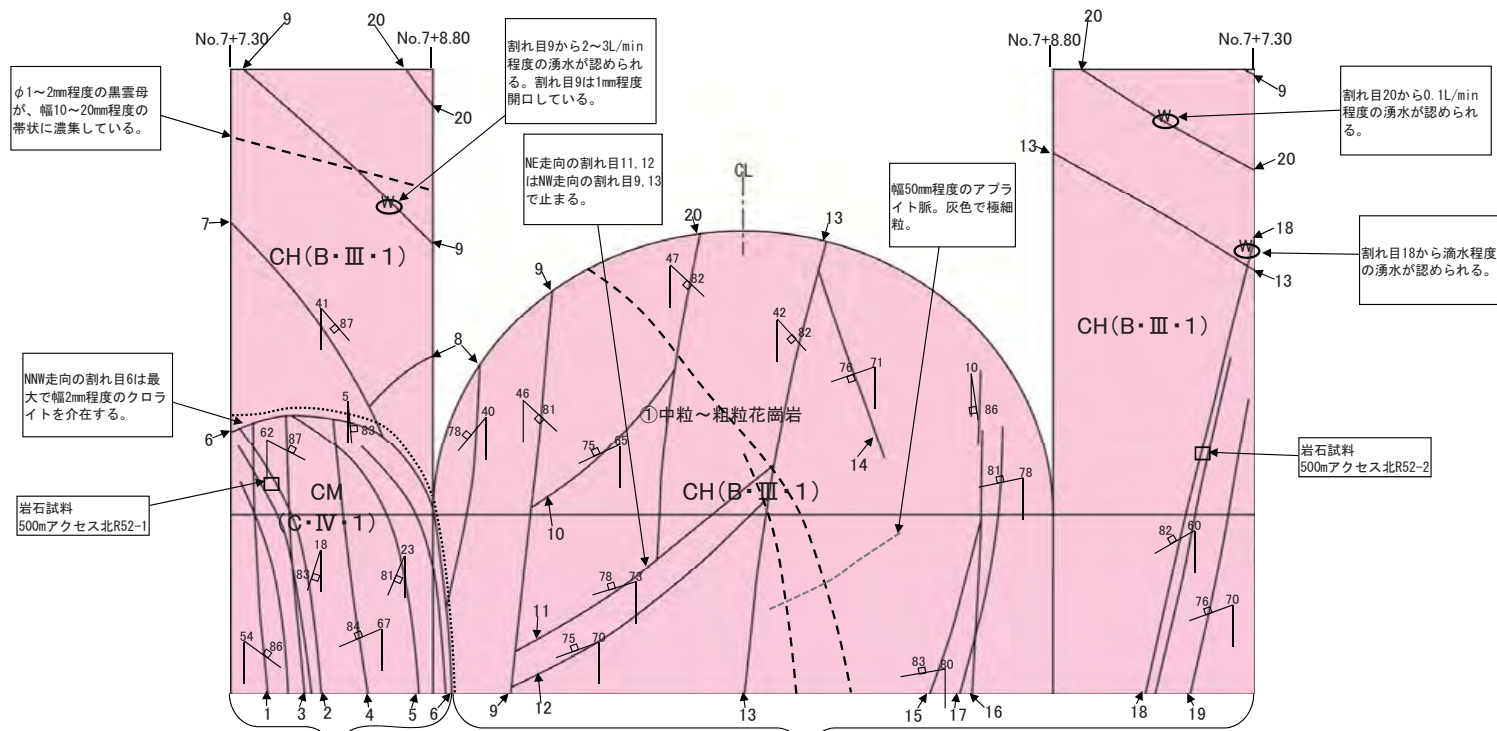
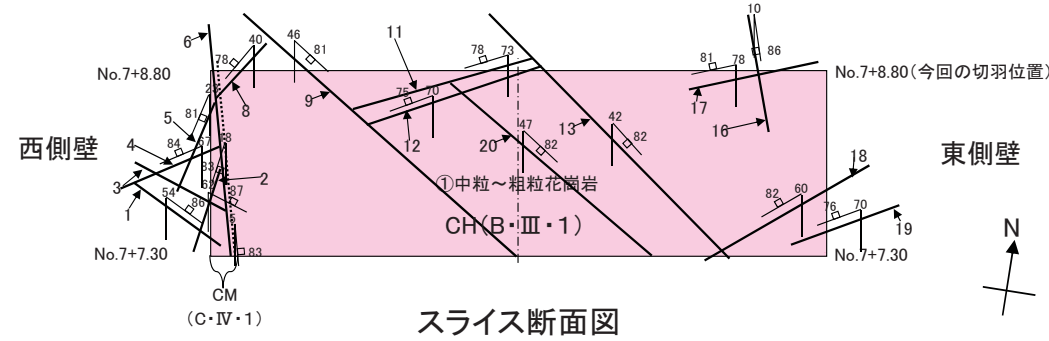
A5-請負-計測工(地質)-130522

シート番号	500mアクセス北坑道52	日時	2013/5/22 10:00~11:30	位置・深度	500mアクセス北坑道52 G. L. -498.03 m~G. L. -501.78 m	観察・撮影者	
-------	---------------	----	--------------------------	-------	--	--------	--

総括監督員	主任監督員	監督員	担当者

請負人 大林・大成・安藤ハザマ特定建設工事共同企業体
現場代理人

凡例 花崗岩 割れ目 割れ目の走向傾斜 岩級区分境界 湧水 黒雲母の濃集 アプライト脈



φ1~2mm程度の黒雲母が、幅10~20mm程度の帯状に濃集している。
 割れ目9から2~3L/min程度の湧水が認められる。割れ目9は1mm程度開口している。
 NE走向の割れ目11,12はNW走向の割れ目9,13で止まる。
 NW走向の割れ目6は最大で幅2mm程度のクロライトを介在する。
 幅50mm程度のアプライト脈。灰色で極細粒。
 岩石試料 500mアクセス北R52-1
 岩石試料 500mアクセス北R52-2

岩種	花崗岩	電研式岩級	G. L. -498.03m~-500.28m CH/CM G. L. -500.28m~-501.78m CH/CM
岩相	①中粒~粗粒花崗岩 (淡桃色、橙色)	RMR値	G. L. -498.03m~-500.28m 57 G. L. -500.28m~-501.78m 67
風化	α	岩石試料番号	500mアクセス北R52-1 (花崗岩), 500mアクセス北R52-2 (花崗岩)
変質	1~3	採水試料番号	-
湧水	2~3L/min		

特記事項
 当箇所はアクセス北坑道であり、掘進方向はN9°W方向である。横坑観察は切羽から1.6m離れた場所より目視観察を実施した。
 岩種は花崗岩で、岩相は石英の粒径がφ2~8mm程度の中粒~粗粒花崗岩である。花崗岩の変質の程度は、割れ目6から西側は中程度の変質により、有色鉱物の半数程度がクロライトに置き換わり、カリ長石は橙色を呈する。花崗岩全体としては橙色を呈する。
 割れ目6から東側では、花崗岩に変質はほとんど認められない。有色鉱物は概ね残存し、花崗岩は全体に淡桃色を呈する。
 割れ目の走向傾斜は、割れ目6から西側はNW~WNW走向高角度北傾斜とNNE走向高角度東傾斜が主体で、他にNE走向高角度北傾斜、NNW走向高角度東傾斜が認められる。割れ目6から東側は、NW走向高角度南傾斜とNE走向高角度北~西傾斜が主体で、他にNE走向高角度南傾斜やNNW走向高角度西傾斜が認められる。
 割れ目の介在物は、カルサイト、クロライト、淡緑色の粘土が認められ、NW走向の割れ目がより厚くクロライトを介在している。
 湧水は西側壁上部の割れ目9から2~3L/min、東側壁上部の割れ目20から0.1L/min程度、東側壁の割れ目18から滴水程度の湧水が認められた。
 岩級区分は、割れ目12から東側では、割れ目間隔が30~80cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、CH(B・Ⅲ・1)級と評価した。割れ目12付近から西側では、割れ目間隔が6~10cm程度で、ハンマーの打撃で金属音を発する程度の硬さであることから、CM(C・Ⅳ・1)級と評価した。



A工区地質記載シート

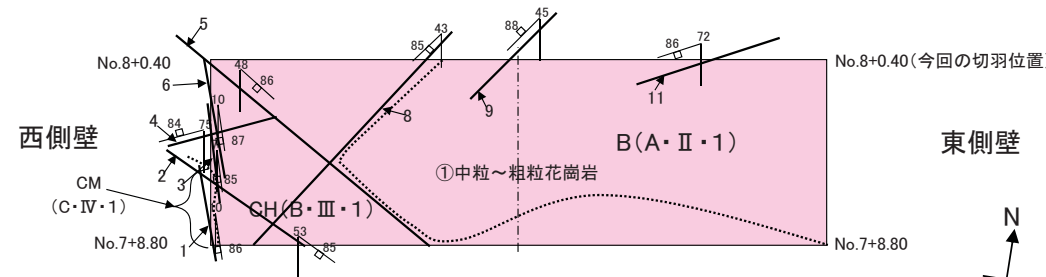
A5-請負-計測工(地質)-130523

シート番号	500mアクセス北坑道53	日時	2013/5/23 16:00~17:30	位置・深度	500mアクセス北坑道53 G. L. -498.19 m~G. L. -501.94 m	観察・撮影者	
-------	---------------	----	--------------------------	-------	--	--------	--

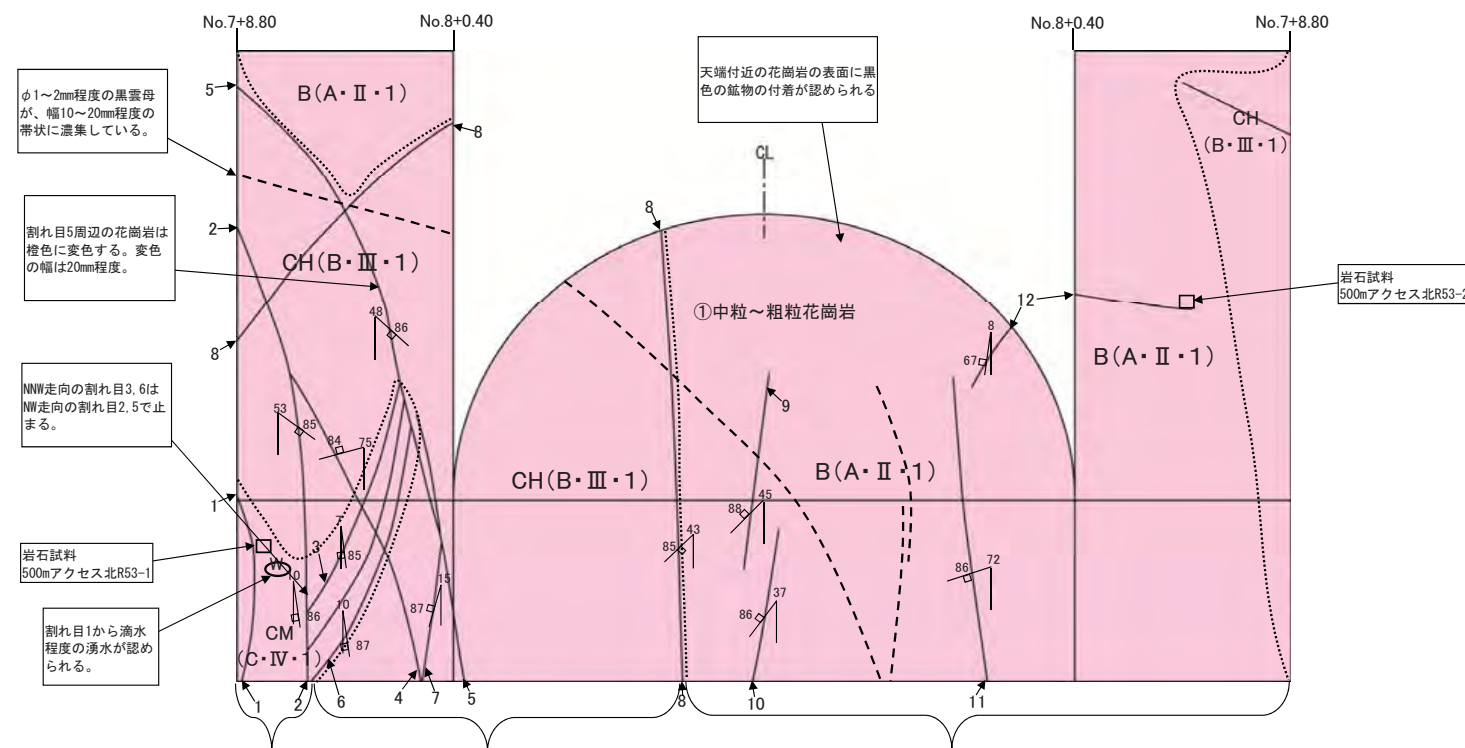
総括監督員	主任監督員	監督員	担当者

請負人 大林・大成・安藤ハザマ特定建設工事共同企業体
現場代理人

凡例	花崗岩	割れ目	割れ目の走向傾斜	岩級区分境界	湧水	黒雲母の濃集	アブライト脈
----	-----	-----	----------	--------	----	--------	--------



スライス断面図



φ1~2mm程度の黒雲母が幅10~20mm程度の帯状に濃集している。

割れ目5周辺の花崗岩は橙色に変色する。変色の幅は20mm程度。

NNW走向の割れ目3, 6はNW走向の割れ目2, 5で止まる。

岩石試料 500mアクセス北R53-1

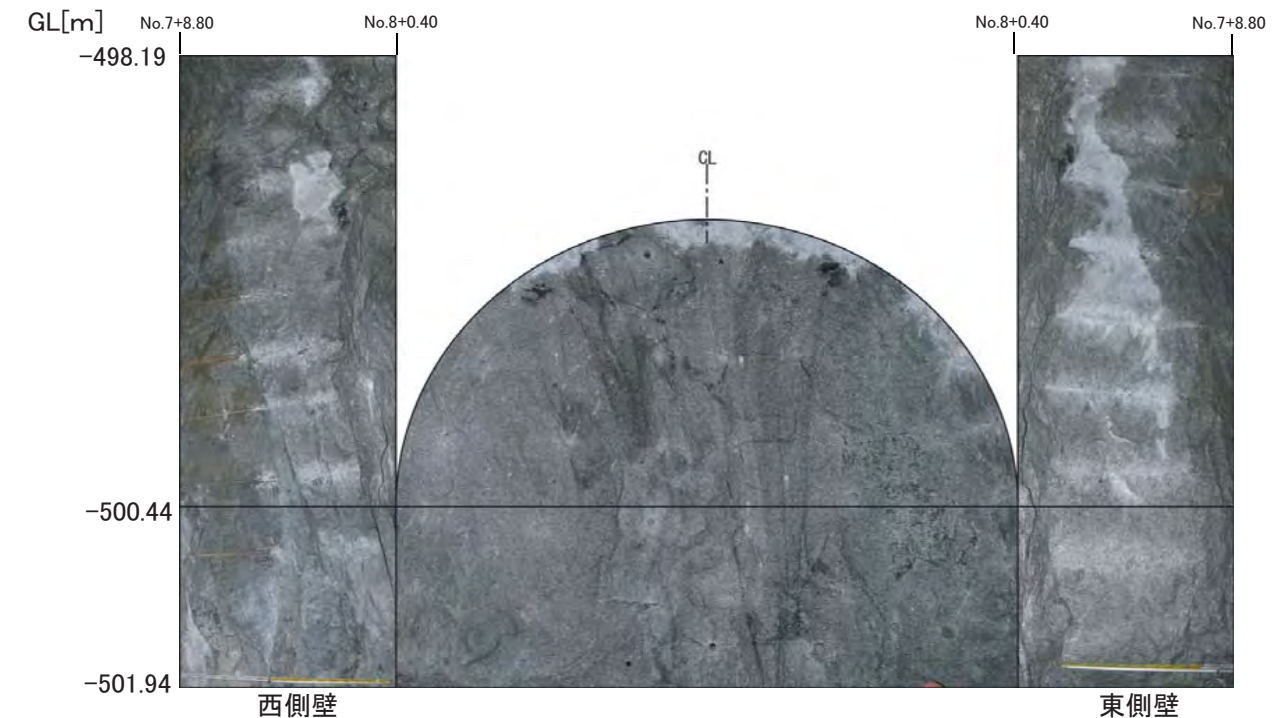
割れ目1から滴水程度の湧水が認められる。

NW走向高角度南傾斜と北傾斜の割れ目が主体で、10~20cm程度の間隔で認められ、NW走向の割れ目で止まるNNW走向高角度西傾斜の割れ目が6~10cm程度の間隔で認められる。他に、NE走向高角度北傾斜の割れ目4が認められる。割れ目にはクォーライトやカルサイトを介在する。花崗岩は中程度の変質を受け、黒雲母などの有色鉱物の半数程度がクォーライトに置き換わる。花崗岩は全体に橙色を呈する。ハンマーの打撃で金属音を発する程度の硬さ。

NW走向高角度南傾斜の割れ目とNNE~NE走向高角度東傾斜と西傾斜の割れ目が20~60cm程度の間隔で認められる。割れ目にはクォーライトやカルサイトを介在する。花崗岩の変質はほとんど認められず、黒雲母などの有色鉱物はほとんど残存している。花崗岩は全体に淡桃色を呈する。ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さ。

NE走向高角度西傾斜と南傾斜の割れ目が60~100cm程度の間隔で認められる。他に、NNW走向高角度西傾斜の割れ目12が認められる。割れ目は断続的で連続性は良くない。割れ目の長さは1~2m程度。割れ目にはクォーライトとカルサイトを介在する。花崗岩の変質はほとんど認められず、有色鉱物は概ね残存している。花崗岩は淡桃色を呈する。ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さ。

スケッチ



可視画像

岩種	花崗岩	電研式岩級	G. L. -498.19m~-500.44m G. L. -500.44m~-501.94m	B/CH/CM B/CH/CM
岩相	①中粒~粗粒花崗岩 (淡桃色、橙色)	RMR値	G. L. -498.19m~-500.44m G. L. -500.44m~-501.94m	75 69
風化	α	岩石試料番号	500mアクセス北R53-1 (花崗岩), 500mアクセス北R53-2 (花崗岩)	
変質	1~2	採水試料番号	-	
湧水	滴水程度			

特記事項

当箇所はアクセス北坑道であり、掘進方向はN9°W方向である。横坑観察は切羽から1.6m離れた場所より目視観察を実施した。

岩種は花崗岩で、岩相は石英の粒径がφ2~8mm程度の中粒~粗粒花崗岩である。花崗岩の変質の程度は、割れ目2付近から西側は中程度の変質により、有色鉱物の半数程度がクォーライトに置き換わり、カリ長石は橙色を呈する。花崗岩全体としては橙色を呈する。

割れ目2付近から東側では、花崗岩に変質はほとんど認められない。有色鉱物は概ね残存し、花崗岩は全体に淡桃色を呈する。

割れ目の走向傾斜は、割れ目8から西側はNW走向高角度南傾斜と北傾斜が主体で、他にNNW走向高角度西傾斜、NE走向高角度北~西傾斜が認められる。割れ目8から東側は、NE走向高角度西傾斜と南傾斜が主体で、他にNNW走向高角度西傾斜が認められる。

割れ目の介在物は、カルサイト、クォーライトが認められる。

湧水は西側壁の割れ目1から滴水程度の湧水が認められた。

岩級区分は、割れ目8から東側は、割れ目間隔が60~100cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、B(A・II・1)級と評価した。割れ目2付近から割れ目8までは、割れ目間隔が20~60cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、CH(B・III・1)級と評価した。割れ目2付近から西側では、割れ目間隔が6~20cm程度で、ハンマーの打撃で金属音を発する程度の硬さであることから、CM(C・IV・1)級と評価した。

A工区地質記載シート

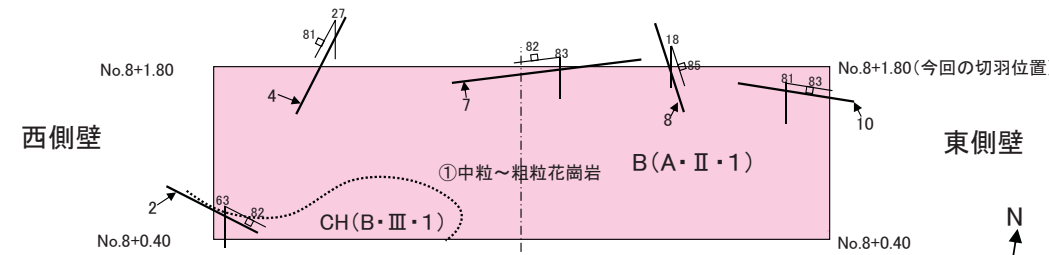
A5-請負-計測工(地質)-130527

シート番号	500mアクセス北坑道54	日時	2013/5/27 9:00~10:30	位置・深度	500mアクセス北坑道54 G.L. -498.32 m~G.L. -502.07 m	観察・撮影者	
-------	---------------	----	-------------------------	-------	--	--------	--

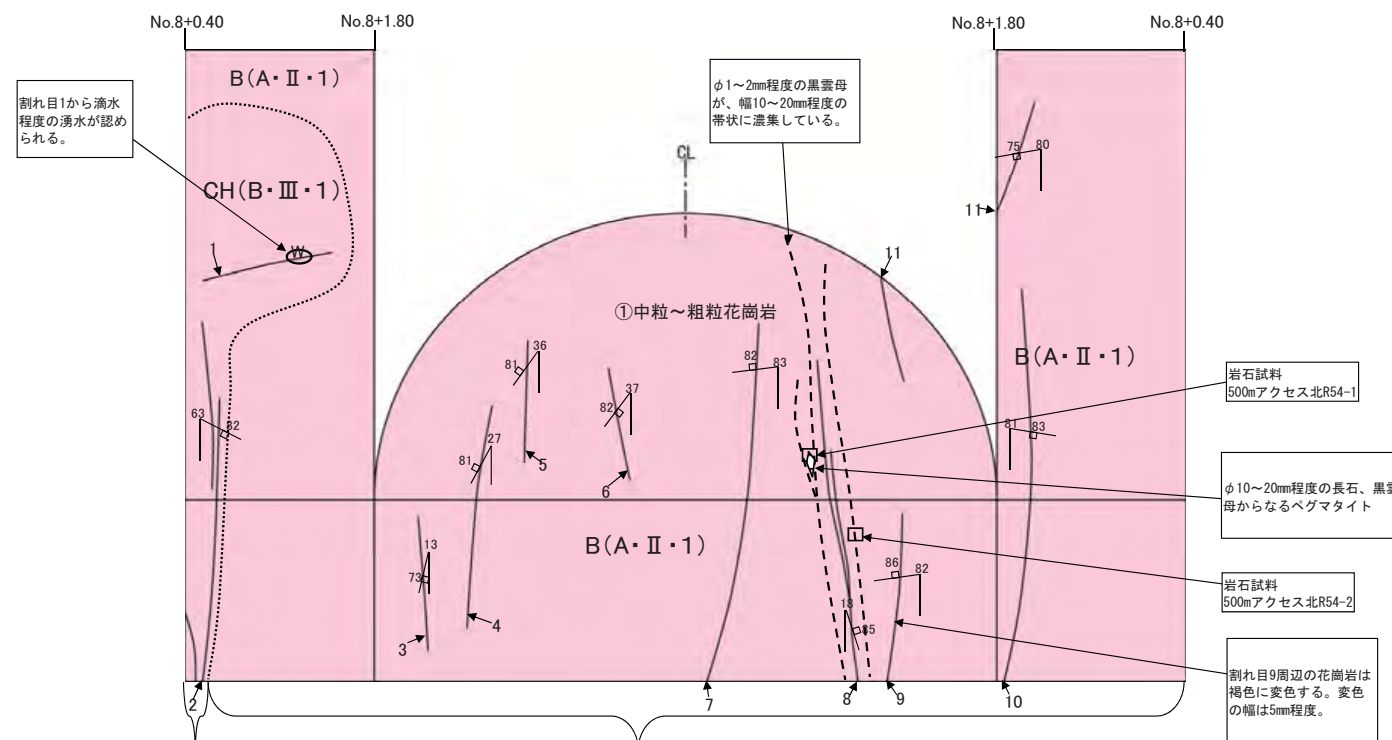
総括監督員	主任監督員	監督員	担当者

請負人 大林・大成・安藤ハザマ特定建設工事共同企業体
現場代理人

凡例	花崗岩	割れ目	割れ目の走向傾斜	岩級区分境界	湧水	黒雲母の濃集	ペグマタイト
----	-----	-----	----------	--------	----	--------	--------



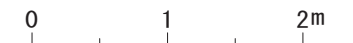
スライス断面図



スケッチ



可視画像



WNW走向高角度南傾斜の割れ目とWNW走向低角度南傾斜の割れ目が認められる。
割れ目にはカルサイトを介在する。
花崗岩の変質はほとんど認められず、黒雲母などの有色鉱物はほとんど残存している。
花崗岩は全体に淡桃色を呈する。
ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さ。

NNE走向高角度西傾斜と東傾斜、およびENE走向高角度北傾斜と南傾斜の割れ目が60~100cm程度の間隔で認められる。他に、NW走向高角度東傾斜の割れ目8とEW走向高角度南傾斜の割れ目10が認められる。割れ目は断続的で連続性は良くない。割れ目の長さは1~2m程度。
割れ目はクロライトとカルサイトを介在する。
花崗岩の変質はほとんど認められず、有色鉱物は概ね残存している。花崗岩は淡桃色を呈する。
ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さ。

岩種	花崗岩	電研式岩級	G.L. -498.32m~-500.57m G.L. -500.57m~-502.07m	B/CH B/CH
岩相	①中粒~粗粒花崗岩 (淡桃色、褐色)	RMR値	G.L. -498.32m~-500.57m G.L. -500.57m~-502.07m	74 85
風化	α	岩石試料番号	500mアクセス北R53-1 (花崗岩), 500mアクセス北R53-2 (花崗岩)	
変質	1	採水試料番号	-	
湧水	滴水程度			

特記事項

当箇所はアクセス北坑道であり、掘進方向はN9° W方向である。横坑観察は切羽から1.3m離れた場所より目視観察を実施した。
岩種は花崗岩で、岩相は石英の粒径がφ2~8mm程度の中粒~粗粒花崗岩である。花崗岩に変質はほとんど認められず、花崗岩は全体に淡桃色を呈する。割れ目9周辺の花崗岩には褐色の変色が認められる。
割れ目は断続的で連続性が良くない。割れ目の長さはいずれも1~2m程度で、割れ目の数は少ない。
割れ目の走向傾斜は、NNE走向高角度西傾斜と東傾斜、およびENE走向高角度北傾斜と南傾斜が主体で、他にWNW走向高角度南傾斜、WNW走向低角度南傾斜、NW走向高角度東傾斜、EW走向高角度南傾斜が認められる。

割れ目の介在物は、カルサイト、クロライトが認められる。
湧水は西側壁の割れ目1から滴水程度の湧水が認められた。
岩級区分は、割れ目2付近から東側は、割れ目間隔が60~100cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、B(A・II・1)級と評価した。割れ目2付近から南西側は、割れ目間隔が20cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、CH(B・III・1)級と評価した。

A工区地質記載シート

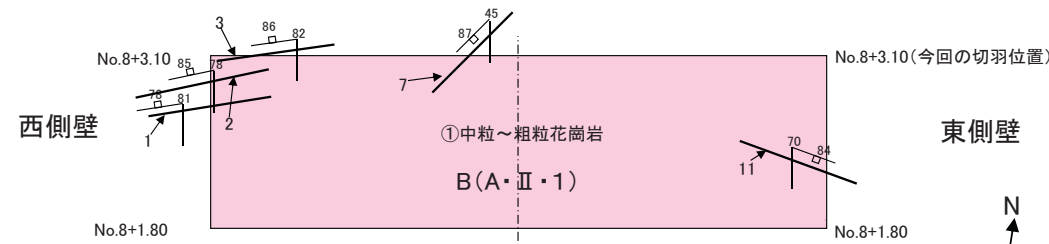
A5-請負-計測工(地質)-130528

シート番号	500mアクセス北坑道55	日時	2013/5/28 9:00~10:30	位置・深度	500mアクセス北坑道55 G.L. -498.46 m~G.L. -502.21 m	観察・撮影者	
-------	---------------	----	-------------------------	-------	--	--------	--

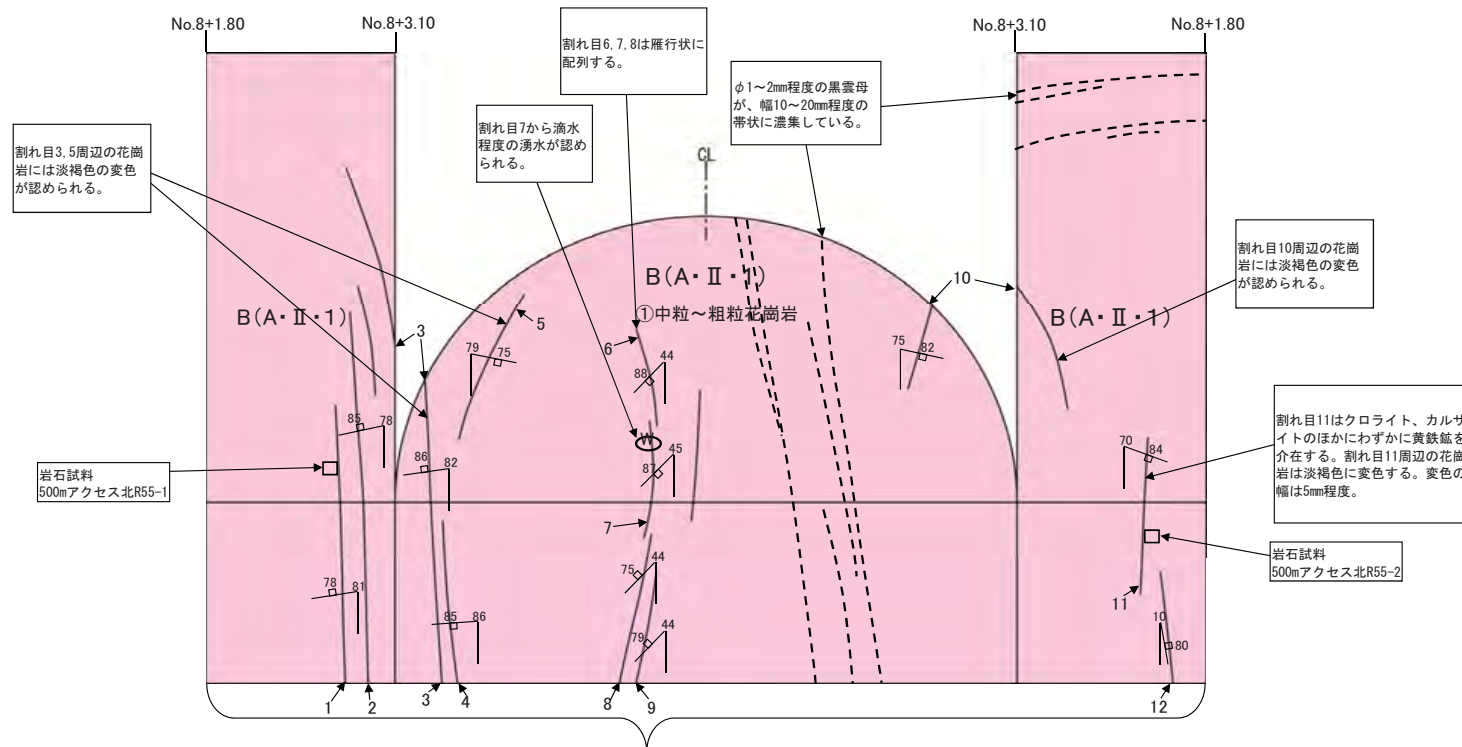
総括監督員	主任監督員	監督員	担当者

請負人 大林・大成・安藤ハザマ特定建設工事共同企業体
現場代理人

凡例	花崗岩	割れ目	割れ目の走向傾斜	岩級区分境界	湧水	黒雲母の濃集
----	-----	-----	----------	--------	----	--------



スライス断面図

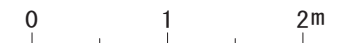


NE走向高角度西傾斜と東傾斜、およびENE走向高角度北傾斜と南傾斜の割れ目やWNW走向高角度南傾斜の割れ目が60~100cm程度の間隔で認められる。他に、NNW走向高角度東傾斜の割れ目12が認められる。
割れ目はいずれも断続的で連続性は良くない。割れ目の長さは1~2m程度。
割れ目はクロライトとカルサイト、黄鉄鉱を介在する。
花崗岩の変質はほとんど認められず、有色鉱物は概ね残存している。花崗岩は淡桃色を呈する。割れ目の周辺では淡褐色の変色が認められる。この変色はカリ長石が淡褐色に変色したことによるものである。
ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さ。

スケッチ



可視画像



岩種	花崗岩	電研式岩級	G.L. -498.46m~-500.71m G.L. -500.71m~-502.21m	B B
岩相	①中粒~粗粒花崗岩 (淡桃色、淡褐色)	RMR値	G.L. -498.46m~-500.71m G.L. -500.71m~-502.21m	79 90
風化	α	岩石試料番号	500mアクセス北R55-1 (花崗岩), 500mアクセス北R55-2 (花崗岩)	
変質	1	採水試料番号	-	
湧水	滴水程度			

特記事項

当箇所はアクセス北坑道であり、掘進方向はN9° W方向である。横坑観察は切羽から1.3m離れた場所より目視観察を実施した。
岩種は花崗岩で、岩相は石英の粒径がφ2~8mm程度の中粒~粗粒花崗岩である。
花崗岩に変質はほとんど認められず、花崗岩は全体に淡桃色を呈する。割れ目の周辺の花崗岩には淡褐色の変色が認められる。
割れ目は断続的で連続性が良くない。割れ目の長さはいずれも1~2m程度で、割れ目の数は少ない。
割れ目の走向傾斜は、NE走向高角度西傾斜と東傾斜、およびENE走向高角度北傾斜と南傾斜やWNW走向高角度南傾斜が主体で、他に、NNW走向高角度東傾斜が認められる。

割れ目の介在物は、カルサイト、クロライト、黄鉄鉱が認められる。
湧水は西側壁の割れ目7から滴水程度の湧水が認められた。
岩級区分は、割れ目間隔が60~100cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、B(A・II・1)級と評価した。

A工区地質記載シート

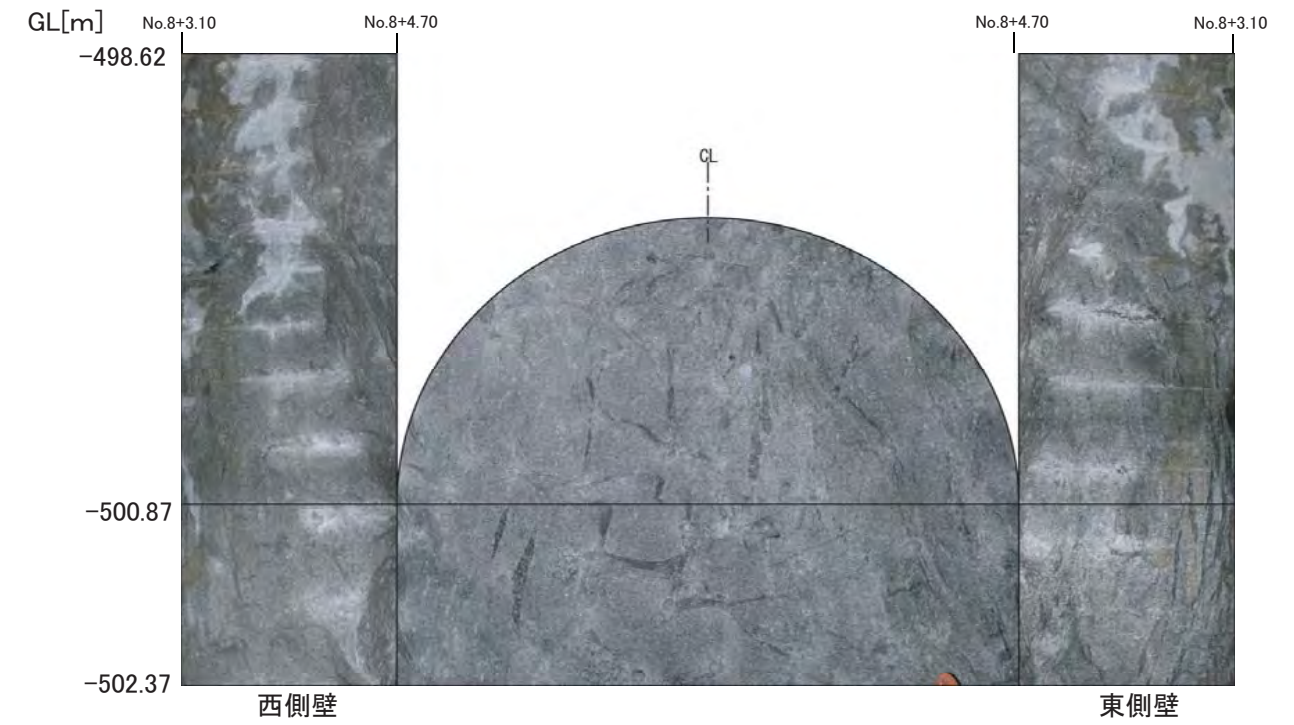
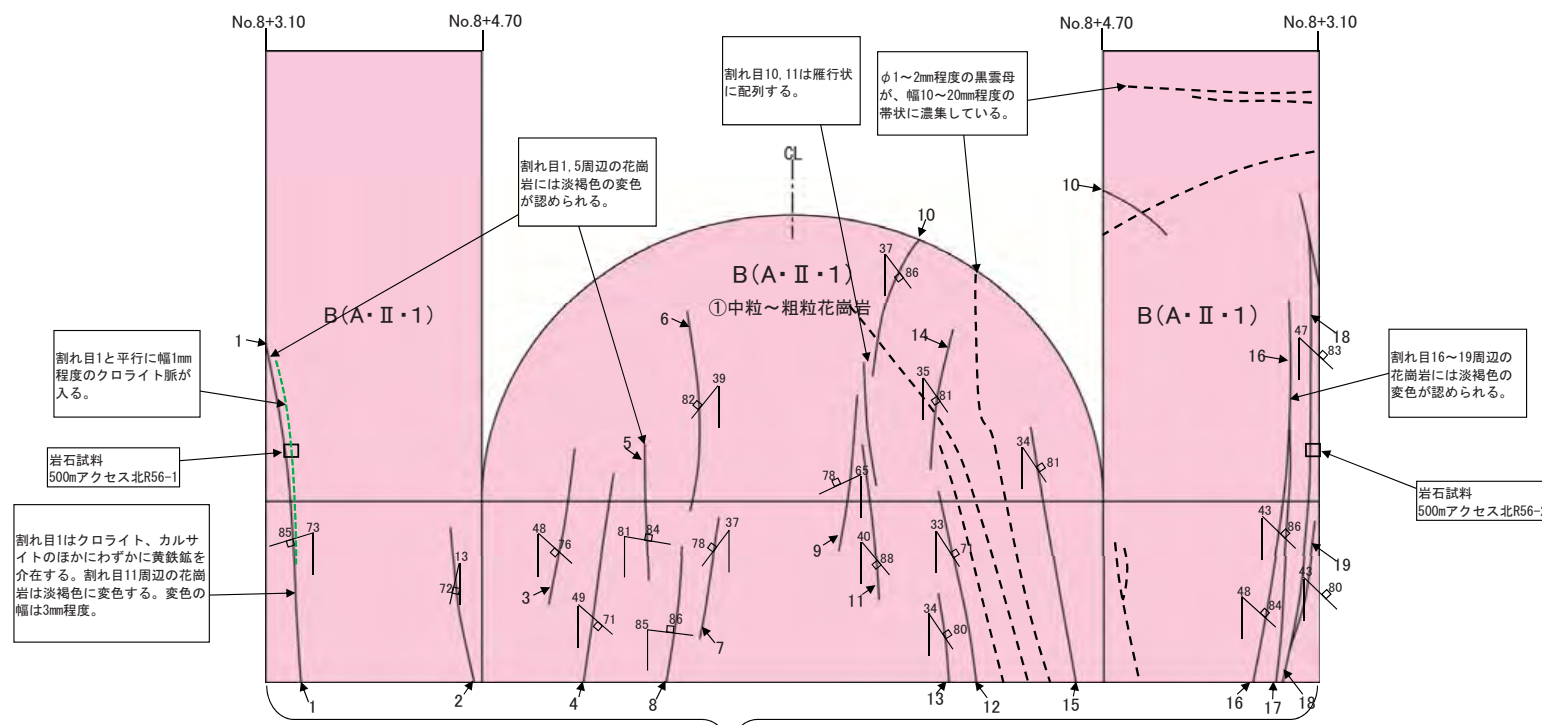
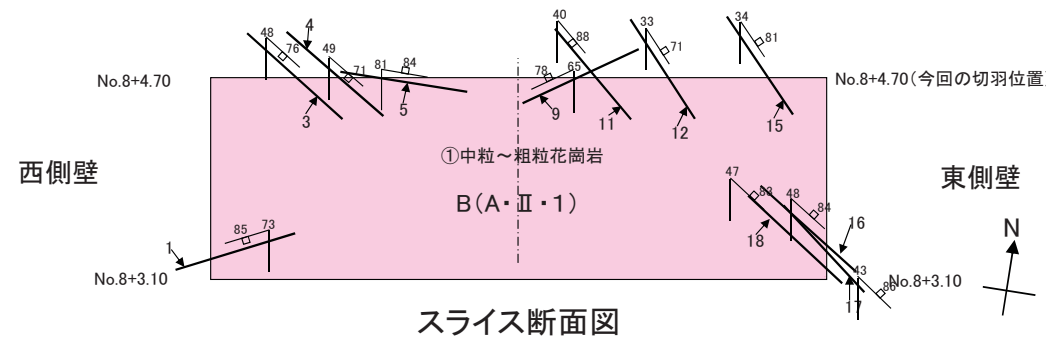
A5-請負-計測工(地質)-130529

シート番号	500mアクセス北坑道56	日時	2013/5/29 15:00~16:30	位置・深度	500mアクセス北坑道56 G. L. -498.62 m~G. L. -502.37 m	観察・撮影者	
-------	---------------	----	--------------------------	-------	--	--------	--

総括監督員	主任監督員	監督員	担当者

請負人 大林・大成・安藤ハザマ特定建設工事共同企業体
現場代理人

凡例	花崗岩	割れ目	割れ目の走向傾斜	岩級区分境界	湧水	黒雲母の濃集	クロライト脈
----	-----	-----	----------	--------	----	--------	--------



NW走向高角度南～西傾斜や北～東傾斜の割れ目、ENE走向高角度北傾斜と南傾斜の割れ目が60～100cm程度の間隔で認められる。他に、NNE走向高角度東傾斜の割れ目2、NE走向高角度北～西傾斜の割れ目6, 7, 9が認められる。
割れ目はいずれも断続的で連続性は良くない。割れ目の長さは1～2m程度。
割れ目はクロライトとカルサイト、黄鉄鉱を介在する。
花崗岩の変質はほとんど認められず、有色鉱物は概ね残存している。花崗岩は淡桃色を呈する。割れ目の周辺では淡褐色の変色が認められる。この変色はカリ長石が淡褐色に変色したことによるものである。
ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さ。

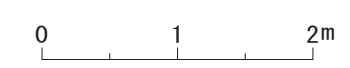
スケッチ

岩種	花崗岩	電研式岩級	G. L. -498.62m~-500.87m B G. L. -500.87m~-502.37m B
岩相	①中粒～粗粒花崗岩 (淡桃色、淡褐色)	RMR値	G. L. -498.62m~-500.87m 90 G. L. -500.87m~-502.37m 90
風化	α	岩石試料番号	500mアクセス北R56-1 (花崗岩), 500mアクセス北R56-2 (花崗岩)
変質	1	採水試料番号	-
湧水	無し		

特記事項

当箇所はアクセス北坑道であり、掘進方向はN9° W方向である。横坑観察は切羽から1.6m離れた場所より目視観察を実施した。
岩種は花崗岩で、岩相は石英の粒径がφ2~7mm程度(所々にφ20mm程度のカリ長石が認められる)の中粒～粗粒花崗岩である。
花崗岩に変質はほとんど認められず、花崗岩は全体に淡桃色を呈する。割れ目の周辺の花崗岩には淡褐色の変色が認められる。
割れ目は断続的で連続性が良くない。割れ目の長さはいずれも1～2m程度で、割れ目の数は少ない。
割れ目の走向傾斜は、NW走向高角度南～西傾斜や北～東傾斜、ENE走向高角度北傾斜と南傾斜が主体で認められる。他に、NNE走向高角度東傾斜、NE走向高角度北～西傾斜が認められる。

割れ目の介在物は、カルサイト、クロライト、黄鉄鉱が認められる。
湧水は認められなかった。
岩級区分は、割れ目間隔が60～100cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、B(A・II・1)級と評価した。



A工区地質記載シート

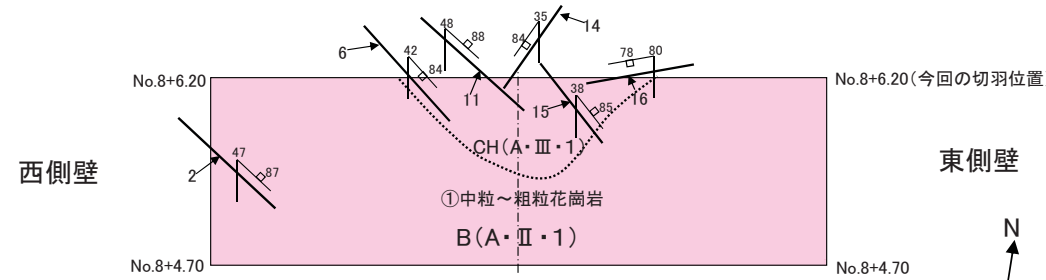
A5-請負-計測工(地質)-130531

シート番号	500mアクセス北坑道57	日時	2013/5/31 9:00~10:30	位置・深度	500mアクセス北坑道57 G.L. -498.77 m~G.L. -502.52 m	観察・撮影者	
-------	---------------	----	-------------------------	-------	--	--------	--

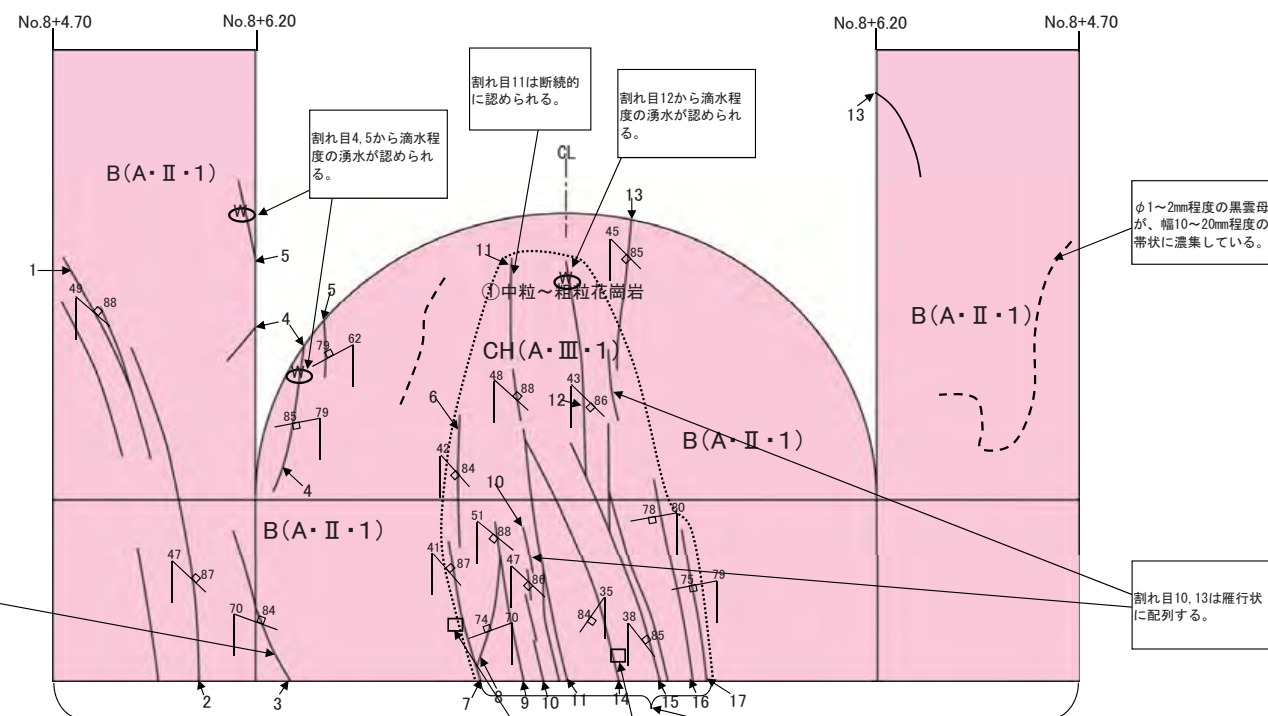
総括監督員	主任監督員	監督員	担当者

請負人 大林・大成・安藤ハザマ特定建設工事共同企業体
現場代理人

凡例 花崗岩 割れ目 割れ目の走向傾斜 岩級区分境界 湧水 黒雲母の濃集



スライス断面図



可視画像



スケッチ

岩種	花崗岩	電研式岩級	G.L. -498.77m~-501.02m G.L. -501.02m~-502.52m	B/CH B/CH
岩相	①中粒~粗粒花崗岩 (淡桃色、淡褐色)	RMR値	G.L. -498.77m~-501.02m G.L. -501.02m~-502.52m	79 90
風化	α	岩石試料番号	500mアクセス北R57-1 (花崗岩), 500mアクセス北R57-2 (花崗岩)	
変質	1	採水試料番号	-	
湧水	滴水程度			

特記事項

当箇所はアクセス北坑道であり、掘進方向はN9° W方向である。横坑観察は切羽から1.5m離れた場所より目視観察を実施した。
岩種は花崗岩で、岩相は石英の粒径がφ2~7mm程度(所々にφ20mm程度のカリ長石が認められる)の中粒~粗粒花崗岩である。
花崗岩に変質はほとんど認められず、花崗岩は全体に淡桃色を呈する。割れ目の周辺の花崗岩には淡褐色の変色が認められる。
割れ目の走向傾斜は、NW~WNW走向高角度北傾斜および南傾斜とNE~ENE走向高角度北傾斜と南傾斜が主体で、他にNE走向高角度東傾斜の割れ目が認められる。

割れ目の介在物は、カルサイト、クロライトが認められる。
湧水は、割れ目4, 5, 12から滴水程度で認められた。
岩級区分は、切羽の大部分では割れ目間隔が60~100cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、B(A・II・1)級と評価した。割れ目7付近から割れ目17付近までの間は、割れ目間隔が20~30cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、CH(A・III・1)級と評価した。

A工区地質記載シート

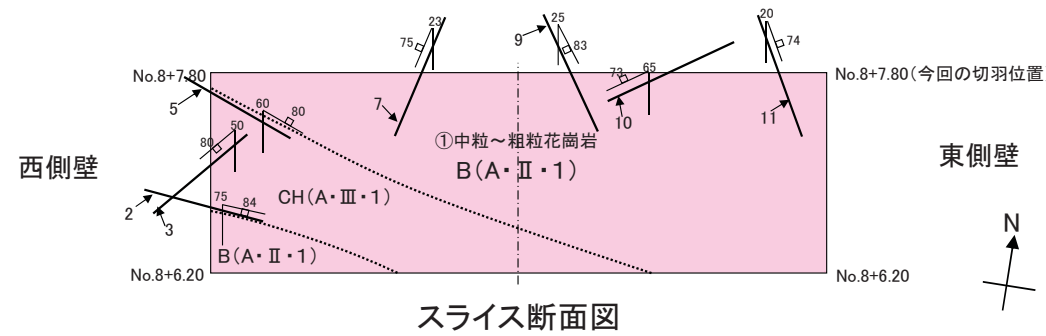
A5-請負-計測工(地質)-130601

シート番号	500mアクセス北坑道58	日時	2013/6/1 15:00~16:30	位置・深度	500mアクセス北坑道58 G.L. -498.93 m~G.L. -502.68 m	観察・撮影者	
-------	---------------	----	-------------------------	-------	--	--------	--

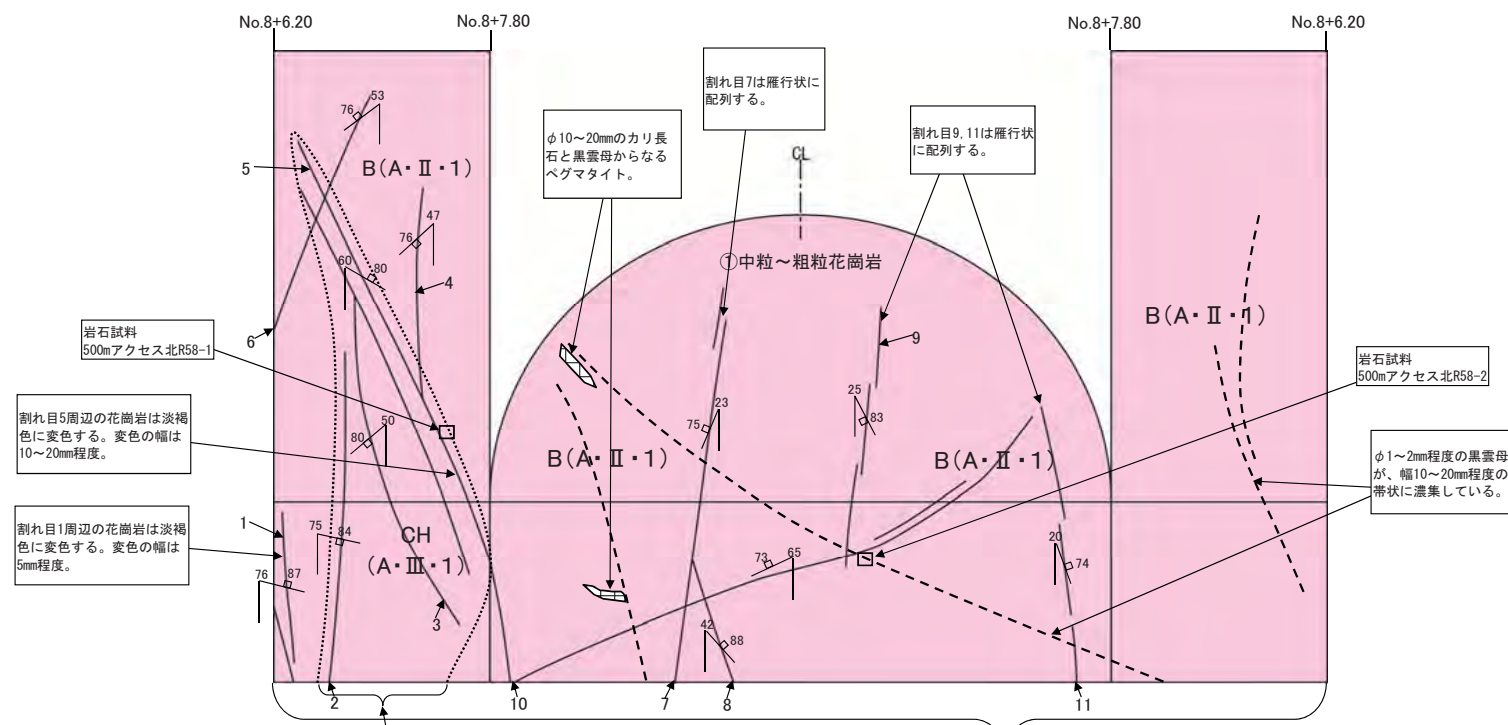
総括監督員	主任監督員	監督員	担当者

請負人 大林・大成・安藤ハザマ特定建設工事共同企業体
現場代理人

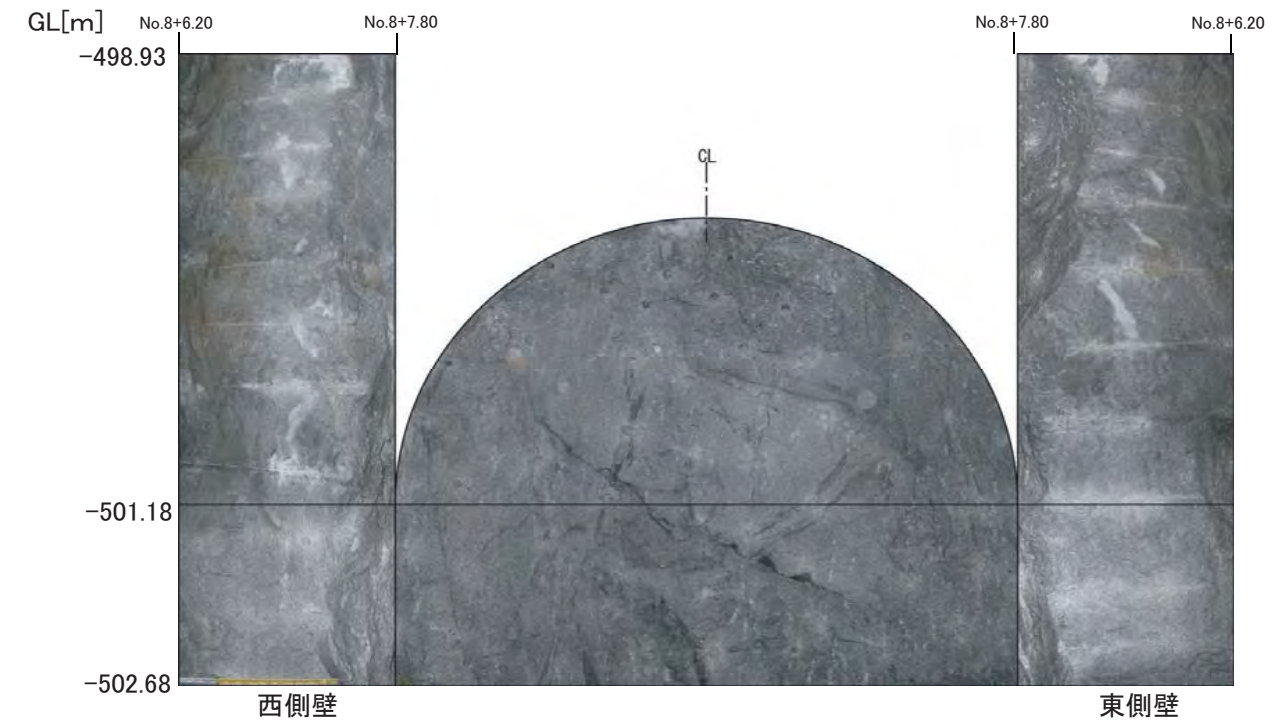
凡例 花崗岩 割れ目 割れ目の走向傾斜 岩級区分境界 湧水 黒雲母の濃集 ベグマタイト



スライス断面図



スケッチ



可視画像

WNW走向高角度南傾斜と北傾斜の割れ目、NE走向高角度東傾斜の割れ目が20~30cm程度の間隔で認められる。割れ目はカルサイトを介在する。花崗岩の変質はほとんど認められず、有色鉱物は概ね残存している。花崗岩は淡桃色を呈する。割れ目の周辺では淡褐色の変色が認められる。ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さ。

NW~WNW走向高角度北傾斜の割れ目とNNE~NE走向高角度西傾斜の割れ目が60~100cm程度の間隔で認められる。他に、NW走向高角度西傾斜の割れ目9、NE走向高角度北傾斜の割れ目10、NNW走向高角度東傾斜の割れ目11が認められる。割れ目はいずれも断続的である。割れ目の長さは1~2m程度。割れ目はクロライトとカルサイトを介在する。花崗岩の変質はほとんど認められず、有色鉱物は概ね残存している。花崗岩は淡桃色を呈する。割れ目の周辺では淡褐色の変色が認められる。この変色はカリ長石が淡褐色に変色したことによるものである。ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さ。

岩種	花崗岩	電研式岩級	G.L. -498.93m~-501.18m G.L. -501.18m~-502.68m	B/CH B/CH
岩相	①中粒~粗粒花崗岩 (淡桃色、淡褐色)	RMR値	G.L. -498.93m~-501.18m G.L. -501.18m~-502.68m	90 90
風化	α	岩石試料番号	500mアクセス北R58-1 (花崗岩), 500mアクセス北R58-2 (花崗岩)	
変質	1~2	採水試料番号	-	
湧水	無し			

特記事項

当箇所はアクセス北坑道であり、掘進方向はN9° W方向である。横坑観察は切羽から1.6m離れた場所より目視観察を実施した。岩種は花崗岩で、岩相は石英の粒径がφ2~7mm程度(所々にφ15mm程度のカリ長石が認められる)の中粒~粗粒花崗岩である。花崗岩に変質はほとんど認められず、花崗岩は全体に淡桃色を呈する。割れ目の周辺の花崗岩には淡褐色の変色が認められる。割れ目の走向傾斜は、NW~WNW走向高角度北傾斜の南傾斜の割れ目とNNE~NE走向高角度西傾斜と東傾斜の割れ目が主体で、他にNW走向高角度西傾斜、NE走向高角度北傾斜、NNW走向高角度東傾斜が認められる。

割れ目の介在物は、カルサイト、クロライトが認められる。湧水は、認められなかった。岩級区分は、切羽の大部分では割れ目間隔が60~100cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、B(A・II・1)級と評価した。西側壁の割れ目2付近から割れ目5付近までは、割れ目間隔が20~30cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、CH(A・III・1)級と評価した。

A工区地質記載シート

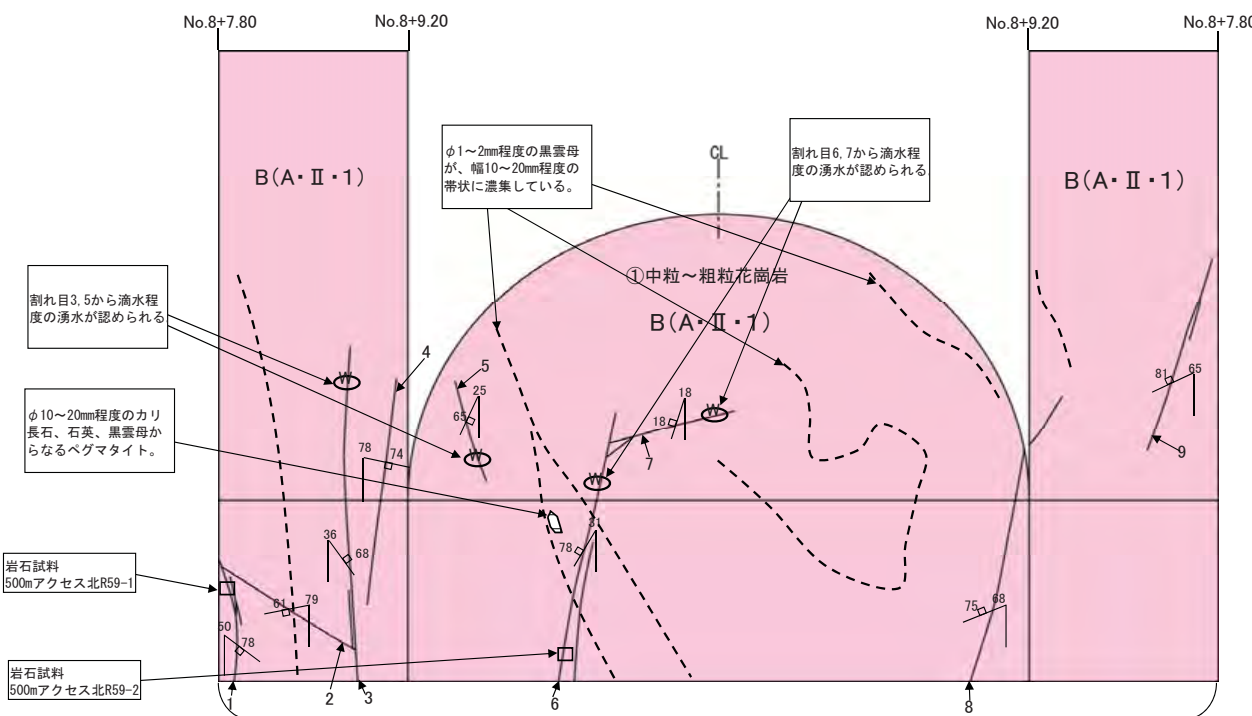
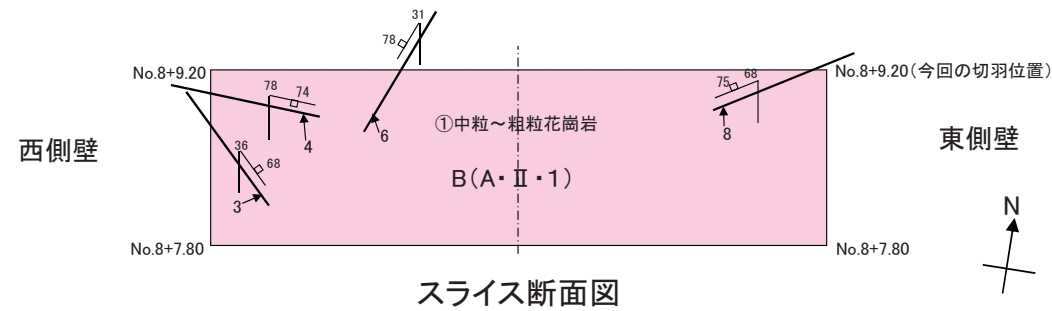
A5-請負-計測工(地質)-130603

シート番号	500mアクセス北坑道59	日時	2013/6/3 17:00~18:30	位置・深度	500mアクセス北坑道59 G.L. -499.07 m~G.L. -502.82 m	観察・撮影者	
-------	---------------	----	-------------------------	-------	--	--------	--

総括監督員	主任監督員	監督員	担当者

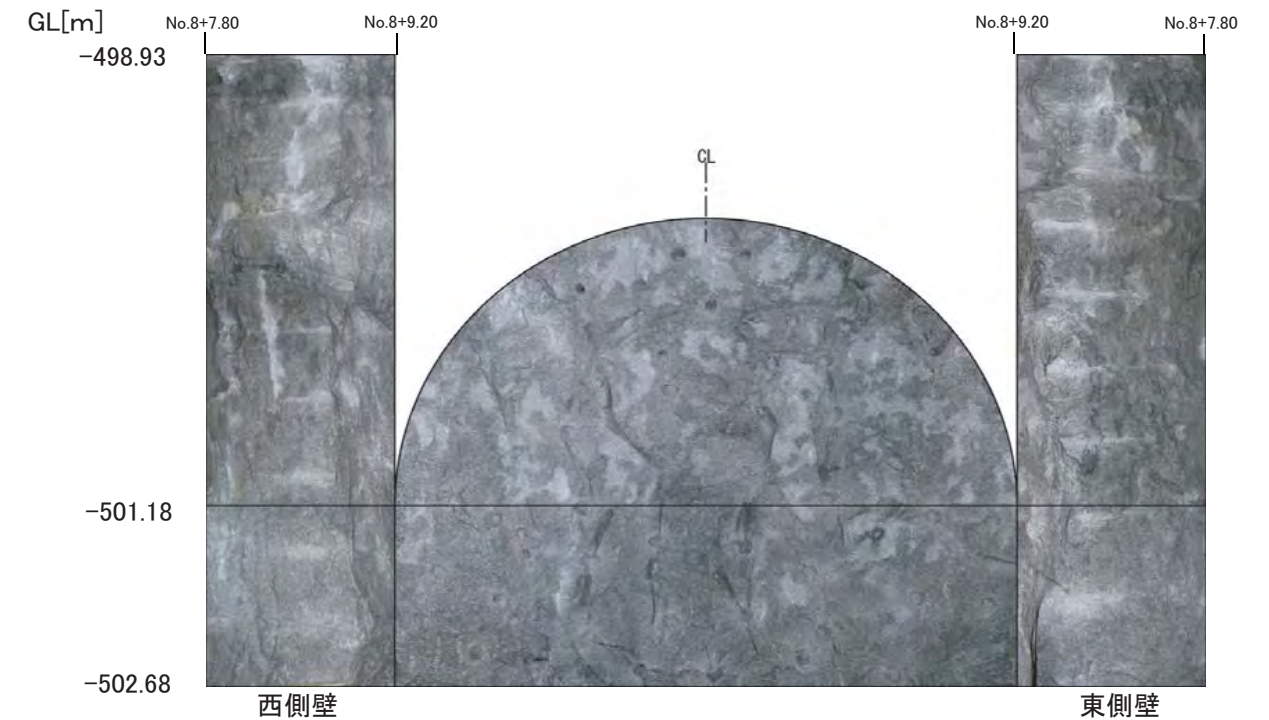
請負人 大林・大成・安藤ハザマ特定建設工事共同企業体
現場代理人

凡例 花崗岩 割れ目 割れ目の走向傾斜 岩級区分境界 湧水 黒雲母の濃集 ベグマタイト

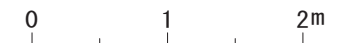


NW走向高角度南傾斜および北傾斜の割れ目と、NNE~NE走向高角度北~西傾斜の割れ目が60~100cm程度の間隔で認められる。他に、ENE走向高角度南傾斜の割れ目2、WNW走向高角度南傾斜の割れ目4、NNE走向高角度東傾斜の割れ目5、NNE走向低角度西傾斜の割れ目7が認められる。
割れ目は連続性があまり良くない。割れ目の長さは1~2m程度。
割れ目はクォーライトとカルサイトを介する。
花崗岩の変質はほとんど認められず、有色鉱物は概ね残存している。花崗岩は全体に淡桃色を呈する。
ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さ。

スケッチ



可視画像



岩種	花崗岩	電研式岩級	G.L. -499.07m~-501.32m G.L. -501.32m~-502.82m	B B
岩相	①中粒~粗粒花崗岩 (淡桃色)	RMR値	G.L. -499.07m~-501.32m G.L. -501.32m~-502.82m	79 79
風化	α	岩石試料番号	500mアクセス北R59-1 (花崗岩), 500mアクセス北R59-2 (花崗岩)	
変質	1	採水試料番号	-	
湧水	滴水程度			

特記事項

当箇所はアクセス北坑道であり、掘進方向はN9° W方向である。横坑観察は切羽から1.4m離れた場所より目視観察を実施した。
岩種は花崗岩で、岩相は石英の粒径がφ2~7mm程度(所々にφ15mm程度のカリ長石が認められる)の中粒~粗粒花崗岩である。
花崗岩に変質はほとんど認められず、花崗岩は全体に淡桃色を呈する。
割れ目の走向傾斜は、NW走向高角度南傾斜および北傾斜の割れ目と、NNE~NE走向高角度北~西傾斜の割れ目が主体で、他にENE走向高角度南傾斜、WNW走向高角度南傾斜、NNE走向高角度東傾斜、NNE走向低角度西傾斜が認められる。
割れ目は連続性があまり良くなく、いずれも1~2m程度までの長さのものである。

割れ目の介在物は、カルサイト、クォーライトが認められる。
湧水は、割れ目3, 5, 6, 7から滴水程度で認められた。
岩級区分は、割れ目間隔が60~100cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、B(A・II・1)級と評価した。

A工区地質記載シート

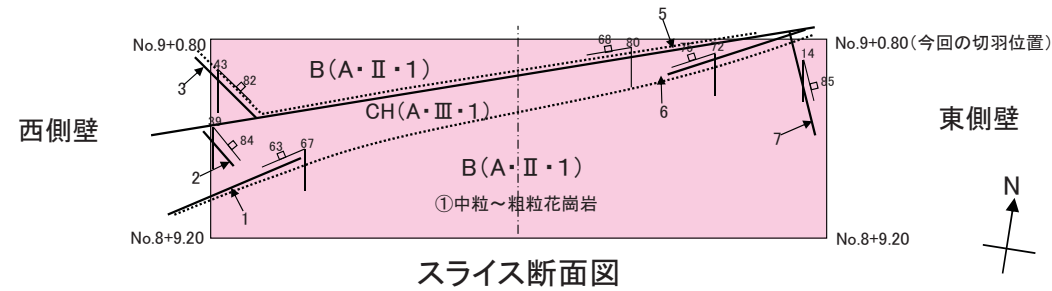
A5-請負-計測工(地質)-130605

シート番号	500mアクセス北坑道60	日時	2013/6/5 10:00~11:30	位置・深度	500mアクセス北坑道60 G.L. -499.23 m~G.L. -502.98 m	観察・撮影者	
-------	---------------	----	-------------------------	-------	--	--------	--

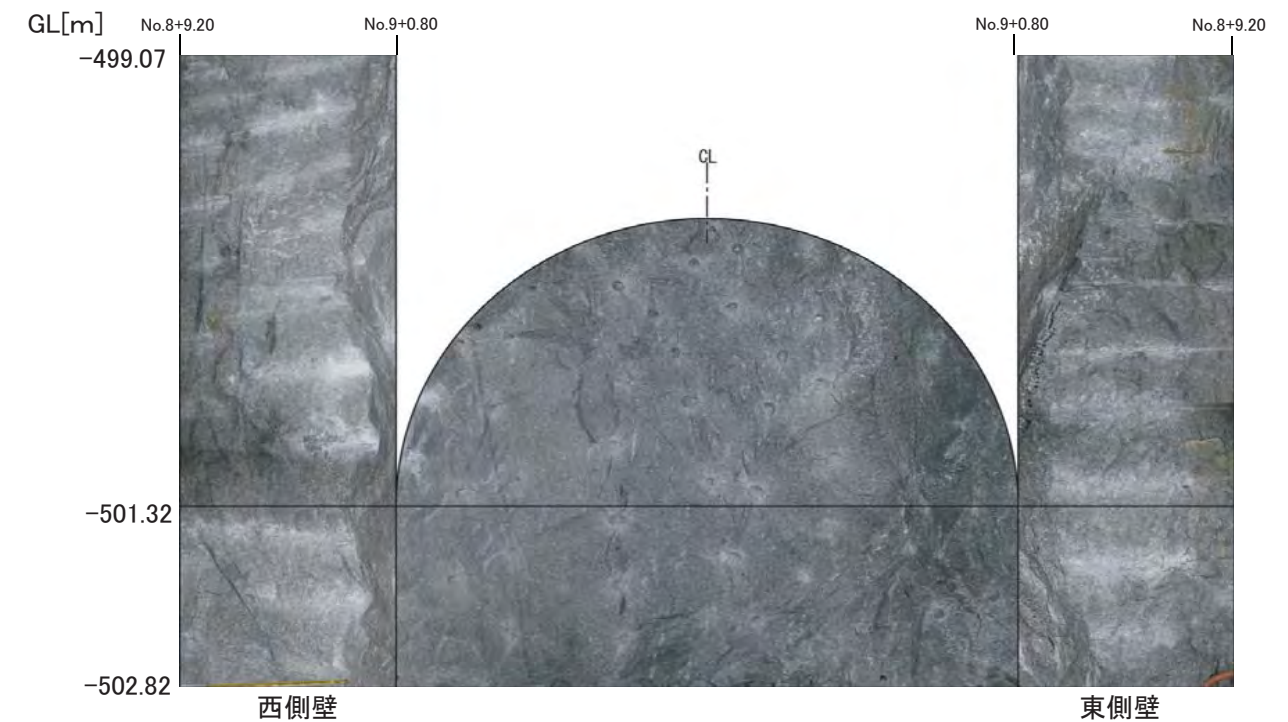
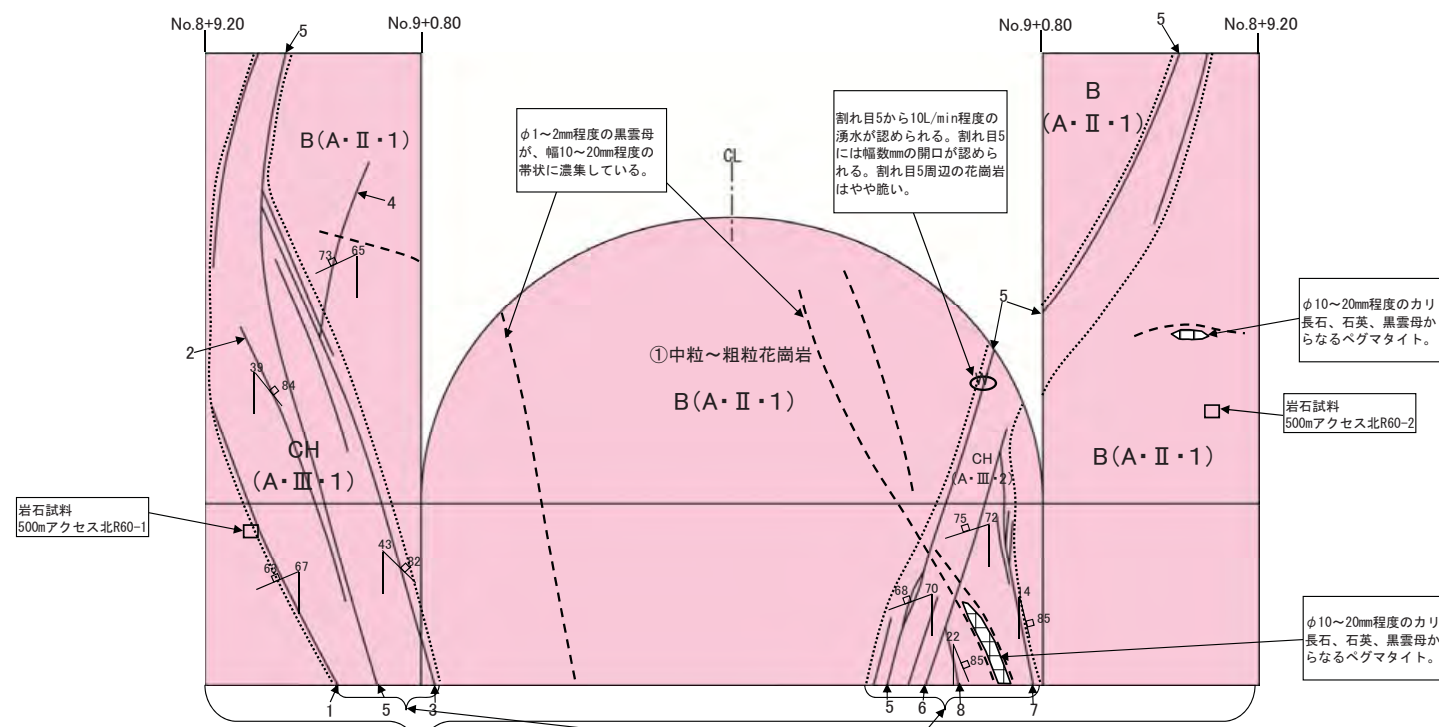
総括監督員	主任監督員	監督員	担当者

請負人 大林・大成・安藤ハザマ特定建設工事共同企業体
現場代理人

凡例 花崗岩 割れ目 割れ目の走向傾斜 岩級区分境界 湧水 黒雲母の濃集 ベグマタイト



スライス断面図



可視画像

スケッチ

岩種	花崗岩	電研式岩級	G.L. -499.23m~-501.48m B/CH G.L. -501.48m~-502.98m B/CH
岩相	①中粒~粗粒花崗岩 (淡桃色)	RMR値	G.L. -499.23m~-501.48m 75 G.L. -501.48m~-502.98m 90
風化	α	岩石試料番号	500mアクセス北R60-1 (花崗岩), 500mアクセス北R60-2 (花崗岩)
変質	1	採水試料番号	-
湧水	10L/min		

特記事項

当箇所はアクセス北坑道であり、掘進方向はN9° W方向である。横坑観察は切羽から1.6m離れた場所より目視観察を実施した。
岩種は花崗岩で、岩相は石英の粒径がφ2~7mm程度(所々にφ15mm程度のカリ長石が認められる)の中粒~粗粒花崗岩である。
花崗岩に変質はほとんど認められず、花崗岩は全体に淡桃色を呈する。割れ目5の周辺の花崗岩はやや脆くなっている。
割れ目の走向傾斜は、NW走向高角度北~東傾斜と、NE走向高角度北傾斜が主体で認められる。

割れ目の介在物は、カルサイト、クロライトが認められる。
湧水は、割れ目5から10L/min程度で認められた。
岩級区分は、切羽の大部分で割れ目間隔が60~100cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、B(A・II・1)級と評価した。割れ目1付近から割れ目3~5付近までの花崗岩は、割れ目間隔が20~30cmで、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、CH(A・III・1~2)級と評価した。

A工区地質記載シート

A5-請負-計測工(地質)-130606

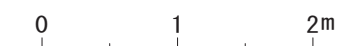
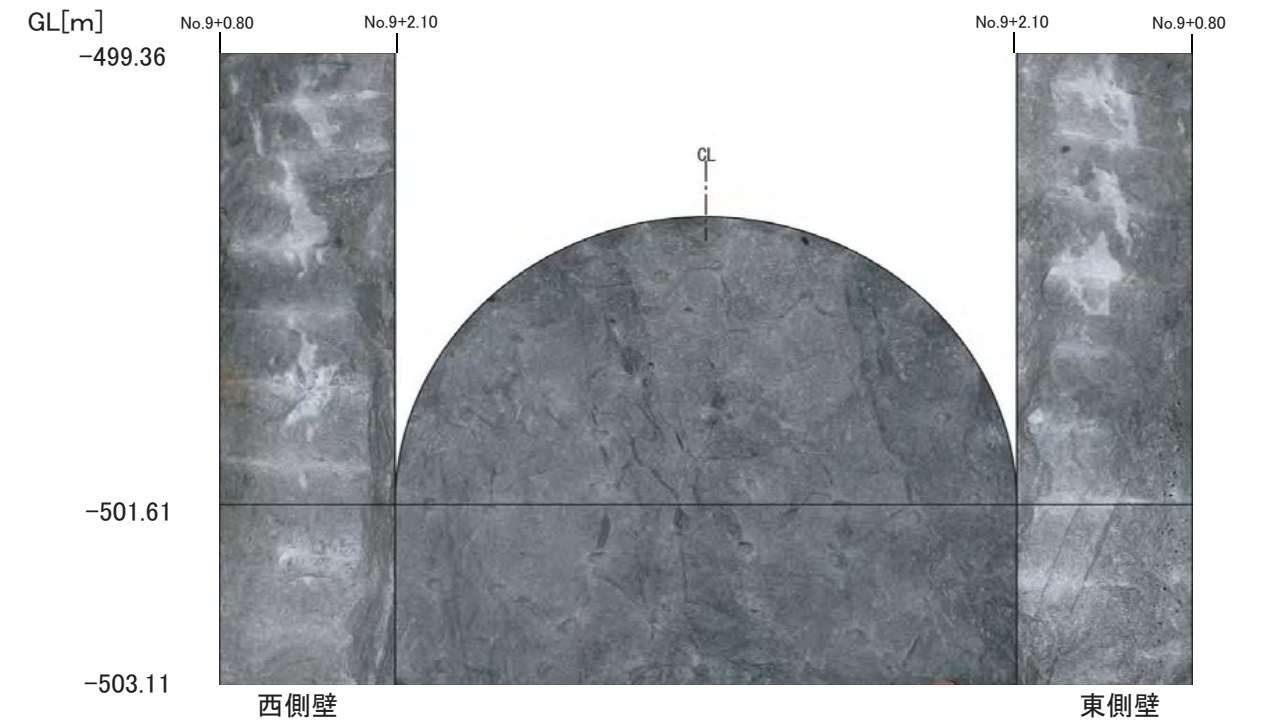
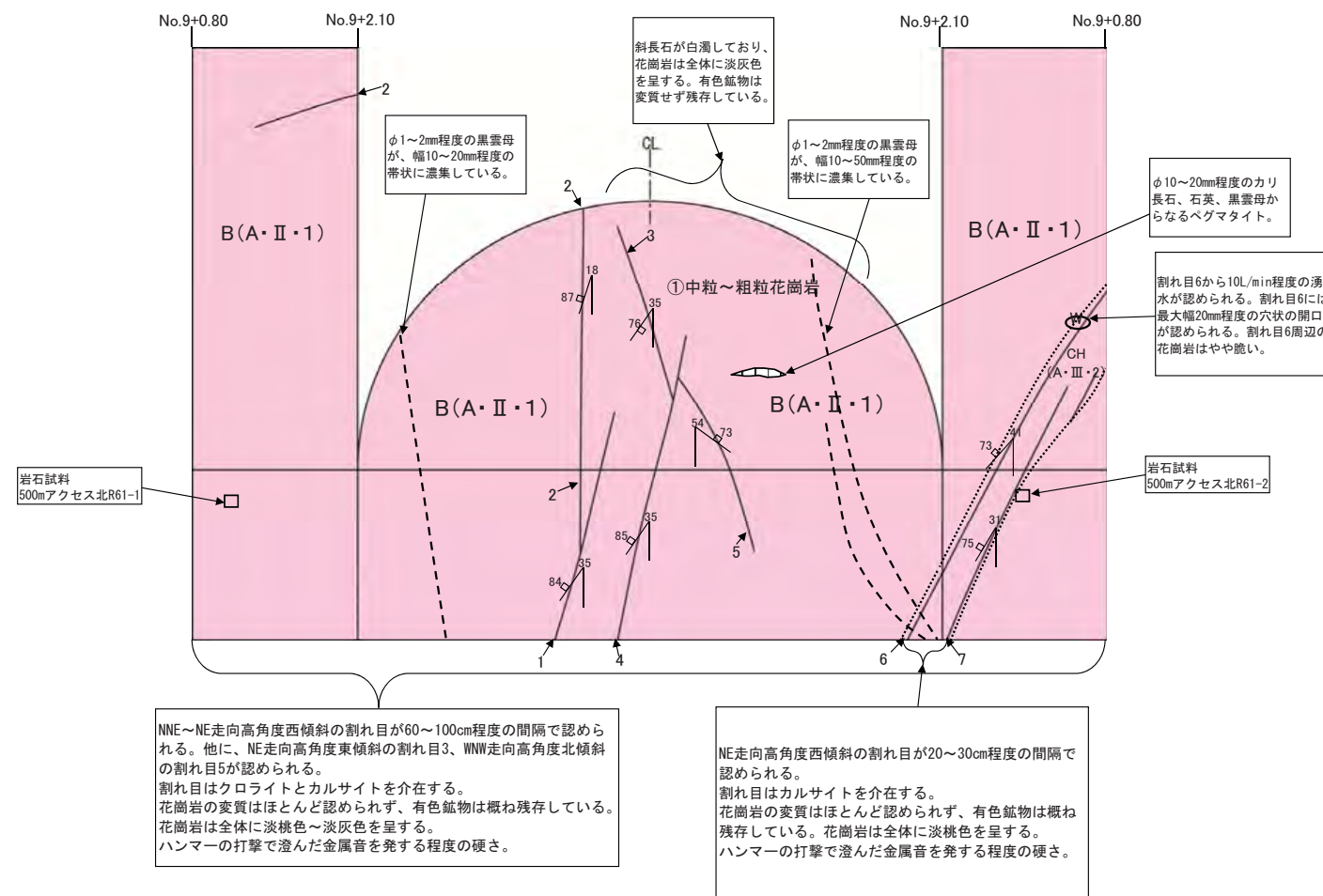
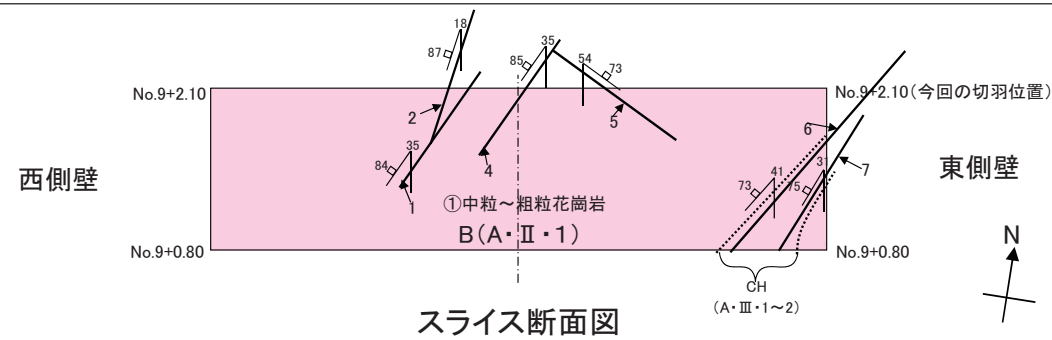
シート番号	500mアクセス北坑道61	日時	2013/6/6 10:00~11:30	位置・深度	500mアクセス北坑道61 G. L. -499.36 m~G. L. -503.11 m	観察・撮影者	
-------	---------------	----	-------------------------	-------	--	--------	--

総括監督員	主任監督員	監督員	担当者

請負人 大林・大成・安藤ハザマ特定建設工事共同企業体
現場代理人

凡例

	花崗岩		割れ目		割れ目の走向傾斜		岩級区分境界		湧水		黒雲母の濃集		ペグマタイト
--	-----	--	-----	--	----------	--	--------	--	----	--	--------	--	--------



スケッチ

岩種	花崗岩	電研式岩級	G. L. -499.36m~-501.61m B/CH G. L. -501.61m~-503.11m B/CH
岩相	①中粒~粗粒花崗岩 (淡桃色、淡灰色)	RMR値	G. L. -499.36m~-501.61m 75 G. L. -501.61m~-503.11m 90
風化	α	岩石試料番号	500mアクセス北R61-1 (花崗岩), 500mアクセス北R61-2 (花崗岩)
変質	1	採水試料番号	500mアクセス北W61-1
湧水	10L/min		

特記事項

当箇所はアクセス北坑道であり、掘進方向はN9° W方向である。横坑観察は切羽から1.3m離れた場所より目視観察を実施した。
岩種は花崗岩で、岩相は石英の粒径がφ2~7mm程度(所々にφ15mm程度のカリ長石が認められる)の中粒~粗粒花崗岩である。
花崗岩に変質はほとんど認められず、花崗岩は全体に淡桃色を呈する。鏡中央から右側にかけての花崗岩は、全体に淡灰色を呈する。
割れ目の走向傾斜は、NNE~NE走向高角度西傾斜が主体で、他にNE走向高角度東傾斜、WNW走向高角度北傾斜が認められる。割れ目6の周辺の花崗岩はやや脆くなっている。

割れ目の介在物は、カルサイト、クロライトが認められる。
湧水は、割れ目6から10L/min程度で認められた。
岩級区分は、切羽の大部分で割れ目間隔が60~100cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、B(A・II・1)級と評価した。割れ目6から割れ目7までの花崗岩は、割れ目間隔が20~30cmで、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、CH(A・III・1~2)級と評価した。

A工区地質記載シート

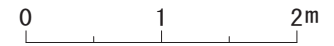
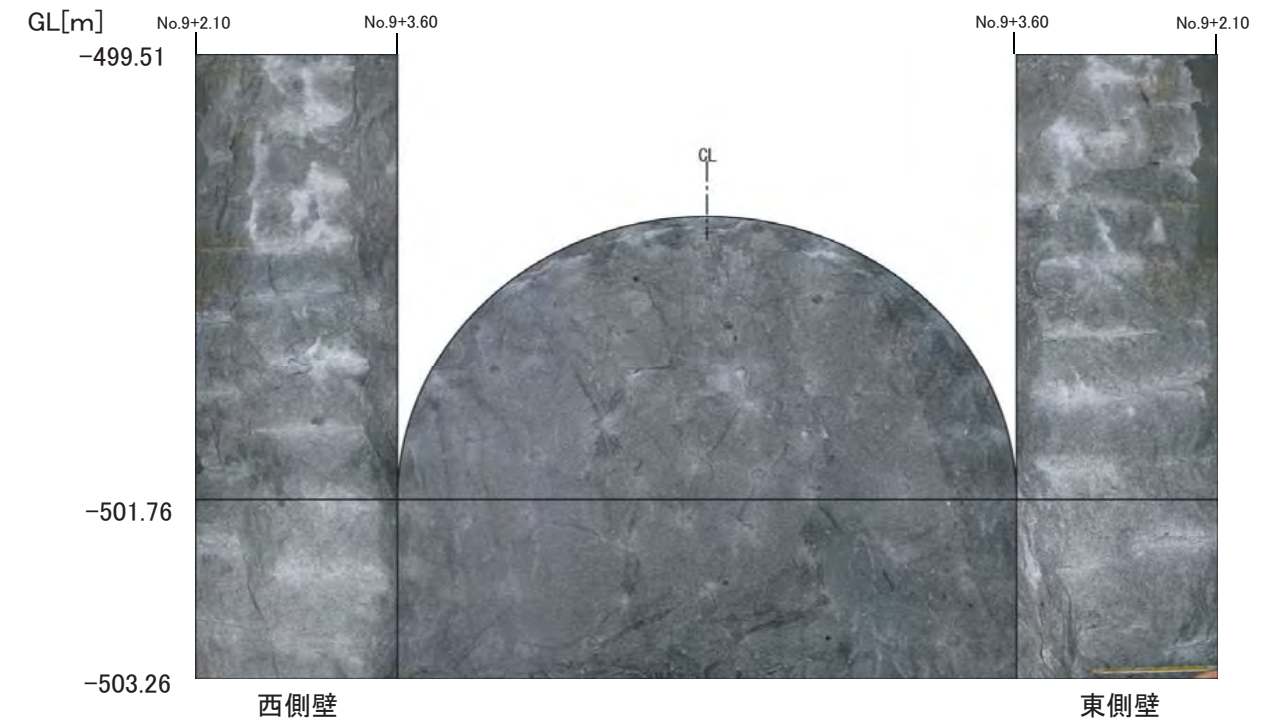
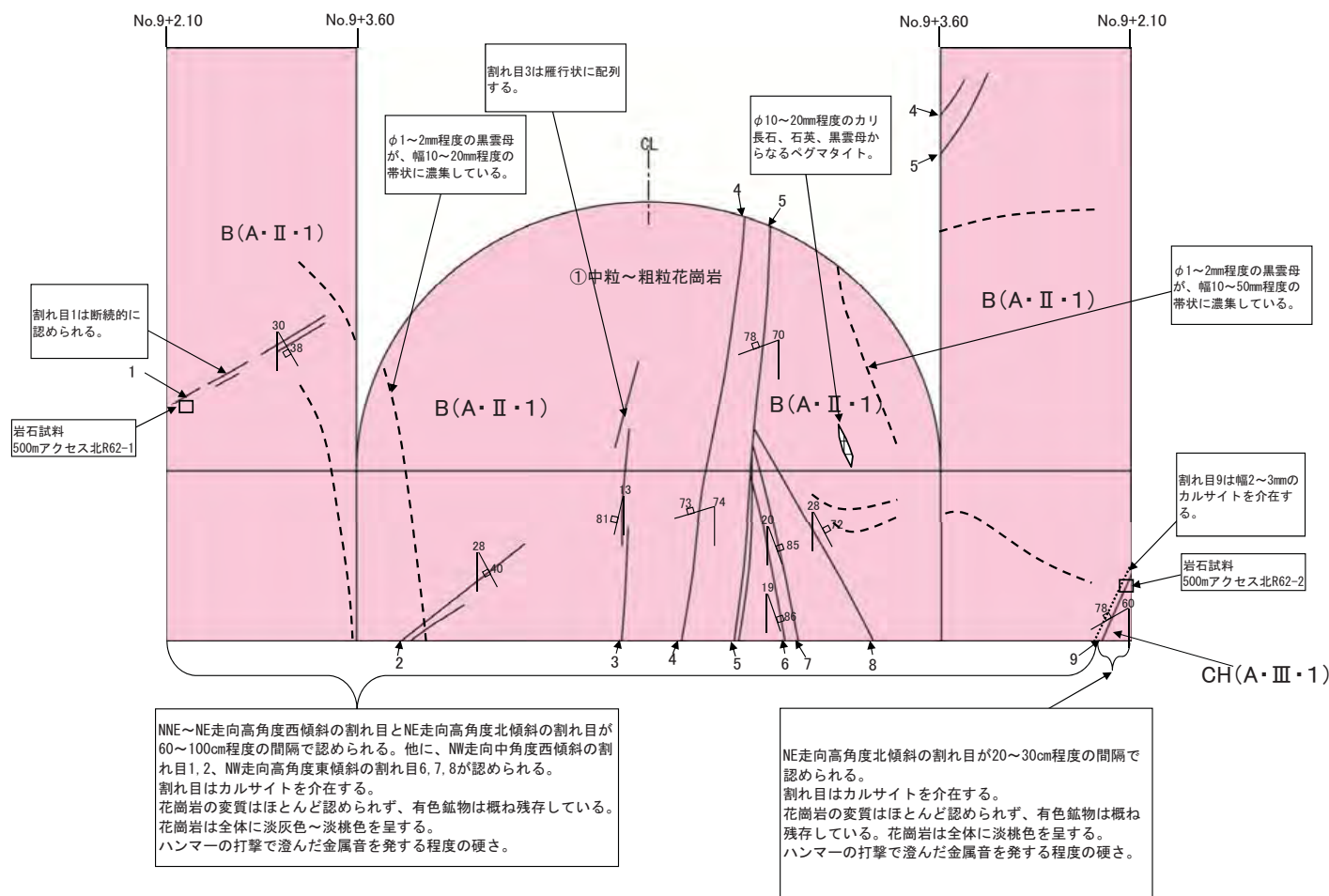
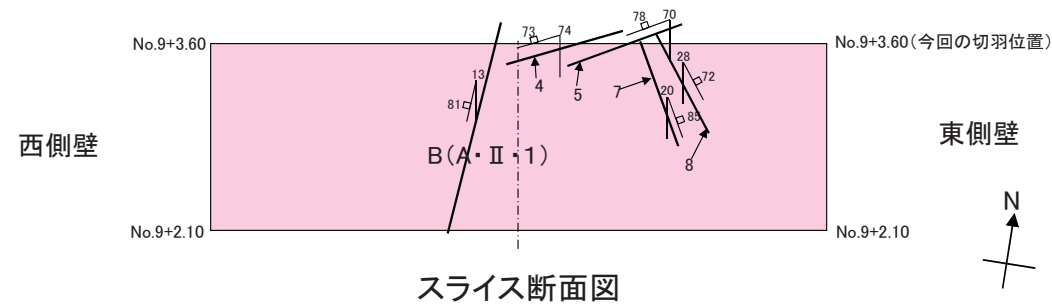
A5-請負-計測工(地質)-130607

シート番号	500mアクセス北坑道62	日時	2013/6/7 16:00~17:30	位置・深度	500mアクセス北坑道62 G.L. -499.51 m~G.L. -503.26 m	観察・撮影者	
-------	---------------	----	-------------------------	-------	--	--------	--

総括監督員	主任監督員	監督員	担当者

請負人 大林・大成・安藤ハザマ特定建設工事共同企業体
現場代理人

凡例 花崗岩 割れ目 割れ目の走向傾斜 岩級区分境界 湧水 黒雲母の濃集 ベグマタイト



スケッチ

岩種	花崗岩	電研式岩級	G.L. -499.51m~-501.76m G.L. -501.76m~-503.26m	B B/CH
岩相	①中粒～粗粒花崗岩 (淡桃色、淡灰色)	RMR値	G.L. -499.51m~-501.76m G.L. -501.76m~-503.26m	90 90
風化	α	岩石試料番号	500mアクセス北R61-1 (花崗岩), 500mアクセス北R61-2 (花崗岩)	
変質	1	採水試料番号	-	
湧水	無し			

特記事項

当箇所はアクセス北坑道であり、掘進方向はN9° W方向である。横坑観察は切羽から1.3m離れた場所より目視観察を実施した。
岩種は花崗岩で、岩相は石英の粒径がφ2~7mm程度の中粒～粗粒花崗岩である。花崗岩に変質はほとんど認められず、花崗岩は全体に淡灰色を呈する。鏡右側から東側にかけての花崗岩は、全体に淡桃色を呈する。淡灰色を呈する花崗岩は、斜長石が白色～灰色を呈し、黒雲母がやや少ないことによるものである。
割れ目の走向傾斜は、NNE~NE走向高角度西傾斜とNE走向高角度北傾斜が主体で、他にNW走向中角度西傾斜、NW走向高角度東傾斜が認められる。

割れ目の介在物は、カルサイトが認められる。
湧水は認められなかった。
岩級区分は、切羽の大部分で割れ目間隔が60~100cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、B(A・II・1)級と評価した。割れ目9から南東側の花崗岩は、割れ目間隔が20~30cmで、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、CH(A・III・1)級と評価した。

A工区地質記載シート

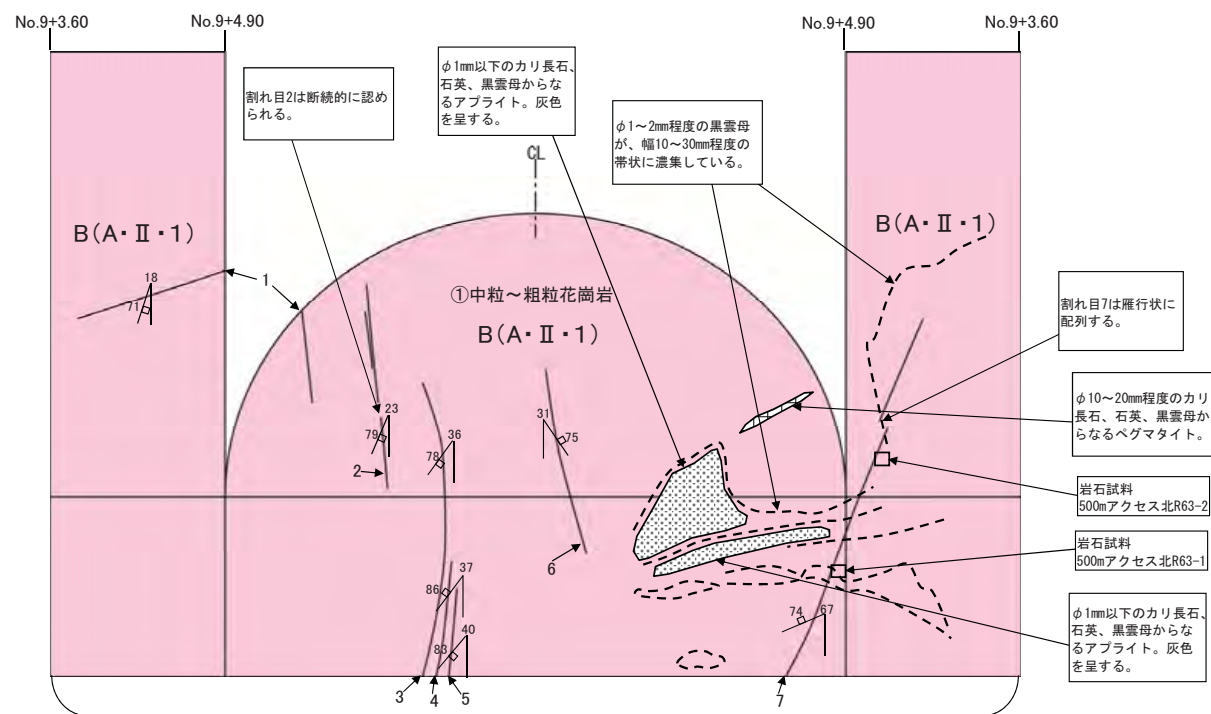
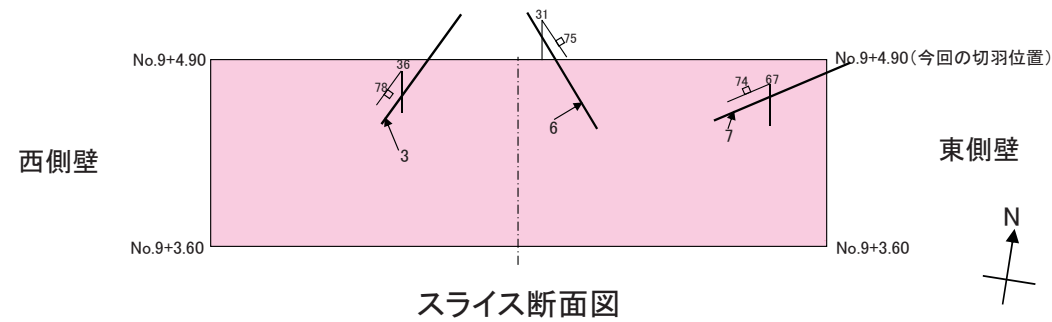
A5-請負-計測工(地質)-130611

シート番号	500mアクセス北坑道63	日時	2013/6/11 16:00~17:30	位置・深度	500mアクセス北坑道63 G. L. -499.64 m~G. L. -503.39 m	観察・撮影者	
-------	---------------	----	--------------------------	-------	--	--------	--

総括監督員	主任監督員	監督員	担当者

請負人 大林・大成・安藤ハザマ特定建設工事共同企業体
現場代理人

凡例 花崗岩 割れ目 割れ目の走向傾斜 岩級区分境界 湧水 黒雲母の濃集 ベグマタイト アプライト



NNE走向高角度東傾斜の割れ目とNE走向高角度北傾斜の割れ目が60~100cm程度の間隔で認められる。他に、NW走向高角度東傾斜の割れ目6が認められる。
割れ目はカルサイトを介在する。
花崗岩の変質はほとんど認められず、有色鉱物は残存している。花崗岩は全体に淡桃色を呈する。
ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さ。



可視画像



岩種	花崗岩	電研式岩級	G. L. -499.64m~-501.89m B G. L. -501.89m~-503.39m B
岩相	①中粒~粗粒花崗岩 (淡桃色、淡灰色)	RMR値	G. L. -499.64m~-501.89m 90 G. L. -501.89m~-503.39m 90
風化	α	岩石試料番号	500mアクセス北R63-1 (花崗岩), 500mアクセス北R63-2 (花崗岩)
変質	1	採水試料番号	-
湧水	無し		

特記事項
当箇所はアクセス北坑道であり、掘進方向はN9° W方向である。横坑観察は切羽から1.3m離れた場所より目視観察を実施した。
岩種は花崗岩で、岩相は石英の粒径がφ2~7mm程度の中粒~粗粒花崗岩である。花崗岩に変質はほとんど認められず、有色鉱物は残存し、花崗岩は全体に淡桃色を呈する。鏡右側ではφ1~2mm程度の黒雲母が比較的多い。
割れ目の走向傾斜は、NNE走向高角度東傾斜とNE走向高角度北傾斜が主体で、他にNW走向高角度東傾斜が認められる。割れ目は1~2m程度の長さのものが多い。
割れ目の介在物は、カルサイトが認められる。
湧水は認められなかった。
岩級区分は、切羽の大部分で割れ目間隔が60~100cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、B(A・II・1)級と評価した。

A工区地質記載シート

A5-請負-計測工(地質)-130612

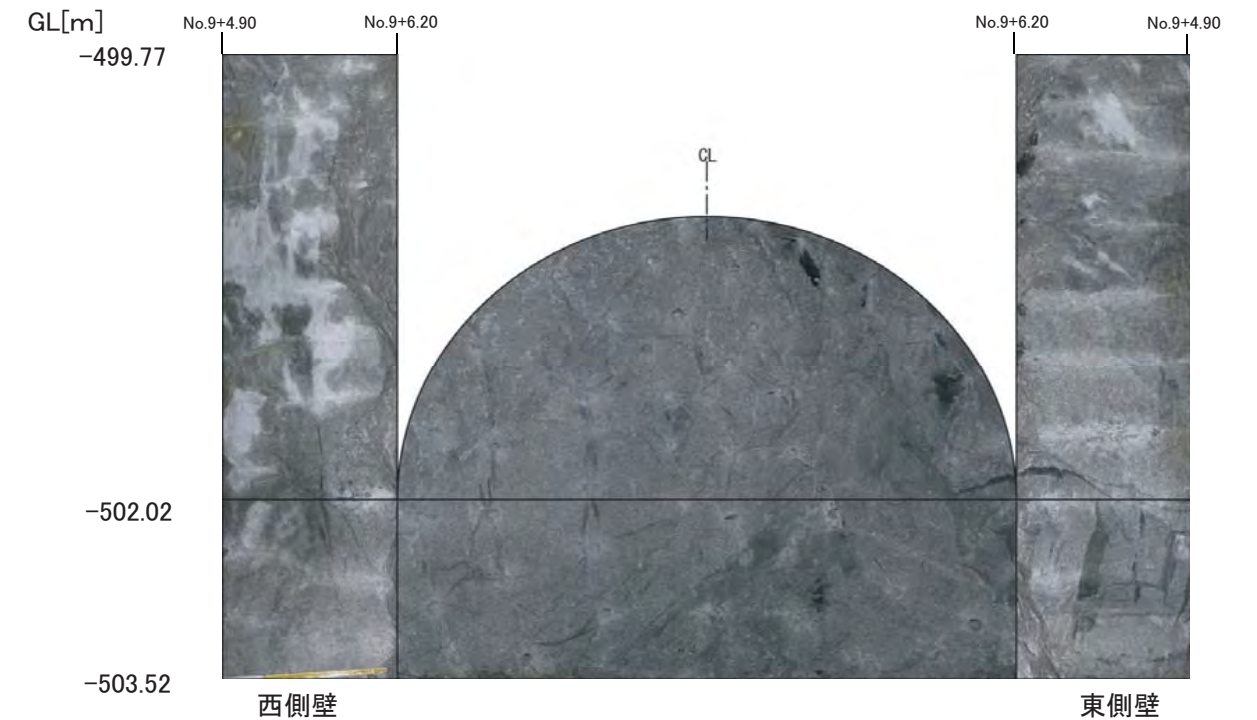
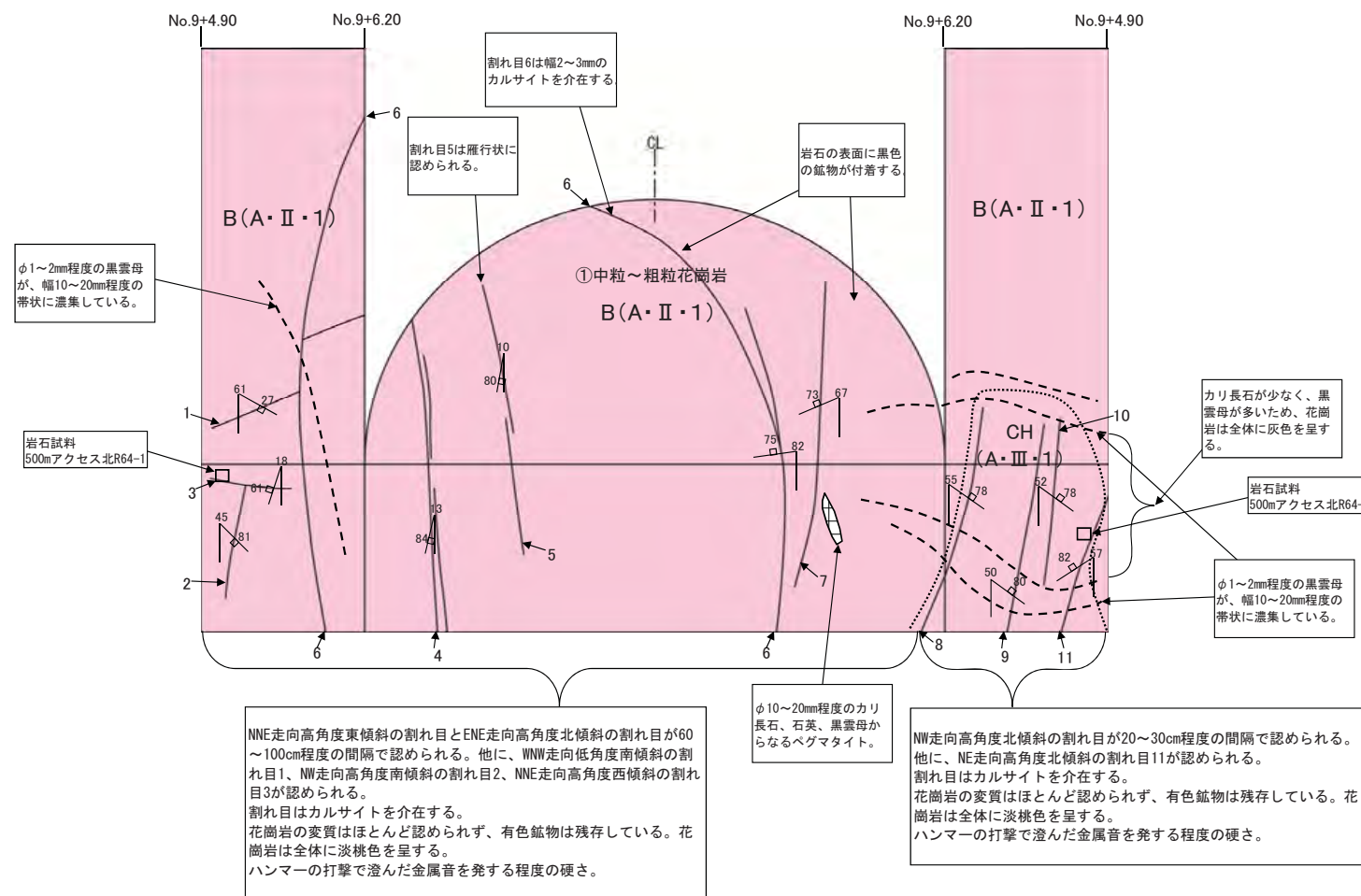
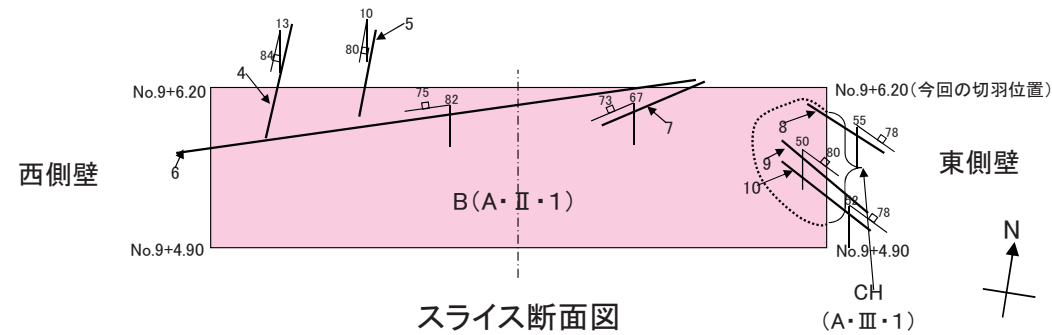
シート番号	500mアクセス北坑道64	日時	2013/6/12 14:30~16:00	位置・深度	500mアクセス北坑道64 G.L. -499.77 m~G.L. -503.52 m	観察・撮影者	
-------	---------------	----	--------------------------	-------	--	--------	--

総括監督員	主任監督員	監督員	担当者

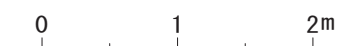
請負人 大林・大成・安藤ハザマ特定建設工事共同企業体
現場代理人

凡例

	花崗岩		割れ目		割れ目の走向傾斜		岩級区分境界		湧水		黒雲母の濃集		ペグマタイト
--	-----	--	-----	--	----------	--	--------	--	----	--	--------	--	--------



可視画像



岩種	花崗岩	電研式岩級	G.L. -499.77m~-502.02m B/CH G.L. -502.02m~-503.52m B/CH
岩相	①中粒～粗粒花崗岩 (淡桃色、灰色)	RMR値	G.L. -499.77m~-502.02m 90 G.L. -502.02m~-503.52m 90
風化	α	岩石試料番号	500mアクセス北R64-1 (花崗岩), 500mアクセス北R64-2 (花崗岩)
変質	1	採水試料番号	-
湧水	無し		

特記事項

当箇所はアクセス北坑道であり、掘進方向はN9°W方向である。横坑観察は切羽から1.3m離れた場所より目視観察を実施した。

岩種は花崗岩で、岩相は石英の粒径がφ2~7mm程度の中粒～粗粒花崗岩である。花崗岩に変質はほとんど認められず、有色鉱物は残存し、花崗岩は全体に淡桃色を呈する。鏡右側ではφ1~2mm程度の黒雲母が比較的多い箇所が認められる。割れ目の走向傾斜は、鏡から西側壁まではNNE走向高角度東傾斜とENE走向高角度北傾斜が主体で、他にWNW走向低角度南傾斜、NW走向高角度南傾斜、NNE走向高角度西傾斜が認められる。

東側壁では、NW走向高角度北傾斜が主体で、他にNE走向高角度北傾斜が認められる。

割れ目の介在物は、カルサイトが認められる。湧水は認められなかった。岩級区分は、切羽の大部分で割れ目間隔が60~100cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、B(A・II・1)級と評価した。東側壁の下部は割れ目間隔が20~30cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、CH(A・III・1)級と評価した。

A工区地質記載シート

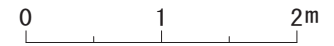
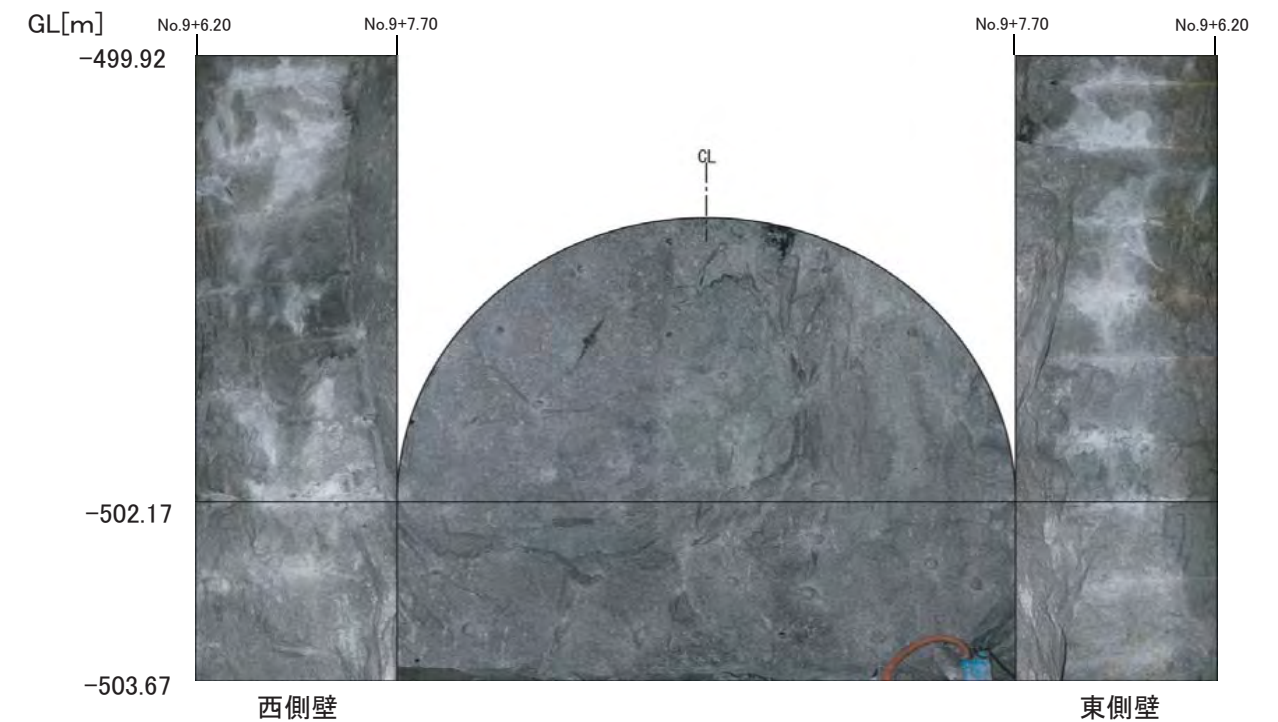
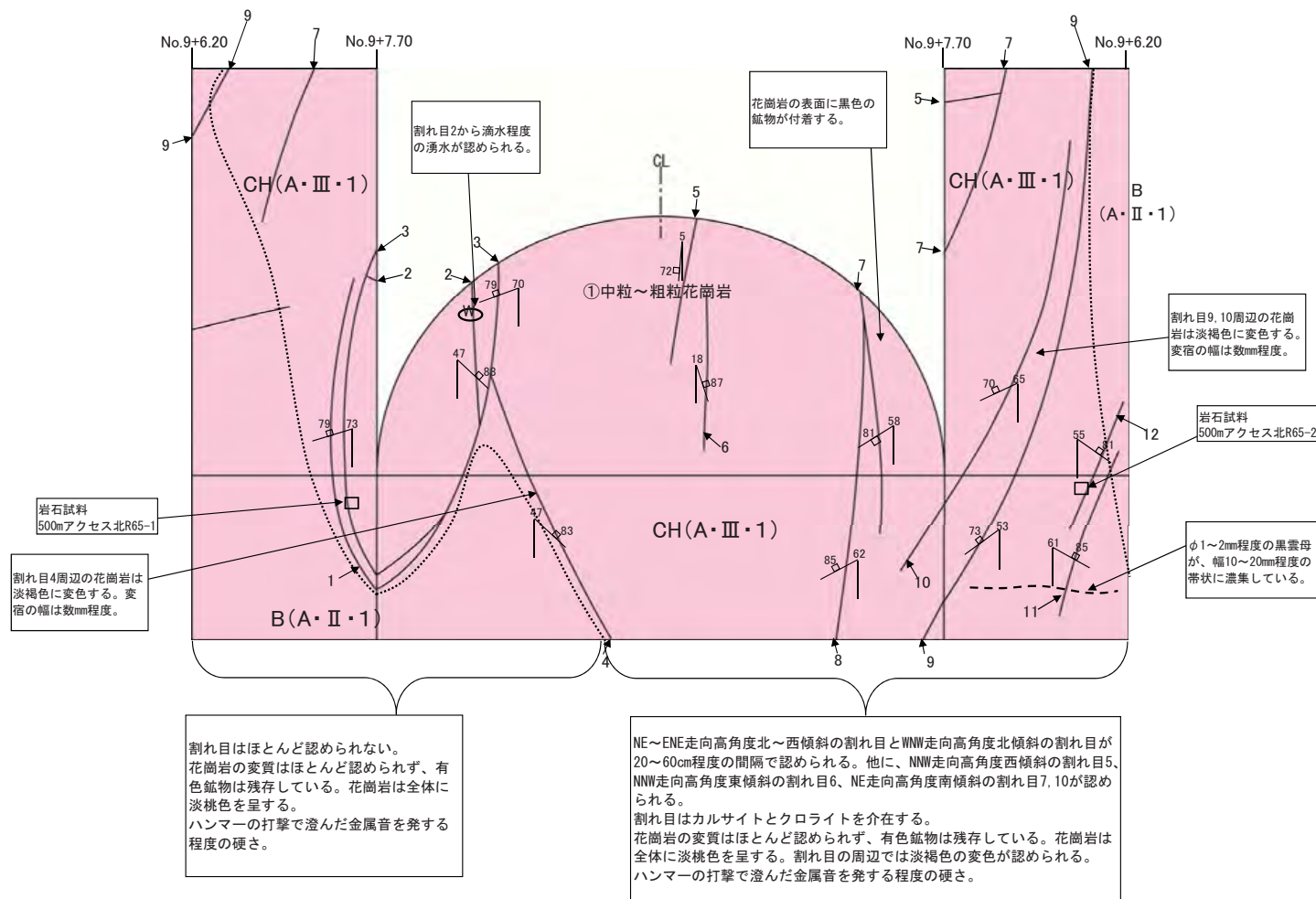
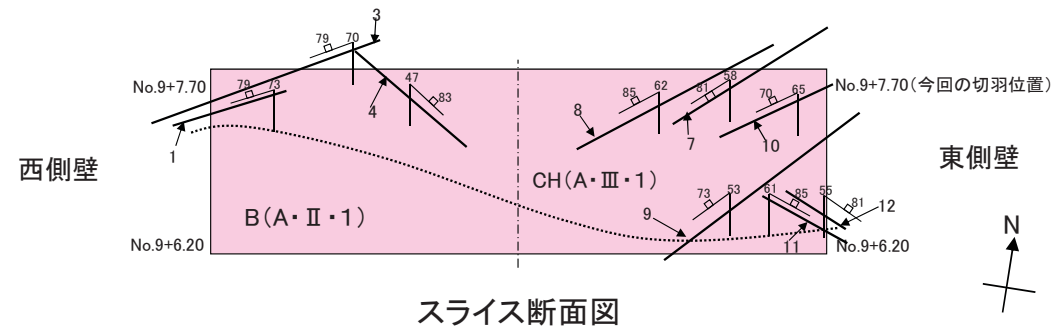
A5-請負-計測工(地質)-130613

シート番号	500mアクセス北坑道65	日時	2013/6/13 16:00~17:30	位置・深度	500mアクセス北坑道65 G.L. -499.92 m~G.L. -503.67 m	観察・撮影者	
-------	---------------	----	--------------------------	-------	--	--------	--

総括監督員	主任監督員	監督員	担当者

請負人 大林・大成・安藤ハザマ特定建設工事共同企業体
現場代理人

凡例 花崗岩 割れ目 割れ目の走向傾斜 岩級区分境界 湧水 黒雲母の濃集



スケッチ

岩種	花崗岩	電研式岩級	G.L. -499.92m~-502.17m B/CH G.L. -502.17m~-503.67m B/CH
岩相	①中粒~粗粒花崗岩 (淡桃色、淡褐色)	RMR値	G.L. -499.92m~-502.17m 74 G.L. -502.17m~-503.67m 85
風化	α	岩石試料番号	500mアクセス北R65-1 (花崗岩), 500mアクセス北R65-2 (花崗岩)
変質	1~2	採水試料番号	-
湧水	滴水程度		

特記事項

当箇所はアクセス北坑道であり、掘進方向はN9°W方向である。横坑観察は切羽から1.5m離れた場所より目視観察を実施した。
岩種は花崗岩で、岩相は石英の粒径がφ2~7mm程度の中粒~粗粒花崗岩である。花崗岩に変質はほとんど認められず、有色鉱物は残存し、花崗岩は全体に淡桃色を呈する。いくつかの割れ目の周辺の花崗岩は淡褐色に変色している。
割れ目の走向傾斜は、NE~ENE走向高角度北~西傾斜とWNW走向高角度北傾斜が主体で、他にNNW走向高角度西傾斜、NNW走向高角度東傾斜、NE走向高角度南傾斜が認められる。

割れ目の介在物は、カルサイトとクロライトが認められる。
湧水は割れ目2から滴水程度で認められた。
岩級区分は、割れ目1~4付近から南側では、割れ目間隔が60~100cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、B(A-II-1)級と評価した。割れ目1~4付近から北側では、割れ目間隔が20~60cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、CH(A-III-1)級と評価した。

A工区地質記載シート

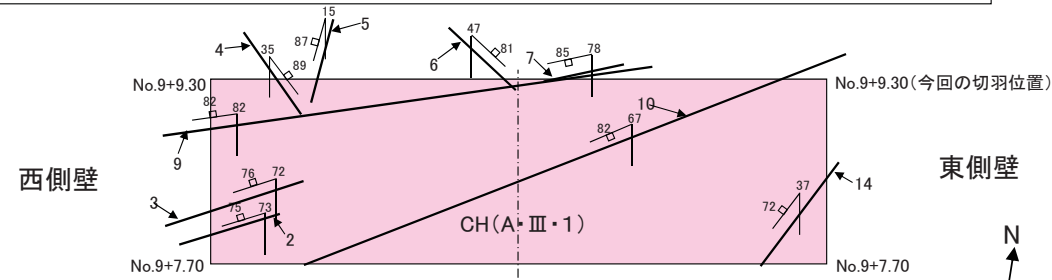
A5-請負-計測工(地質)-130615

シート番号	500mアクセス北坑道66	日時	2013/6/15 16:00~17:30	位置・深度	500mアクセス北坑道66 G. L. -500.08 m~G. L. -503.83 m	観察・撮影者	
-------	---------------	----	--------------------------	-------	--	--------	--

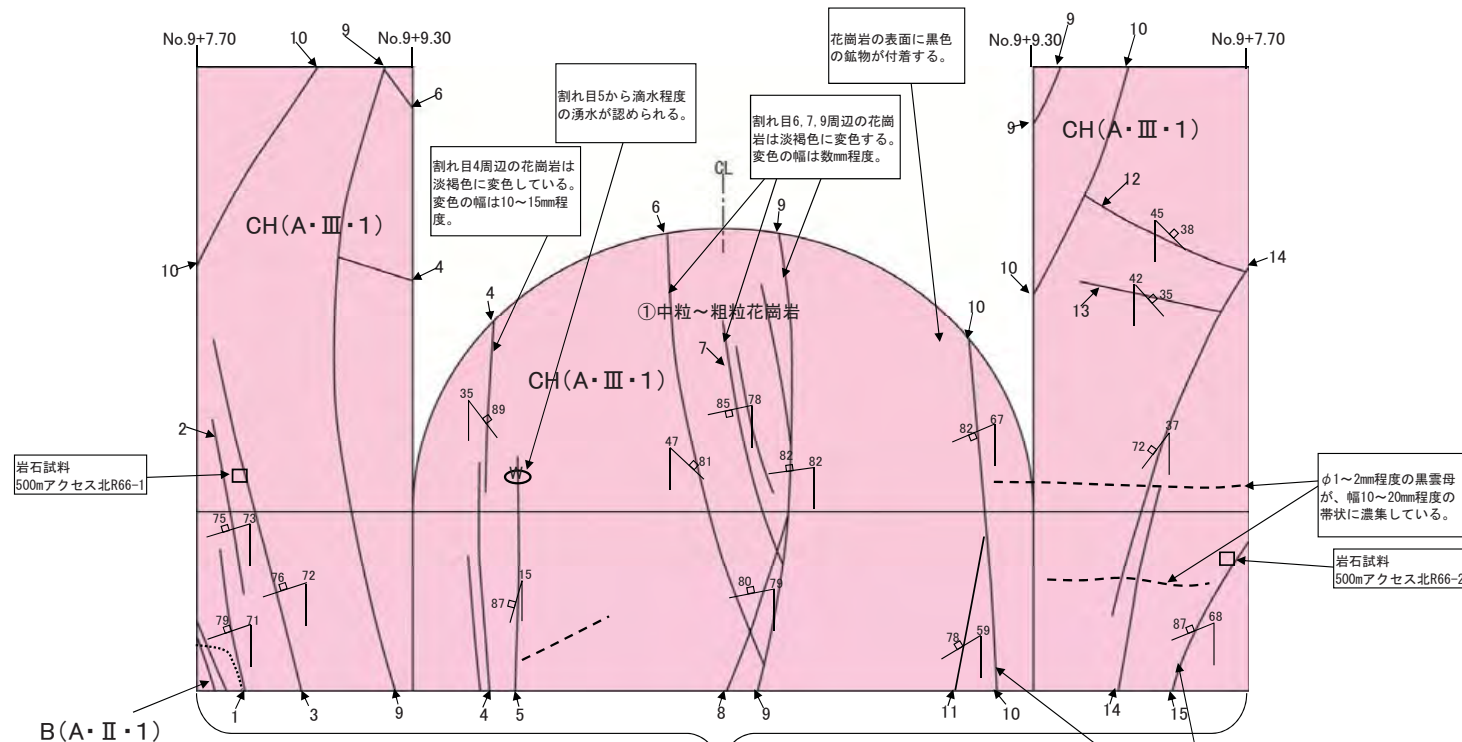
総括監督員	主任監督員	監督員	担当者

請負人 大林・大成・安藤ハザマ特定建設工事共同企業体
現場代理人

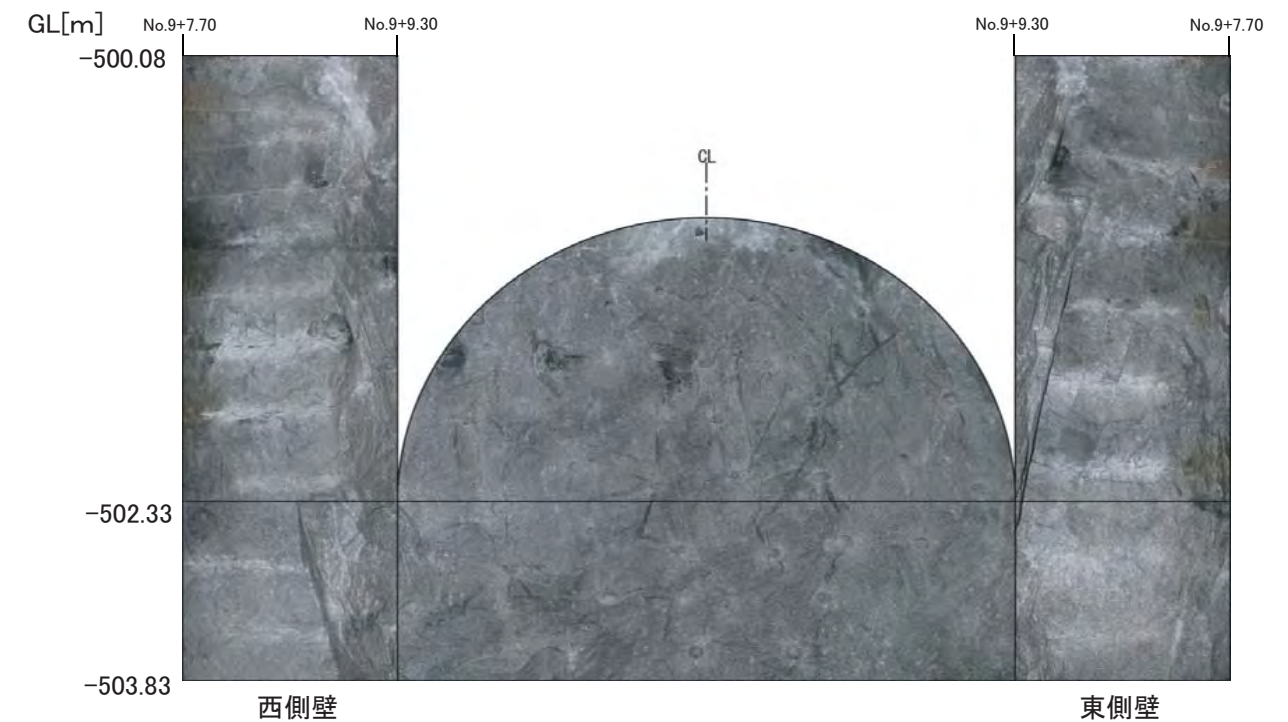
凡例	花崗岩	割れ目	70° 割れ目の走向傾斜	岩級区分境界	湧水	黒雲母の濃集
----	-----	-----	--------------	--------	----	--------



スライス断面図



NE~ENE走向高角度北傾斜の割れ目が20~60cm程度の間隔で認められる。他に、NW走向高角度東~北傾斜の割れ目4, 6、NNE走向高角度西傾斜の割れ目5, 14、NE走向高角度南傾斜の割れ目7, 10、NW走向高角度北傾斜の割れ目12, 13が認められる。
割れ目はカルサイトとクロライトを介在する。
花崗岩の変質はほとんど認められず、有色鉱物は残存している。花崗岩は全体に淡桃色を呈する。割れ目の周辺では淡褐色の変色が認められる。ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さ。



可視画像



スケッチ

岩種	花崗岩	電研式岩級	G. L. -500.08m~-502.33m G. L. -502.33m~-503.83m	CH B/CH
岩相	①中粒～粗粒花崗岩 (淡桃色、淡褐色)	RMR値	G. L. -500.08m~-502.33m G. L. -502.33m~-503.83m	74 85
風化	α	岩石試料番号	500mアクセス北R66-1 (花崗岩), 500mアクセス北R66-2 (花崗岩)	
変質	1~2	採水試料番号	-	
湧水	滴水程度			

特記事項

当箇所はアクセス北坑道であり、掘進方向はN9° W方向である。横坑観察は切羽から1.6m離れた場所より目視観察を実施した。
岩種は花崗岩で、岩相は石英の粒径がφ2~7mm程度の中粒～粗粒花崗岩である。
花崗岩に変質はほとんど認められず、有色鉱物は残存し、花崗岩は全体に淡桃色を呈する。いくつかの割れ目の周辺の花崗岩は淡褐色に変色している。変色の幅は数mm~15mm程度まで。
割れ目の走向傾斜は、NE~ENE走向高角度北傾斜が主体で、他に、NW走向高角度東~北傾斜、NNE走向高角度西傾斜、NE走向高角度南傾斜、NW走向高角度北傾斜が認められる。

割れ目の介在物は、カルサイトとクロライトが認められる。
湧水は割れ目5から滴水程度で認められた。
岩級区分は、西側壁下部のごく一部で、割れ目間隔が60~100cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、B(A・Ⅱ・1)級と評価した。それ以外の切羽の大半では、割れ目間隔が20~60cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、CH(A・Ⅲ・1)級と評価した。

A工区地質記載シート

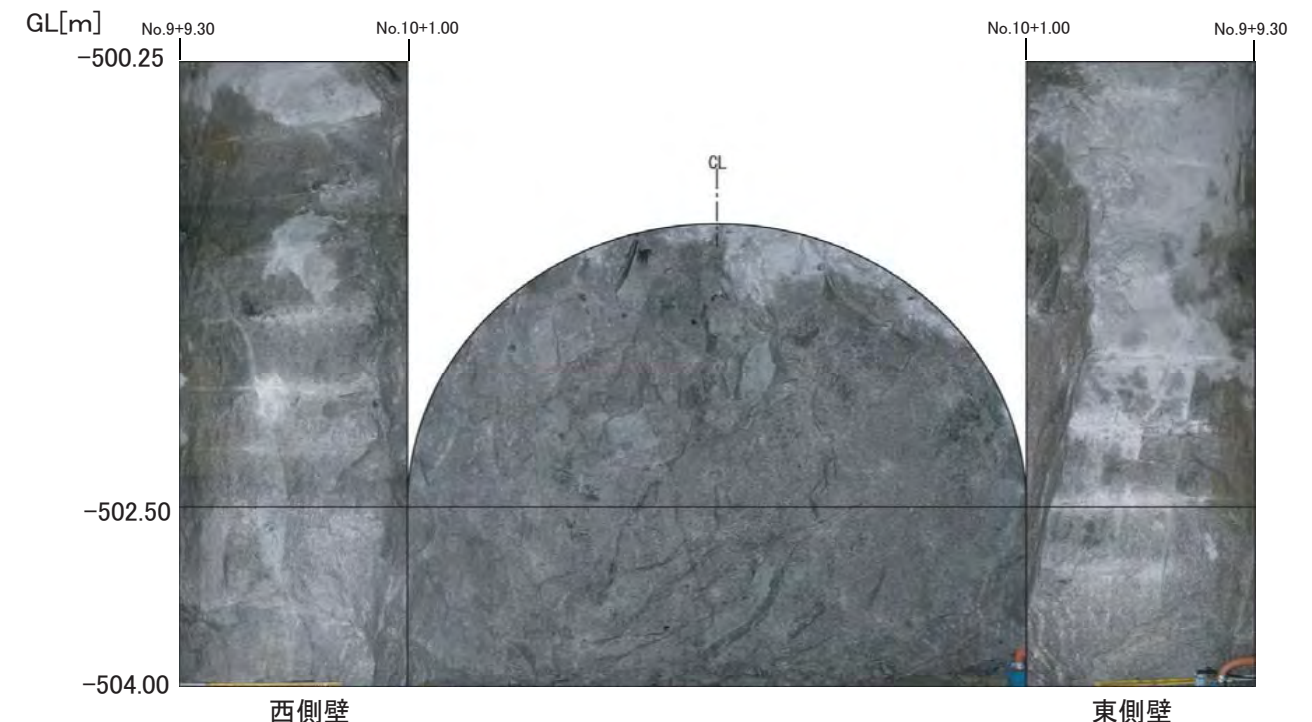
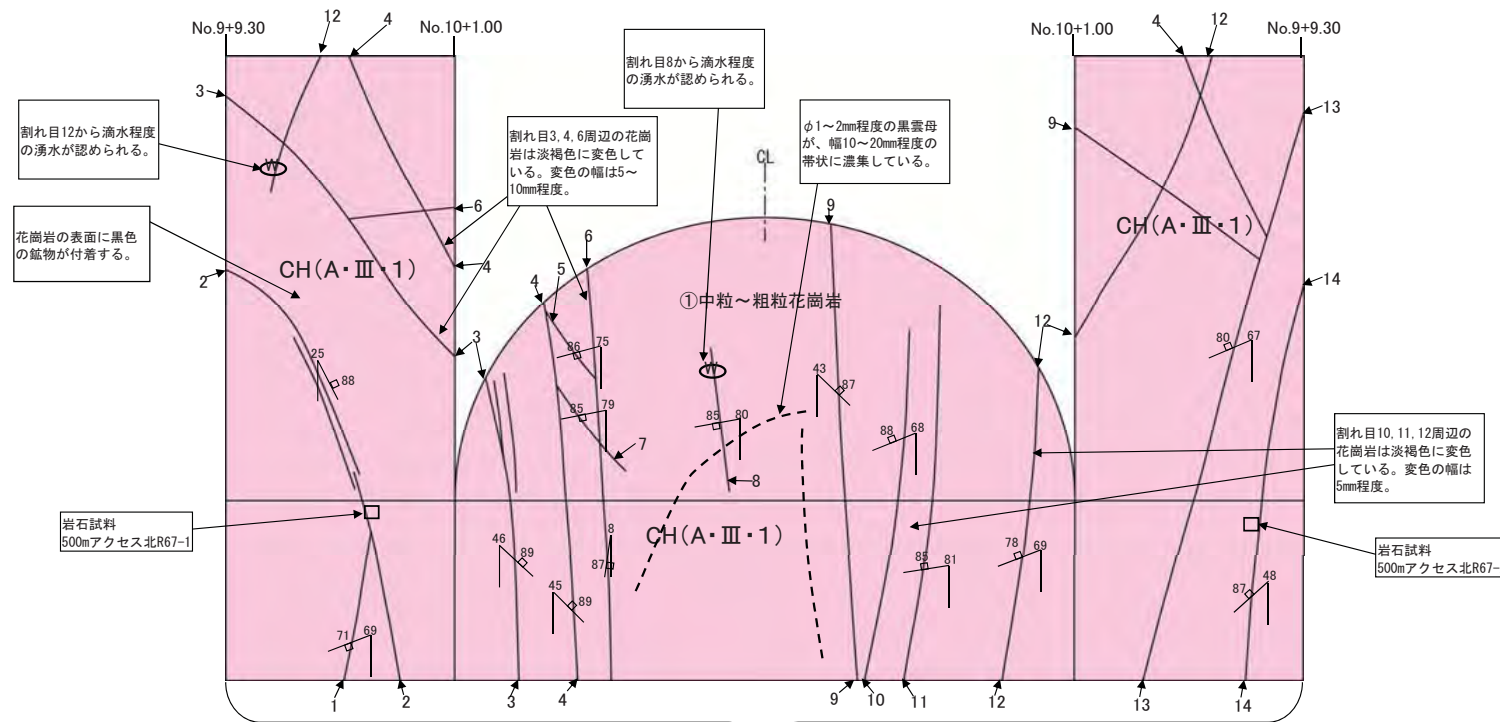
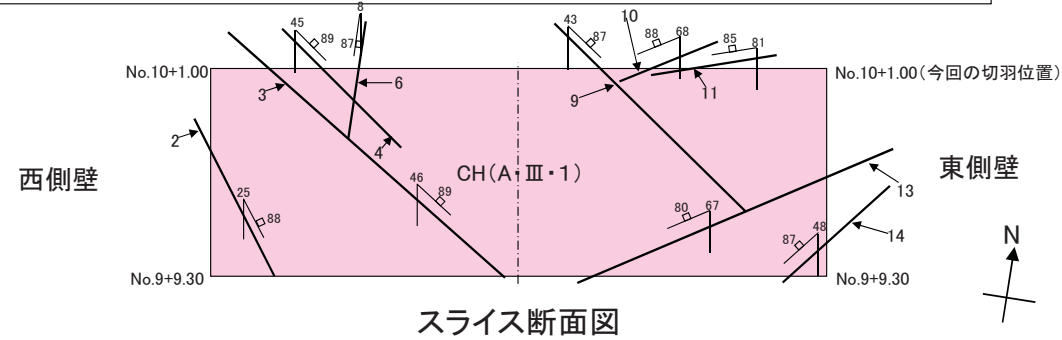
A5-請負-計測工(地質)-130617

シート番号	500mアクセス北坑道67	日時	2013/6/17 14:30~16:00	位置・深度	500mアクセス北坑道67 G.L. -500.25 m~G.L. -504.00 m	観察・撮影者	
-------	---------------	----	--------------------------	-------	--	--------	--

総括監督員	主任監督員	監督員	担当者

請負人 大林・大成・安藤ハザマ特定建設工事共同企業体
現場代理人

凡例 花崗岩 割れ目 割れ目の走向傾斜 岩級区分境界 湧水 黒雲母の濃集



NE~ENE走向高角度北傾斜の割れ目とNW走向高角度北傾斜の割れ目が20~60cm程度の間隔で認められる。他に、ENE走向高角度南傾斜の割れ目1, 5, 7, 8やNNW走向高角度東傾斜の割れ目6が認められる。
割れ目はカルサイトとクォーライトを介在する。
花崗岩の変質はほとんど認められず、有色鉱物は残存している。花崗岩は全体に淡桃色を呈する。割れ目の周辺では淡褐色の変色が認められる。
ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さ。

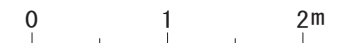
スケッチ

岩種	花崗岩	電研式岩級	G.L. -500.25m~-502.5m G.L. -502.5m~-504m	CH CH
岩相	①中粒～粗粒花崗岩 (淡桃色、淡褐色)	RMR値	G.L. -500.25m~-502.5m G.L. -502.5m~-504m	69 80
風化	α	岩石試料番号	500mアクセス北R67-1 (花崗岩), 500mアクセス北R67-2 (花崗岩)	
変質	1~2	採水試料番号	-	
湧水	滴水程度			

特記事項

当箇所はアクセス北坑道であり、掘進方向はN9° W方向である。横坑観察は切羽から1.7m離れた場所より目視観察を実施した。
岩種は花崗岩で、岩相は石英の粒径がφ2~7mm程度の中粒～粗粒花崗岩である。
花崗岩に変質はほとんど認められず、有色鉱物は残存し、花崗岩は全体に淡桃色を呈する。いくつかの割れ目の周辺の花崗岩は淡褐色に変色している。変色の幅は2mm~5mm程度まで。
割れ目の走向傾斜は、NE~ENE走向高角度北傾斜とNW走向高角度北傾斜の2方向が主体で、他に、ENE走向高角度南傾斜やNNW走向高角度東傾斜が認められる。

割れ目の介在物は、カルサイトとクォーライトが認められる。
湧水は鏡中央付近の割れ目8と天端付近の割れ目12から滴水程度で認められた。
岩級区分は、割れ目間隔が20~60cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、CH(A・Ⅲ・1)級と評価した。



A工区地質記載シート

A5-請負-計測工(地質)-130619

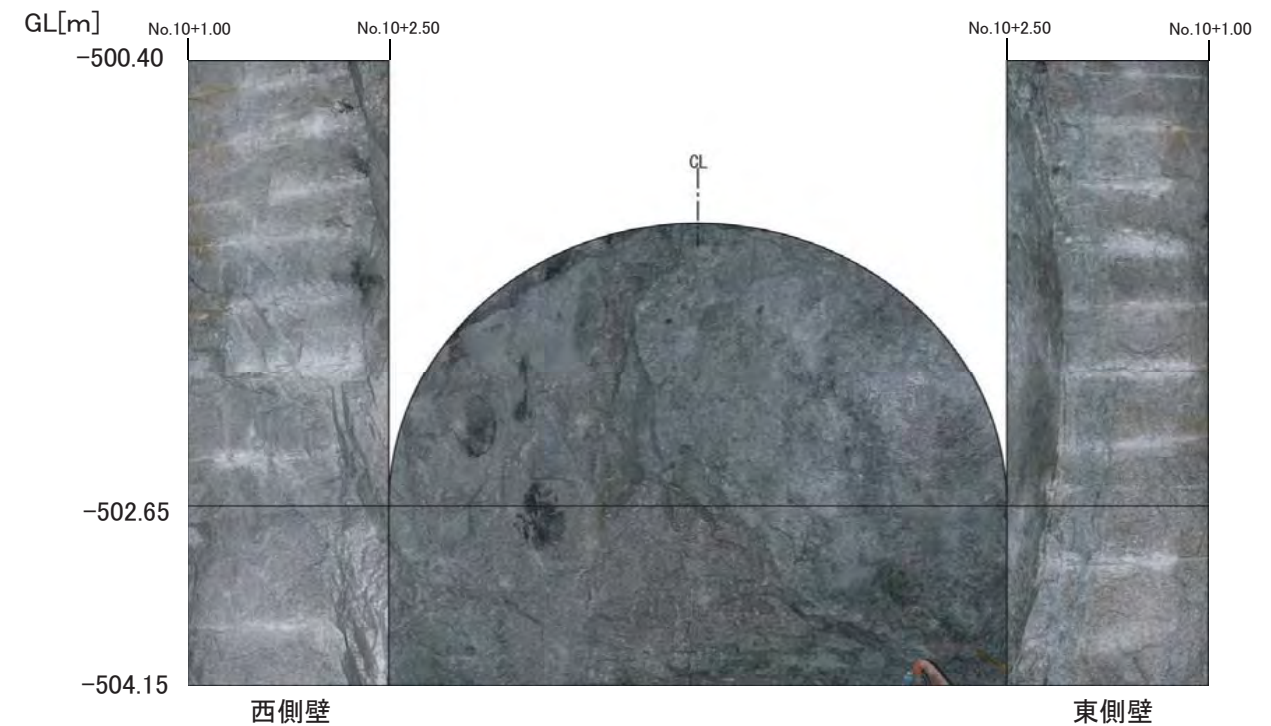
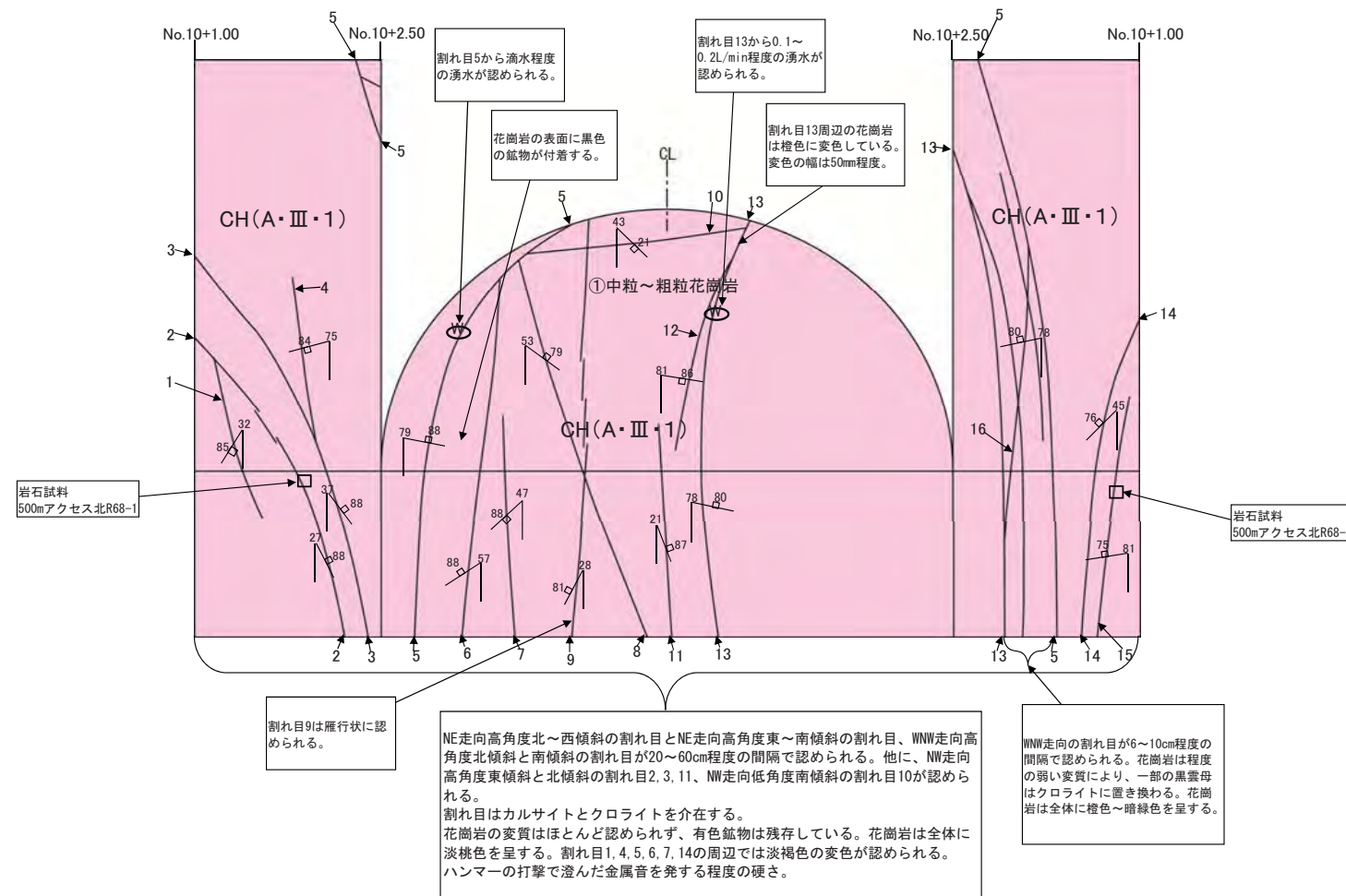
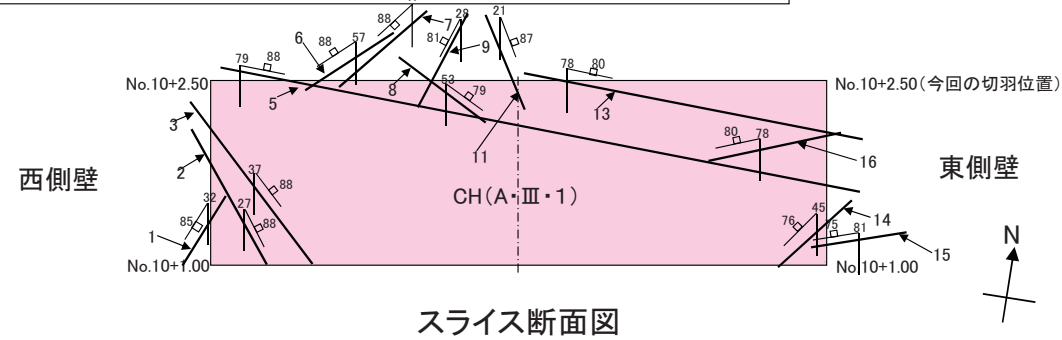
シート番号	500mアクセス北坑道68	日時	2013/6/19 16:00~17:30	位置・深度	500mアクセス北坑道68 G.L. -500.40 m~G.L. -504.15 m	観察・撮影者	
-------	---------------	----	--------------------------	-------	--	--------	--

総括監督員	主任監督員	監督員	担当者

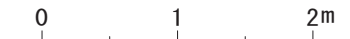
請負人 大林・大成・安藤ハザマ特定建設工事共同企業体
現場代理人

凡例

	花崗岩		割れ目		割れ目の走向傾斜		岩級区分境界		湧水
--	-----	--	-----	--	----------	--	--------	--	----



可視画像



スケッチ

岩種	花崗岩	電研式岩級	G.L. -500.4m~-502.65m G.L. -502.65m~-504.15m	CH CH
岩相	①中粒~粗粒花崗岩 (淡桃色、淡褐色、橙色、暗緑色)	RMR値	G.L. -500.4m~-502.65m G.L. -502.65m~-504.15m	65 75
風化	α	岩石試料番号	500mアクセス北R68-1 (花崗岩), 500mアクセス北R68-2 (花崗岩)	
変質	1~2	採水試料番号	-	
湧水	0.1~0.2L/min			

特記事項

当箇所はアクセス北坑道であり、掘進方向はN9° W方向である。横坑観察は切羽から1.5m離れた場所より目視観察を実施した。
岩種は花崗岩で、岩相は石英の粒径がφ2~7mm程度の中粒~粗粒花崗岩である。
花崗岩に変質はほとんど認められず、有色鉱物は残存し、花崗岩は全体に淡桃色を呈する。いくつかの割れ目の周辺の花崗岩は淡褐色に変色している。また、割れ目5と割れ目13の間は程度の弱い変質により一部の有色鉱物がクロライトに置き換わり、花崗岩は全体に橙色~暗緑色を呈する。
割れ目の走向傾斜は、NE走向高角度北~西傾斜とNE走向高角度東~南傾斜およびWNW走向高角度北傾斜と南傾斜が主体で、他に、NW走向高角度東傾斜と北傾斜、NW走向低角度南傾斜が認められる。

割れ目の介在物は、カルサイトとクロライトが認められる。
湧水は鏡中央上部の割れ目13から0.1~0.2L/min程度、鏡左側上部の割れ目5から滴水程度で認められた。
岩級区分は、割れ目間隔が20~60cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、CH(A・Ⅲ・1)級と評価した。

A工区地質記載シート

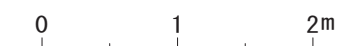
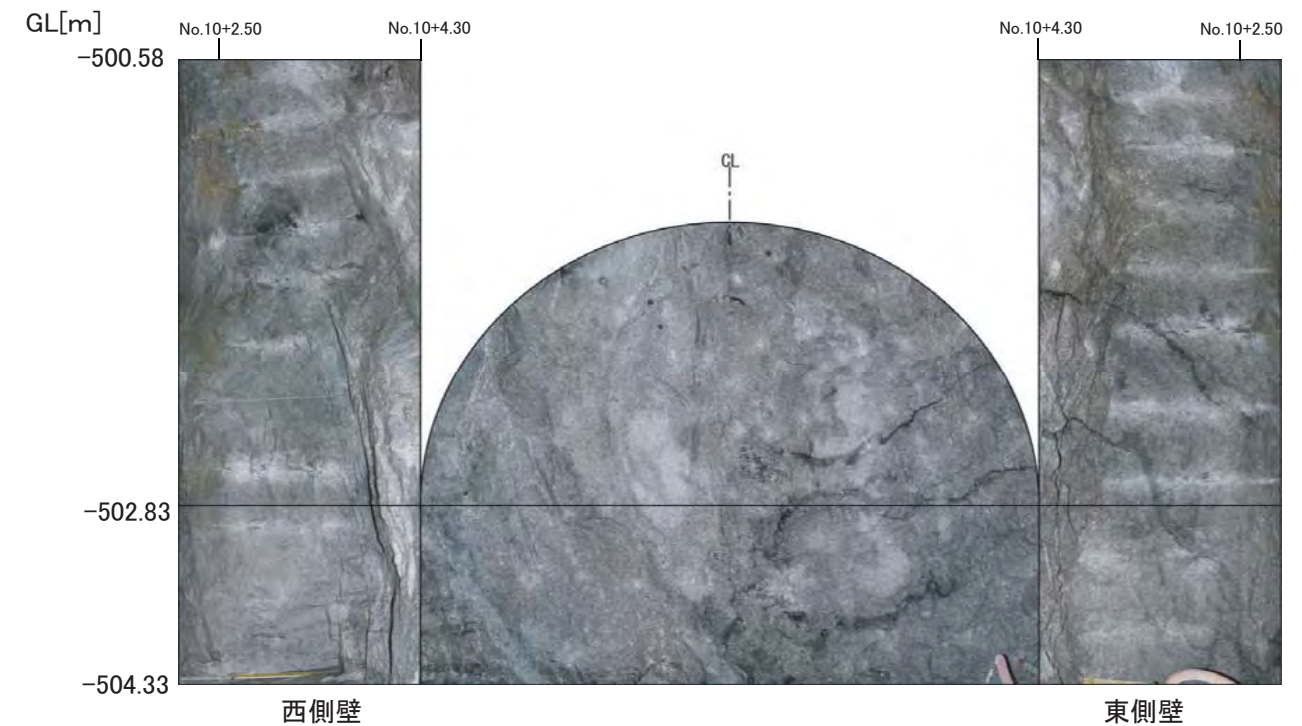
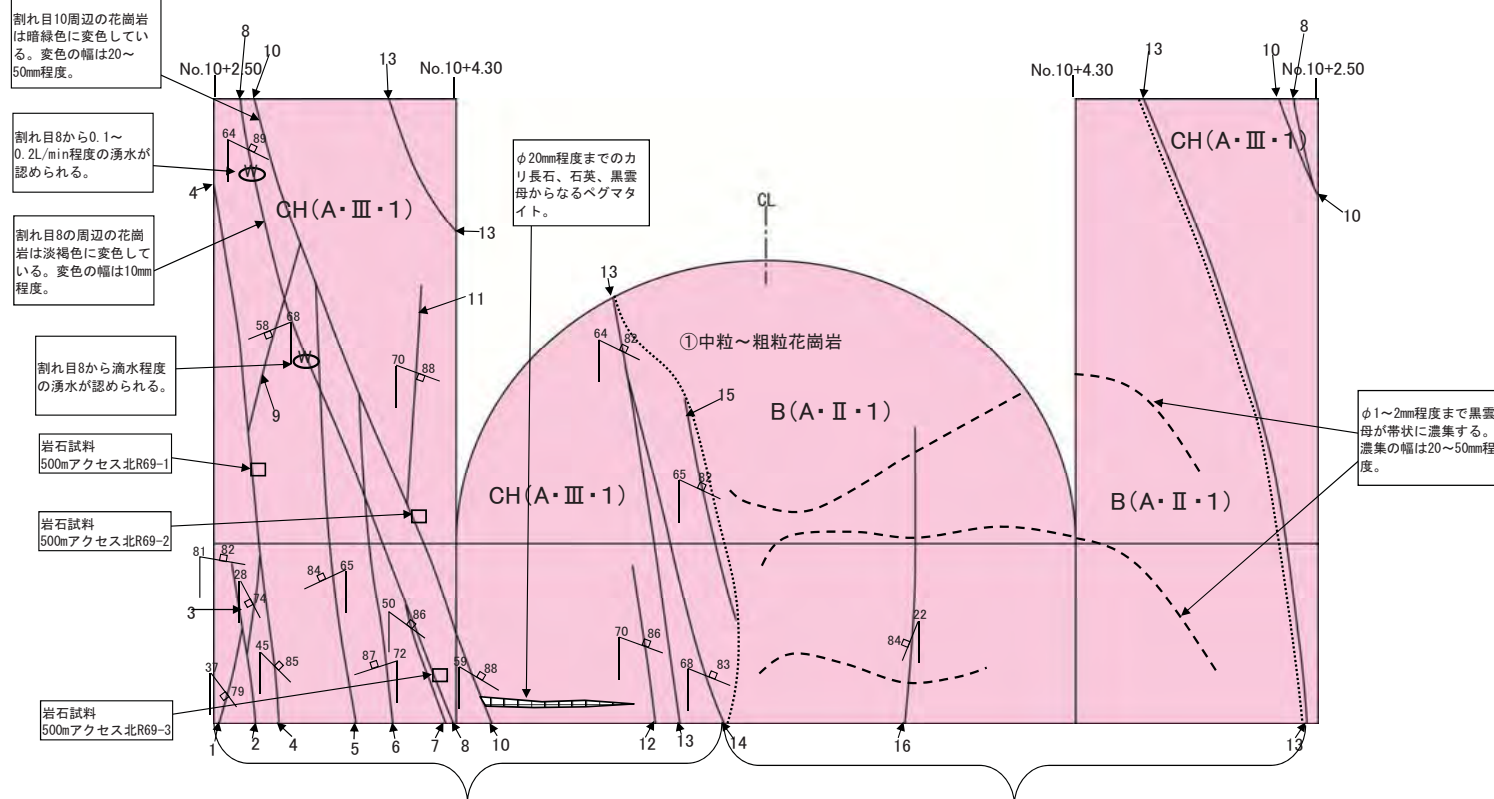
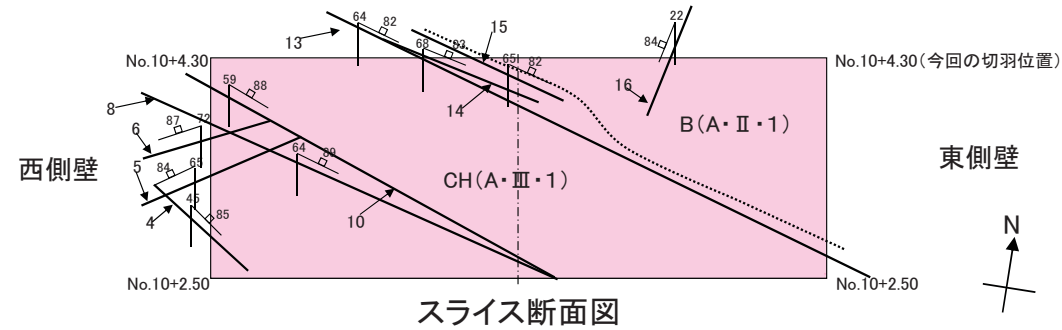
A5-請負-計測工(地質)-130621

シート番号	500mアクセス北坑道69	日時	2013/6/21 10:30~12:00	位置・深度	500mアクセス北坑道69 G.L. -500.58 m~G.L. -504.33 m	観察・撮影者	
-------	---------------	----	--------------------------	-------	--	--------	--

総括監督員	主任監督員	監督員	担当者

請負人 大林・大成・安藤ハザマ特定建設工事共同企業体
現場代理人

凡例 花崗岩 割れ目 割れ目の走向傾斜 岩級区分境界 湧水 黒雲母の濃集 ベグマタイト



可視画像

スケッチ

岩種	花崗岩	電研式岩級	G.L. -500.58m~-502.83m CH/B G.L. -502.83m~-504.33m CH/B
岩相	①中粒~粗粒花崗岩 (淡桃色、淡褐色、橙色、暗緑色)	RMR値	G.L. -500.58m~-502.83m 65 G.L. -502.83m~-504.33m 80
風化	α	岩石試料番号	500mアクセス北R69-1 (花崗岩), 500mアクセス北R69-2 (花崗岩), 500mアクセス北R69-3
変質	1~2	採水試料番号	-
湧水	0.1~0.2L/min		

特記事項

当箇所はアクセス北坑道であり、掘進方向はN9°W方向である。横坑観察は切羽から1.8m離れた場所より目視観察を実施した。
 岩種は花崗岩で、岩相は石英の粒径がφ2~7mm程度の中粒~粗粒花崗岩である。花崗岩に変質はほとんど認められず、有色鉱物は残存している。花崗岩は全体に淡桃色を呈する。割れ目の周辺の花崗岩は淡褐色に変色している。また、割れ目10の周辺は程度の弱い変質により一部の有色鉱物がクロライトに置き換わり、花崗岩は全体に暗緑色を呈する。
 割れ目の走向傾斜は、WNW走向高角度北傾斜とNE走向高角度北傾斜が主体で、他に、NW走向高角度西~南傾斜、NE走向中角度南傾斜、WNW走向高角度南傾斜、NNE走向高角度西傾斜が認められる。
 割れ目の介在物は、カルサイトとクロライト、淡緑色の粘土が認められる。湧水は天端付近の割れ目8から0.1~0.2L/min程度、西側壁の割れ目8から滴水程度で認められた。
 岩級区分は、割れ目15付近から北東側では、割れ目間隔が60cm程度以上で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、B(A・II・1)級と評価した。割れ目15付近から南西側では、割れ目間隔が20~60cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、CH(A・III・1)級と評価した。

WNW走向高角度北傾斜の割れ目とNE走向高角度北傾斜の割れ目が20~60cm程度の間隔で認められる。他に、NW走向高角度西~南傾斜の割れ目1, 3、NE走向中角度南傾斜の割れ目9、WNW走向高角度南傾斜の割れ目11が認められる。
 割れ目はカルサイトとクロライト、淡緑色の粘土を介在する。花崗岩の変質はほとんど認められず、有色鉱物は残存している。花崗岩は全体に淡桃色を呈する。割れ目の周辺では淡褐色の変色が認められる。ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さ。

NNE走向高角度西傾斜の割れ目が60cm以上の間隔で認められる。
 割れ目はカルサイトとクロライトを介在する。花崗岩の変質はほとんど認められず、有色鉱物は残存している。花崗岩は全体に淡桃色を呈する。割れ目の周辺では淡褐色の変色が認められる。ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さ。

A工区地質記載シート

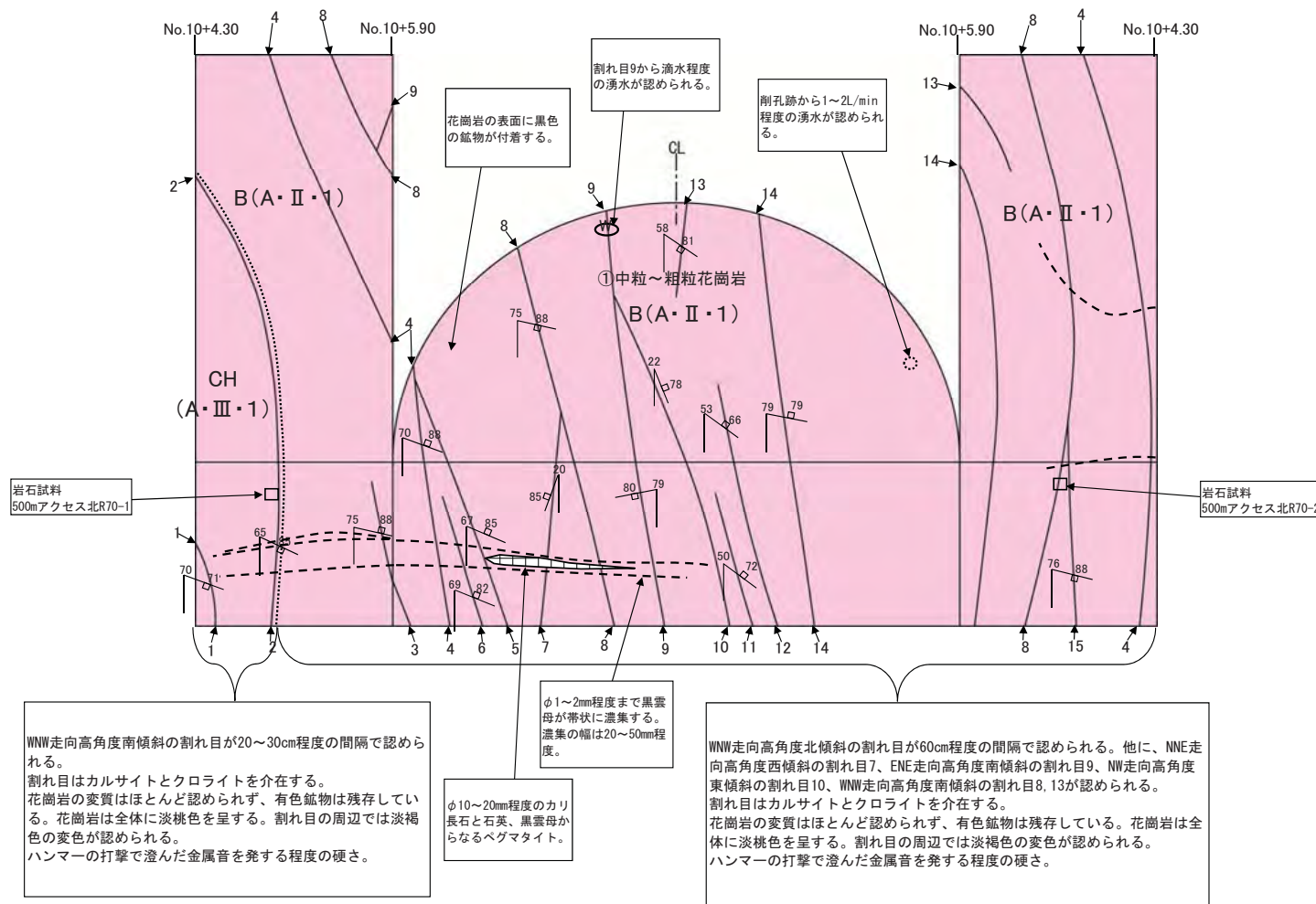
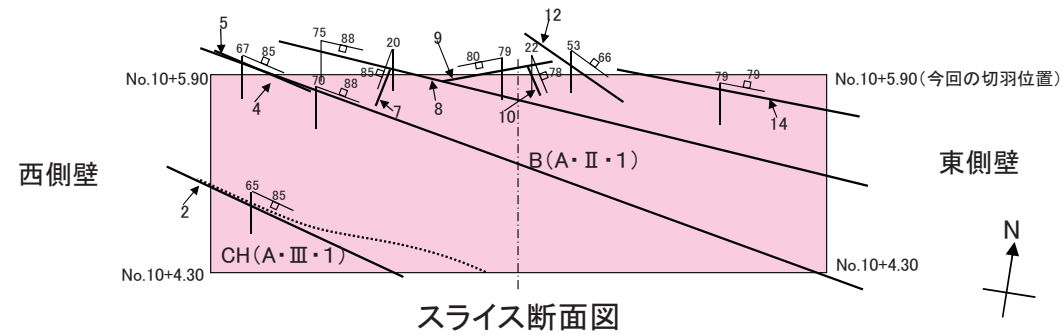
A5-請負-計測工(地質)-130624

シート番号	500mアクセス北坑道70	日時	2013/6/24 15:30~17:00	位置・深度	500mアクセス北坑道70 G.L. -500.74 m~G.L. -504.49 m	観察・撮影者	
-------	---------------	----	--------------------------	-------	--	--------	--

総括監督員	主任監督員	監督員	担当者

請負人 大林・大成・安藤ハザマ特定建設工事共同企業体
現場代理人

凡例 花崗岩 割れ目 割れ目の走向傾斜 岩級区分境界 湧水 黒雲母の濃集 ベグマタイト



スケッチ

可視画像

岩種	花崗岩	電研式岩級	G.L. -500.74m~-502.99m CH/B G.L. -502.99m~-504.49m CH/B
岩相	①中粒~粗粒花崗岩 (淡桃色、淡褐色)	RMR値	G.L. -500.74m~-502.99m 69 G.L. -502.99m~-504.49m 80
風化	α	岩石試料番号	500mアクセス北R70-1 (花崗岩), 500mアクセス北R70-2 (花崗岩)
変質	1~2	採水試料番号	-
湧水	滴水程度		

特記事項

当箇所はアクセス北坑道であり、掘進方向はN9° W方向である。横坑観察は切羽から1.6m離れた場所より目視観察を実施した。
岩種は花崗岩で、岩相は石英の粒径がφ2~7mm程度の中粒~粗粒花崗岩である。花崗岩に変質はほとんど認められず、有色鉱物は残存し、花崗岩は全体に淡桃色を呈する。割れ目1, 8, 13, 14, 15の周辺の花崗岩は淡褐色に変色している。
割れ目の走向傾斜は、WNW走向高角度南傾斜とWNW走向高角度北傾斜が主体で、他に、NNE走向高角度西傾斜、ENE走向高角度南傾斜、NW走向高角度東傾斜、WNW走向高角度南傾斜が認められる。

割れ目の介在物は、カルサイトとクロライトが認められる。
湧水は鏡中央上部の割れ目9から滴水程度で認められる。また、鏡右側上部の削孔跡から、1~2L/min程度の湧水が認められる。
岩級区分は、割れ目2付近から北東側では、割れ目間隔が60cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、B(A・II・1)級と評価した。割れ目2付近から南西側では、割れ目間隔が20~30cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、CH(A・III・1)級と評価した。

A工区地質記載シート

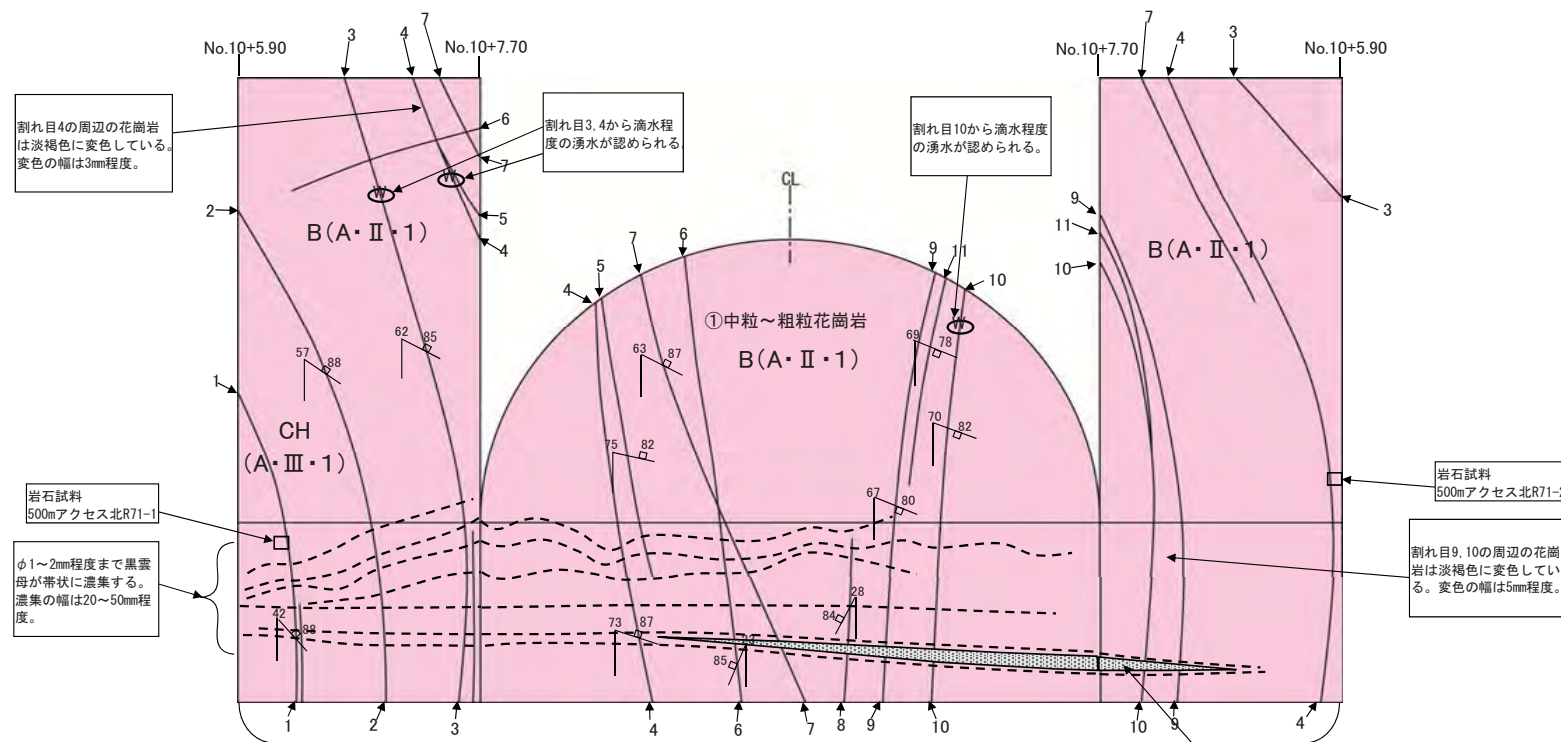
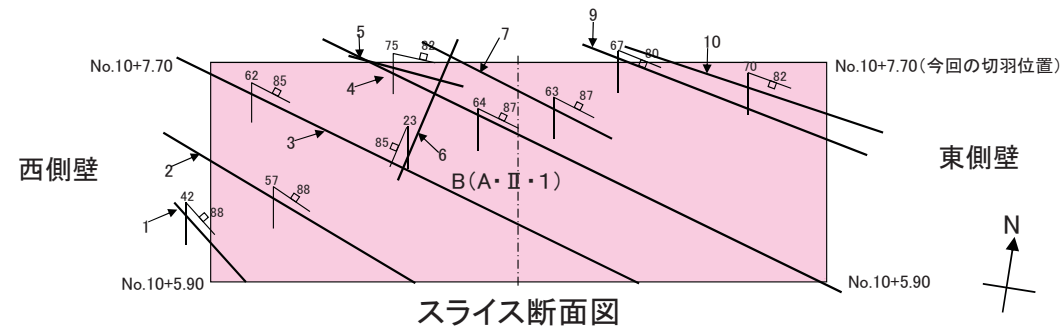
A5-請負-計測工(地質)-130626

シート番号	500mアクセス北坑道71	日時	2013/6/26 15:30~17:00	位置・深度	500mアクセス北坑道71 G.L. -500.92 m~G.L. -504.67 m	観察・撮影者	
-------	---------------	----	--------------------------	-------	--	--------	--

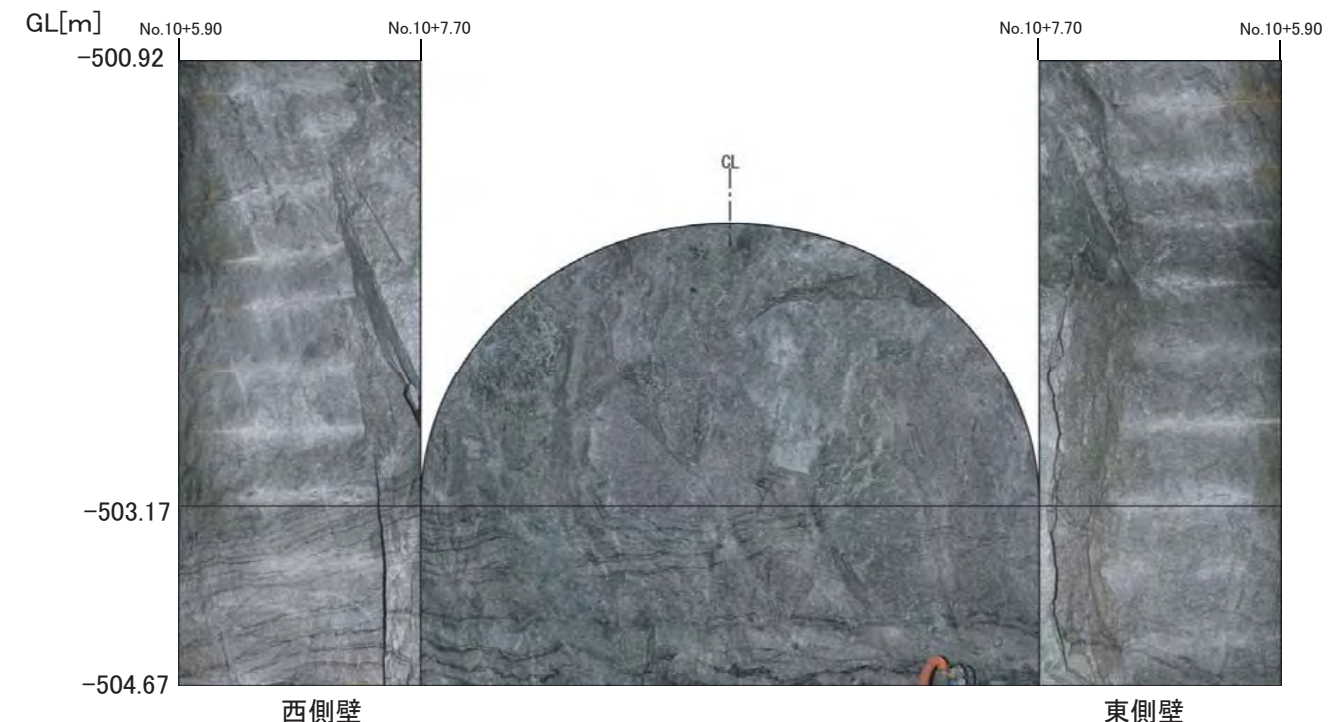
総括監督員	主任監督員	監督員	担当者

請負人 大林・大成・安藤ハザマ特定建設工事共同企業体
現場代理人

凡例 花崗岩 割れ目 割れ目の走向傾斜 岩級区分境界 湧水 黒雲母の濃集 アブライト



WNW走向高角度北傾斜の割れ目が60cm程度の間隔で、NNE走向高角度西傾斜の割れ目が100cm程度の間隔で認められる。他に、WNW走向高角度南傾斜の割れ目9, 10, 11が認められる。
割れ目はカルサイトとクロライトを介在する。
花崗岩の変質はほとんど認められず、有色鉱物は残存している。花崗岩は全体に淡桃色を呈する。割れ目の周辺では淡褐色の変色が認められる。
ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さ。



可視画像

岩種	花崗岩	電研式岩級	G.L. -500.92m~-503.17m G.L. -503.17m~-504.67m	B B
岩相	①中粒～粗粒花崗岩 (淡桃色、淡褐色)	RMR値	G.L. -500.92m~-503.17m G.L. -503.17m~-504.67m	74 85
風化	α	岩石試料番号	500mアクセス北R71-1 (花崗岩), 500mアクセス北R71-2 (花崗岩)	
変質	1~2	採水試料番号	-	
湧水	滴水程度			

特記事項
当箇所はアクセス北坑道であり、掘進方向はN9° W方向である。横坑観察は切羽から1.8m離れた場所より目視観察を実施した。
岩種は花崗岩で、岩相は石英の粒径がφ2~7mm程度の中粒～粗粒花崗岩である。花崗岩に変質はほとんど認められず、有色鉱物は残存し、花崗岩は全体に淡桃色を呈する。割れ目4, 9, 10の周辺の花崗岩は淡褐色に変色している。
割れ目の走向傾斜は、WNW走向高角度北傾斜とNNE走向高角度西傾斜が主体で、他に、WNW走向高角度南傾斜が認められる。
割れ目の介在物は、カルサイトとクロライトが認められる。
湧水は西側壁上部の割れ目3, 4および鏡右上の割れ目10から滴水程度で認められる。
岩級区分は、割れ目間隔が60~100cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、B (A・II・1) 級と評価した。

A工区地質記載シート

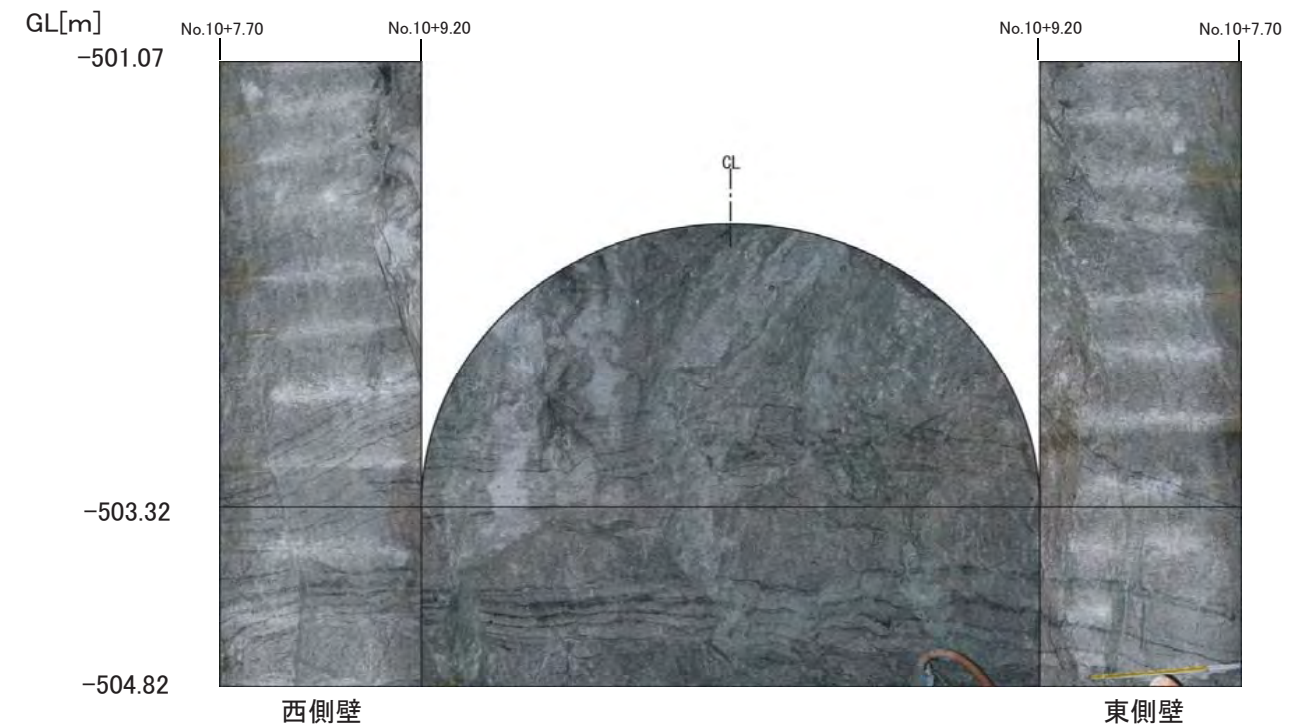
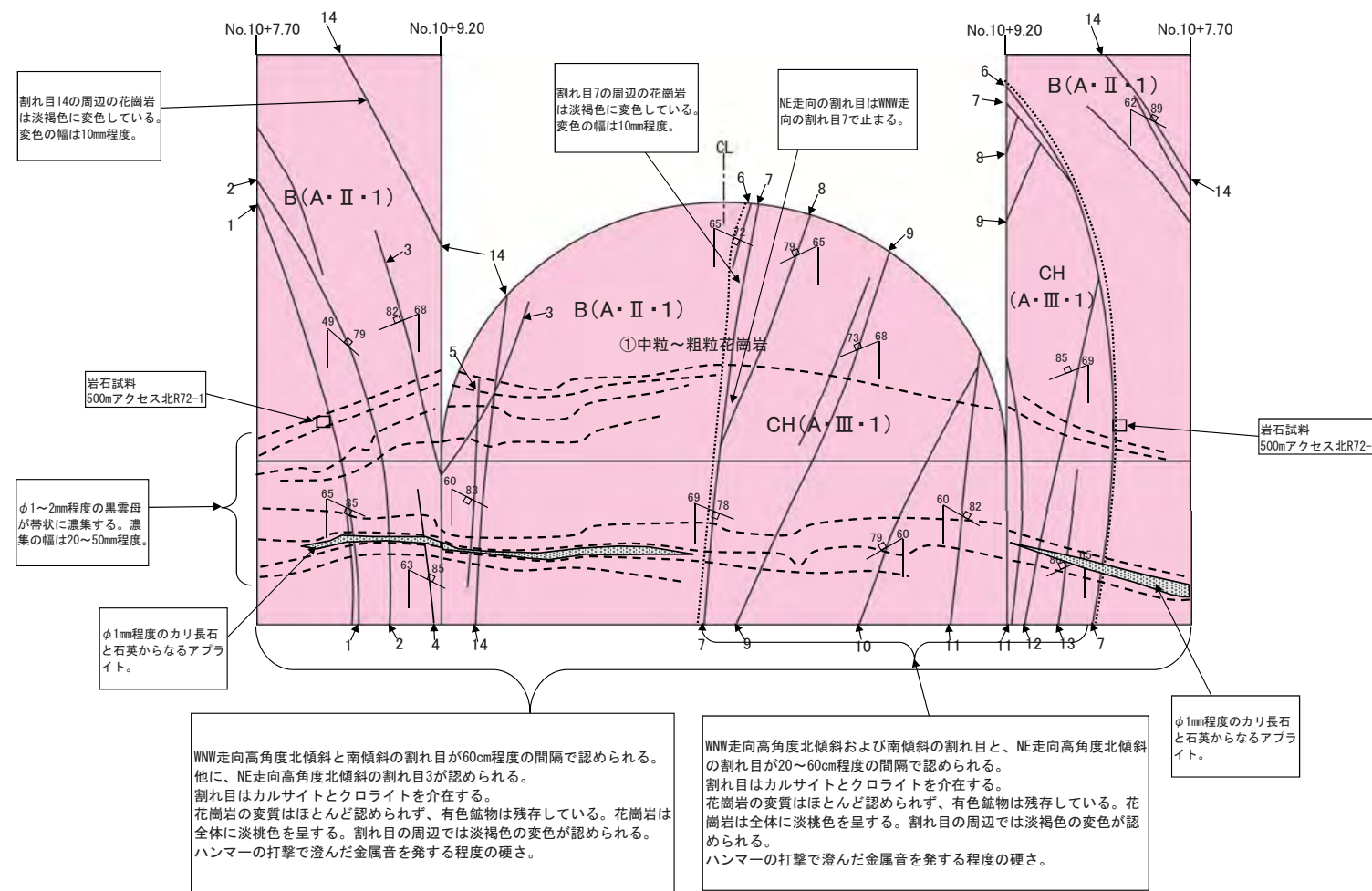
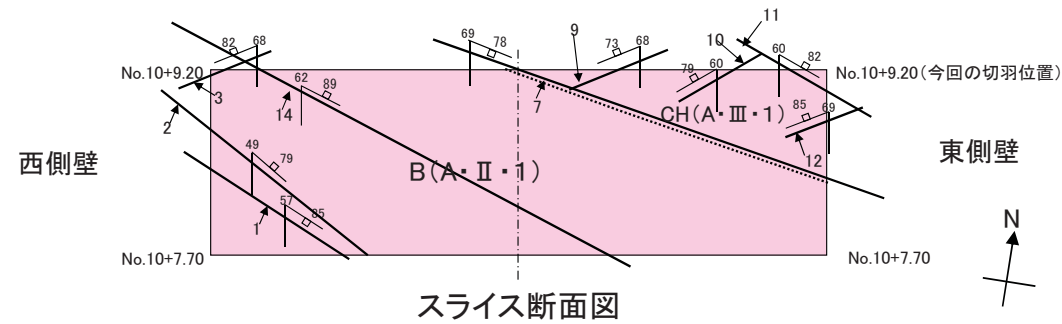
A5-請負-計測工(地質)-130628

シート番号	500mアクセス北坑道72	日時	2013/6/28 10:30~12:00	位置・深度	500mアクセス北坑道72 G.L. -501.07 m~G.L. -504.82 m	観察・撮影者	
-------	---------------	----	--------------------------	-------	--	--------	--

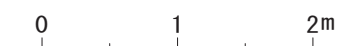
総括監督員	主任監督員	監督員	担当者

請負人 大林・大成・安藤ハザマ特定建設工事共同企業体
現場代理人

凡例 花崗岩 割れ目 割れ目の走向傾斜 岩級区分境界 湧水 黒雲母の濃集 アブライト



可視画像



スケッチ

岩種	花崗岩	電研式岩級	G.L. -501.07m~-503.32m G.L. -503.32m~-504.82m	B/CH B/CH
岩相	①中粒~粗粒花崗岩 (淡桃色、淡褐色)	RMR値	G.L. -501.07m~-503.32m G.L. -503.32m~-504.82m	80 80
風化	α	岩石試料番号	500mアクセス北R72-1 (花崗岩), 500mアクセス北R72-2 (花崗岩)	
変質	1~2	採水試料番号	-	
湧水	無し			

特記事項

当箇所はアクセス北坑道であり、掘進方向はN9°W方向である。横坑観察は切羽から1.5m離れた場所より目視観察を実施した。
岩種は花崗岩で、岩相は石英の粒径がφ2~7mm程度の中粒~粗粒花崗岩である。花崗岩に変質はほとんど認められず、有色鉱物は残存し、花崗岩は全体に淡桃色を呈する。WNW走向の割れ目1, 2, 5, 7, 11, 14の周辺の花崗岩は淡褐色に変色している。
割れ目の走向傾斜は、割れ目7から南西側では、WNW走向高角度北傾斜と南傾斜が主体。割れ目7から北東側では、WNW走向高角度北傾斜および南傾斜と、NE走向高角度北傾斜が主体である。

割れ目の介在物は、カルサイトとクロライトが認められる。
湧水は認められない。
岩級区分は、割れ目7から南西側では、割れ目間隔が60cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、B(A・II・1)級と評価した。割れ目7から北東側では、割れ目間隔が20~60cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、CH(A・III・1)級と評価した。

A工区地質記載シート

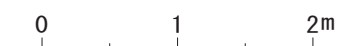
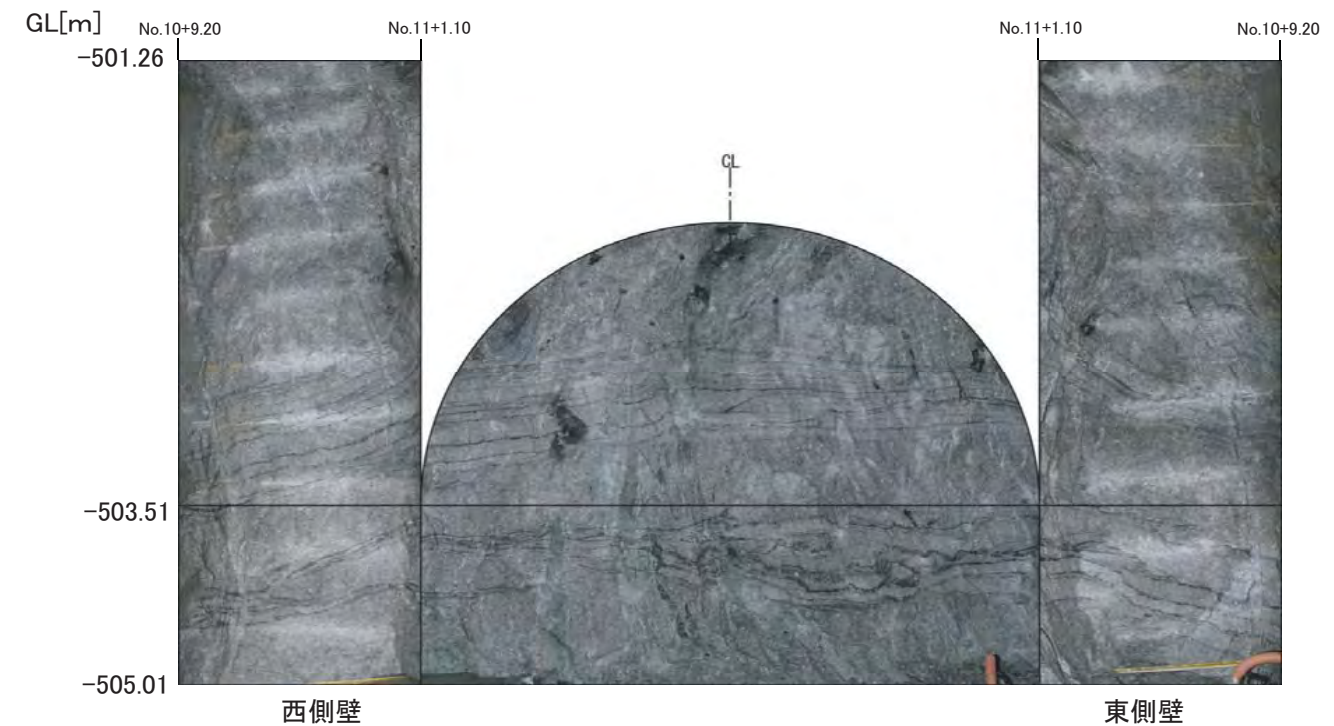
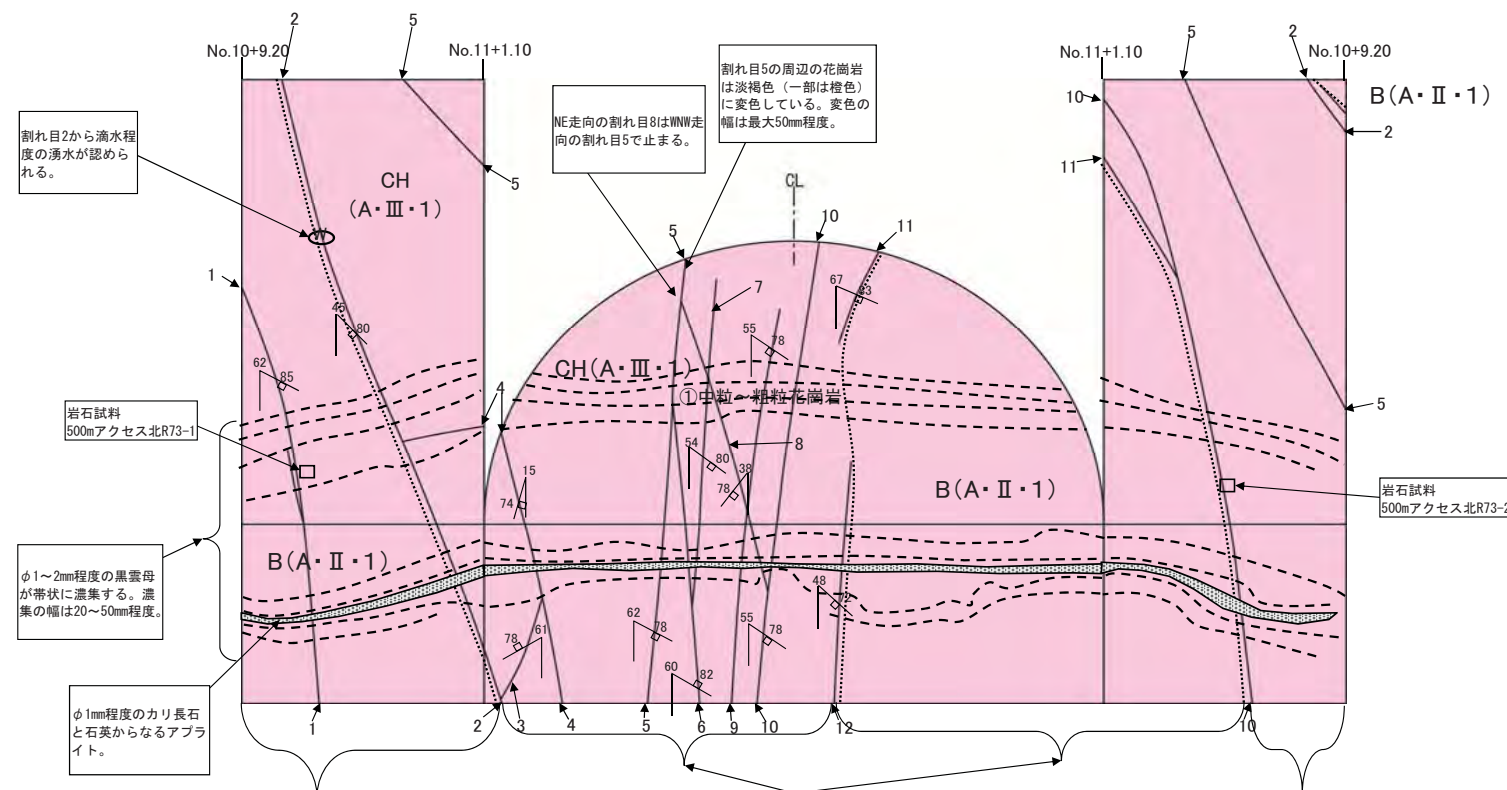
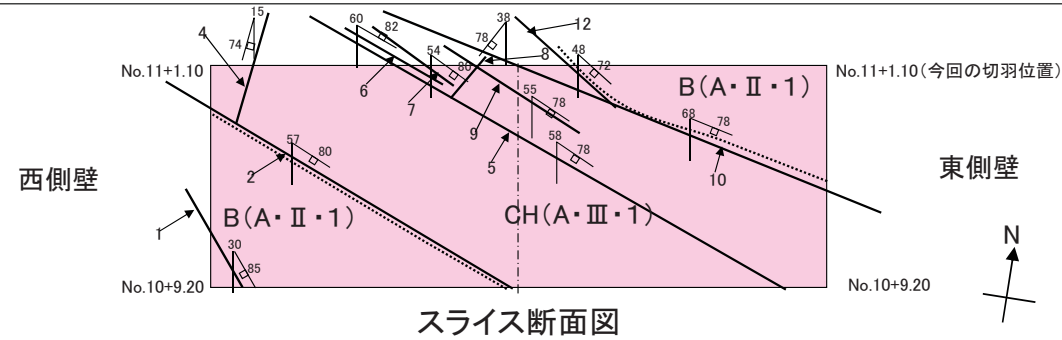
A5-請負-計測工(地質)-130629

シート番号	500mアクセス北坑道73	日時	2013/6/29 16:30~18:00	位置・深度	500mアクセス北坑道73 G.L. -501.16 m~G.L. -504.91 m	観察・撮影者	
-------	---------------	----	--------------------------	-------	--	--------	--

総括監督員	主任監督員	監督員	担当者

請負人 大林・大成・安藤ハザマ特定建設工事共同企業体
現場代理人

凡例	花崗岩	割れ目	割れ目の走向傾斜	岩級区分境界	湧水	黒雲母の濃集	アブライト
----	-----	-----	----------	--------	----	--------	-------



スケッチ

岩種	花崗岩	電研式岩級	G.L. -501.16m~-503.41m G.L. -503.41m~-504.91m	B/CH B/CH
岩相	①中粒~粗粒花崗岩 (淡桃色、淡褐色、橙色)	RMR値	G.L. -501.16m~-503.41m G.L. -503.41m~-504.91m	69 80
風化	α	岩石試料番号	500mアクセス北R73-1 (花崗岩), 500mアクセス北R73-2 (花崗岩)	
変質	1~2	採水試料番号	-	
湧水	滴水			

特記事項

当箇所はアクセス北坑道であり、掘進方向はN9°W方向である。横坑観察は切羽から1.9m離れた場所より目視観察を実施した。
岩種は花崗岩で、岩相は石英の粒径がφ2~7mm程度の中粒~粗粒花崗岩である。花崗岩に変質はほとんど認められず、有色鉱物は残存し、花崗岩は全体に淡桃色を呈する。WNW走向の割れ目1, 3, 5, 6の周辺の花崗岩は淡褐色に変色している。割れ目5の周辺では一部で橙色の変色も認められる。
割れ目の走向傾斜は、WNW走向高角度北傾斜とNNE走向高角度東傾斜が主体で、他にはNE走向高角度北傾斜、NW走向高角度北傾斜、NW走向高角度西傾斜が認められる。

割れ目の介在物は、カルサイトとクロライトが認められる。
湧水は西側壁上部の割れ目2から滴水程度で認められる。
岩級区分は、割れ目2から南西側と割れ目10~12付近から北東側では、割れ目間隔が60cm以上で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、B(A-II-1)級と評価した。割れ目2と割れ目10~12の間では、割れ目間隔が20~60cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、CH(A-III-1)級と評価した。

A工区地質記載シート

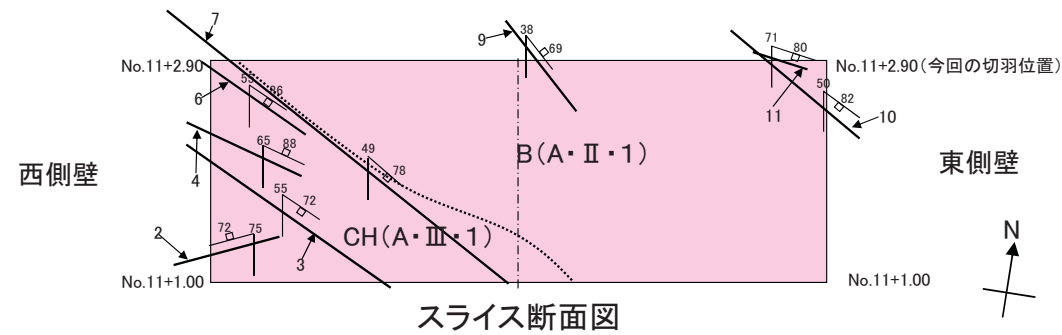
A5-請負-計測工(地質)-130702

シート番号	500mアクセス北坑道74	日時	2013/7/2 10:30~12:00	位置・深度	500mアクセス北坑道74 G.L. -501.44 m~G.L. -505.19 m	観察・撮影者	
-------	---------------	----	-------------------------	-------	--	--------	--

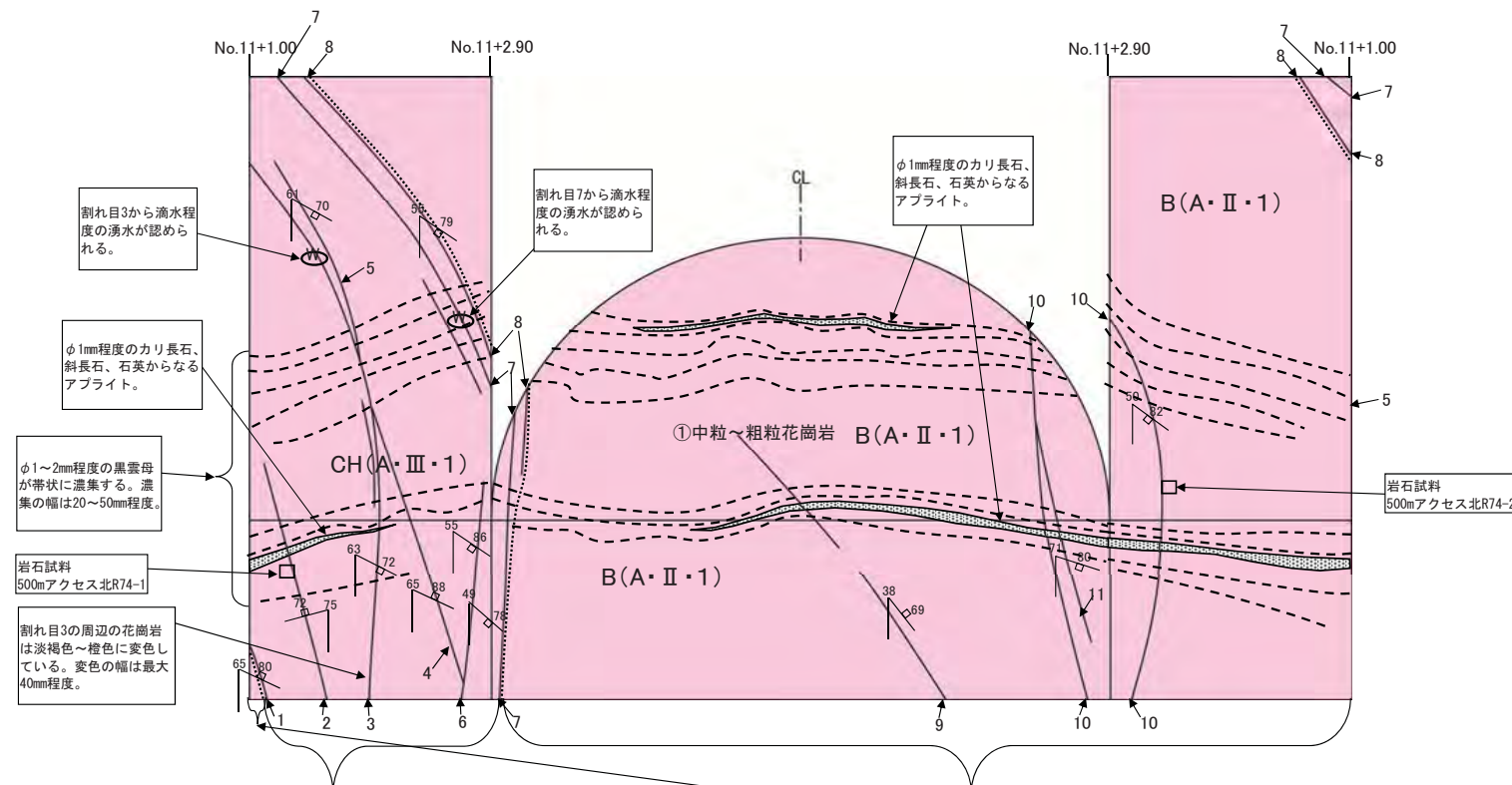
総括監督員	主任監督員	監督員	担当者

請負人 大林・大成・安藤ハザマ特定建設工事共同企業体
現場代理人

凡例 花崗岩 割れ目 割れ目の走向傾斜 岩級区分境界 湧水 黒雲母の濃集 アブライト



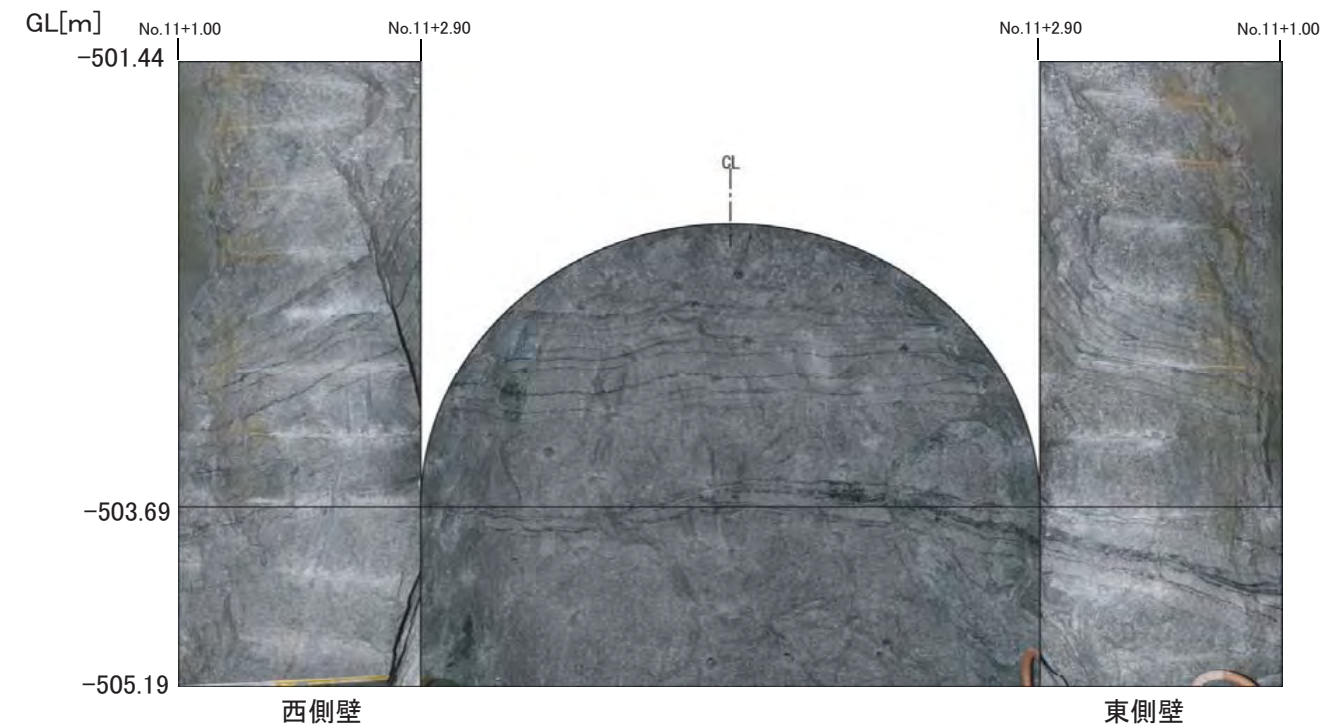
スライス断面図



WNW走向高角度北傾斜と南傾斜の割れ目が20~30cm程度の間隔で認められる。他には、ENE走向高角度北傾斜の割れ目2が認められる。割れ目はカルサイトとクローライトを介在する。花崗岩の変質はほとんど認められず、有色鉱物は残存している。花崗岩は全体に淡桃色を呈する。割れ目の周辺では淡褐色や橙色の変色が認められる。ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さ。

WNW走向高角度南傾斜の割れ目が60~100cm程度の間隔で認められる。他に、NW走向高角度北傾斜の割れ目9が認められる。割れ目はクローライトとカルサイトを介在する。花崗岩の変質はほとんど認められず、有色鉱物は残存している。花崗岩は全体に淡桃色を呈する。割れ目の周辺では淡褐色の変色が認められる。ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さ。

スケッチ



可視画像

0 1 2m

岩種	花崗岩	電研式岩級	G.L. -501.44m~-503.69m B/CH G.L. -503.69m~-505.19m B/CH
岩相	①中粒~粗粒花崗岩 (淡桃色、淡褐色、橙色)	RMR値	G.L. -501.44m~-503.69m 69 G.L. -503.69m~-505.19m 80
風化	α	岩石試料番号	500mアクセス北R74-1 (花崗岩), 500mアクセス北R74-2 (花崗岩)
変質	1~2	採水試料番号	-
湧水	滴水		

特記事項

当箇所はアクセス北坑道であり、掘進方向はN9°W方向である。横坑観察は切羽から1.8m離れた場所より目視観察を実施した。岩種は花崗岩で、岩相は石英の粒径がφ2~8mm程度の中粒~粗粒花崗岩である。所々にφ10mm程度のカリ長石が認められる。花崗岩に変質はほとんど認められず、有色鉱物は残存し、花崗岩は全体に淡桃色を呈する。割れ目1, 2, 7, 10, 11周辺の花崗岩は、淡褐色に変色している。割れ目3の周辺では橙色の変色が認められる。割れ目の走向傾斜は、WNW走向高角度北傾斜と南傾斜が主体で、他には、ENE走向高角度北傾斜が認められる。

割れ目の介在物は、カルサイトとクローライトが認められる。湧水は西側壁上部の割れ目3と割れ目7から滴水程度で認められる。岩級区分は、割れ目1から南西側と割れ目7~8付近から北東側では、割れ目間隔が60~100cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、B(A・II・1)級と評価した。割れ目1と割れ目7~8付近までの間は、割れ目間隔が20~30cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、CH(A・III・1)級と評価した。

A工区地質記載シート

A5-請負-計測工(地質)-130703

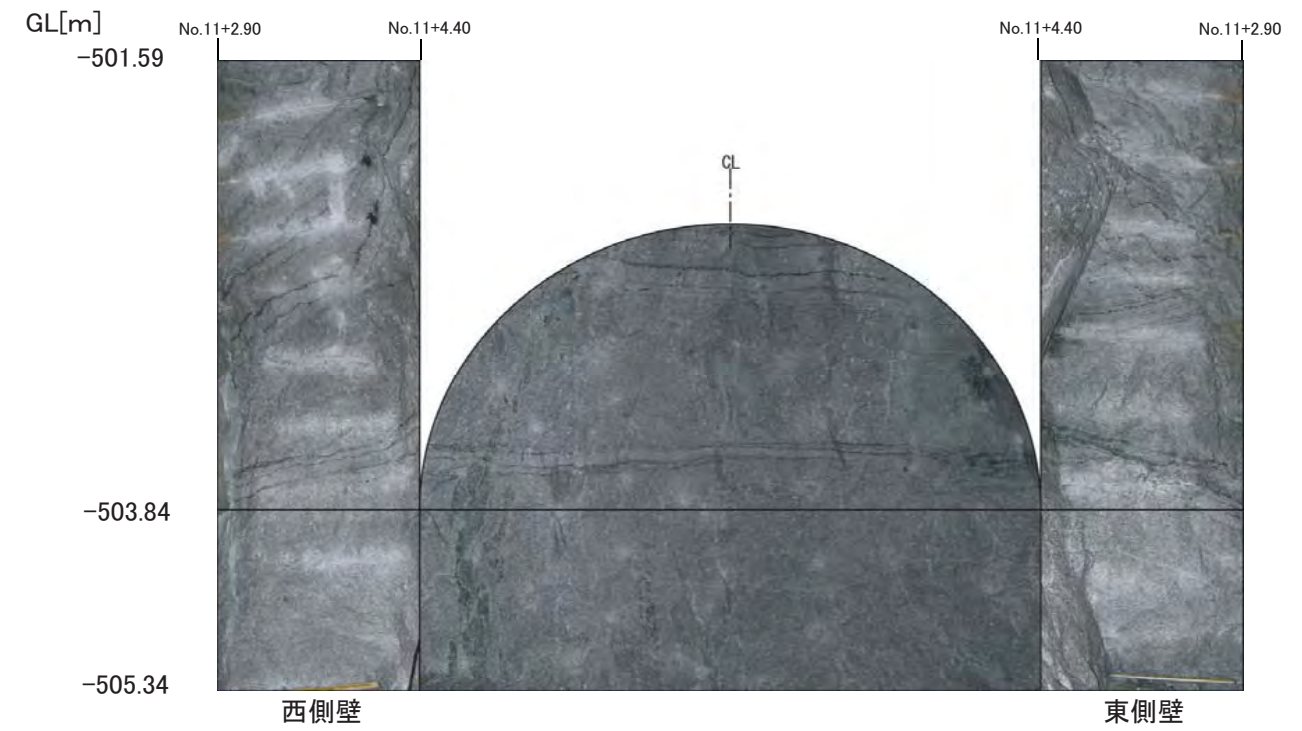
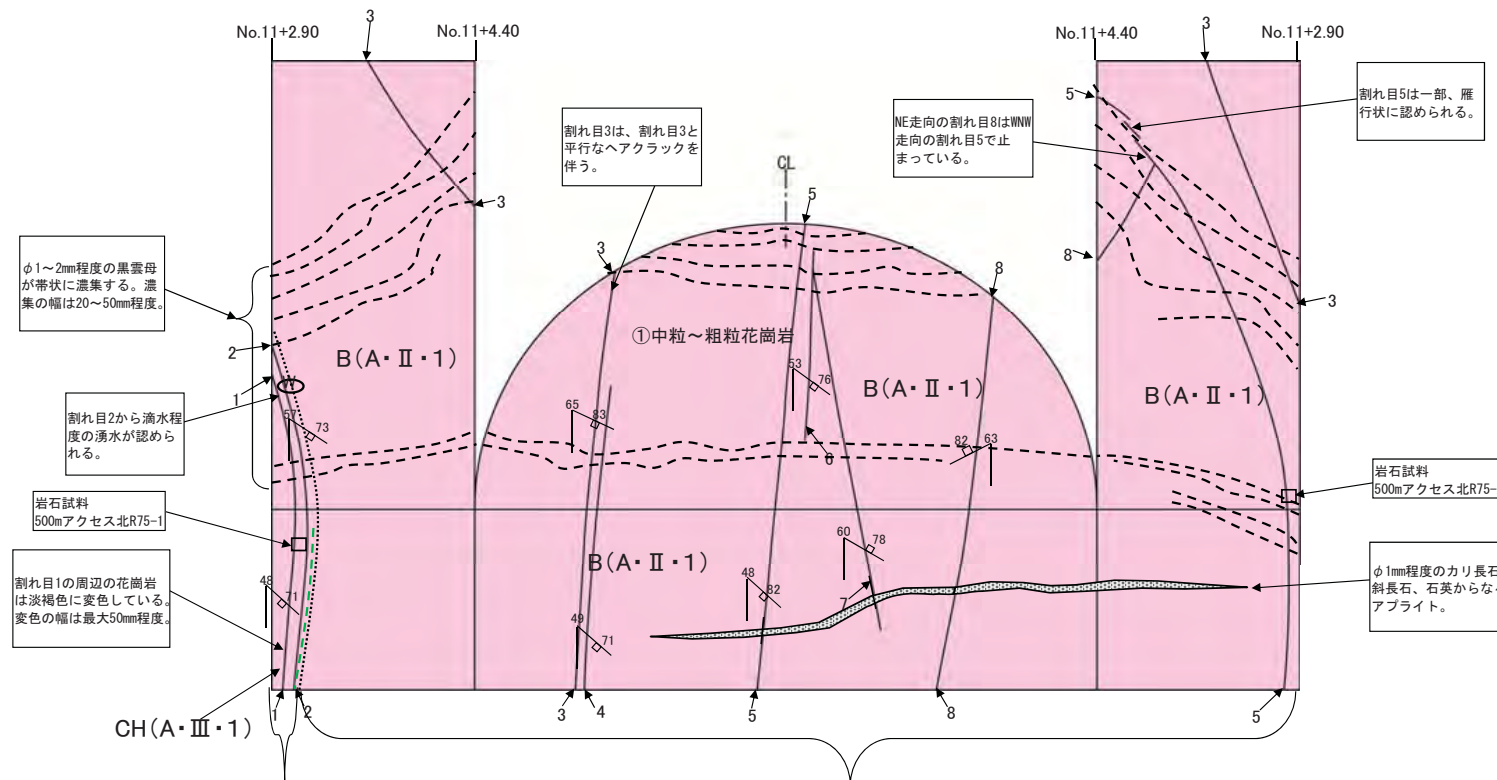
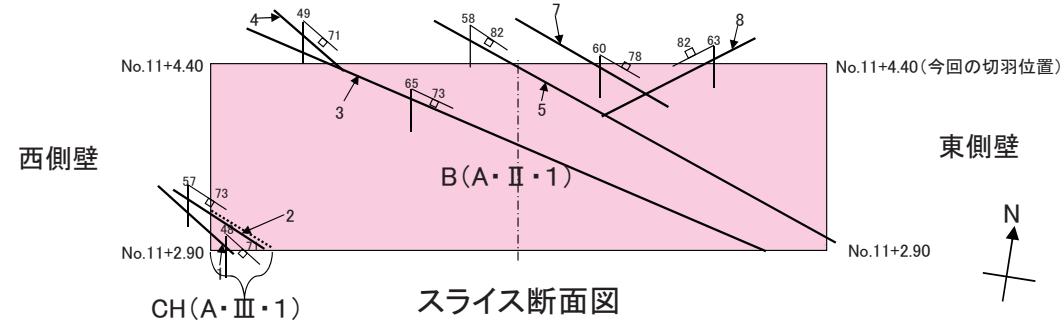
シート番号	500mアクセス北坑道75	日時	2013/7/3 10:30~12:00	位置・深度	500mアクセス北坑道75 G.L. -501.59 m~G.L. -505.34 m	観察・撮影者	
-------	---------------	----	-------------------------	-------	--	--------	--

総括監督員	主任監督員	監督員	担当者

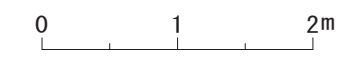
請負人 大林・大成・安藤ハザマ特定建設工事共同企業体
現場代理人

凡例

	花崗岩		割れ目		割れ目の走向傾斜		岩級区分境界		湧水		黒雲母の濃集		アブライト		クロライト脈
--	-----	--	-----	--	----------	--	--------	--	----	--	--------	--	-------	--	--------



可視画像



スケッチ

岩種	花崗岩	電研式岩級	G.L. -501.59m~-503.84m G.L. -503.84m~-505.34m	B/CH B/CH
岩相	①中粒~粗粒花崗岩 (淡桃色、淡褐色)	RMR値	G.L. -501.59m~-503.84m G.L. -503.84m~-505.34m	74 85
風化	α	岩石試料番号	500mアクセス北R75-1 (花崗岩), 500mアクセス北R75-2 (花崗岩)	
変質	1~2	採水試料番号	-	
湧水	滴水			

特記事項

当箇所はアクセス北坑道であり、掘進方向はN9°W方向である。横坑観察は切羽から1.5m離れた場所より目視観察を実施した。

岩種は花崗岩で、岩相は石英の粒径がφ2~8mm程度の中粒~粗粒花崗岩である。所々にφ10mm程度のカリ長石が認められる。

花崗岩に変質はほとんど認められず、有色鉱物は残存し、花崗岩は全体に淡桃色を呈する。割れ目1, 2, 3, 4周辺の花崗岩は、淡褐色に変色している。

割れ目の走向傾斜は、WNW走向高角度南傾斜が主体で、他に、WNW走向高角度北傾斜や、NE走向高角度北傾斜が認められる。

割れ目の介在物は、カルサイトとクロライトが認められる。

湧水は西側壁上部の割れ目2から滴水程度で認められる。

岩級区分は、割れ目2から北東側では、割れ目間隔が60~100cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、B(A・Ⅱ・1)級と評価した。割れ目2から南西側では、割れ目間隔が20~30cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、CH(A・Ⅲ・1)級と評価した。

A工区地質記載シート

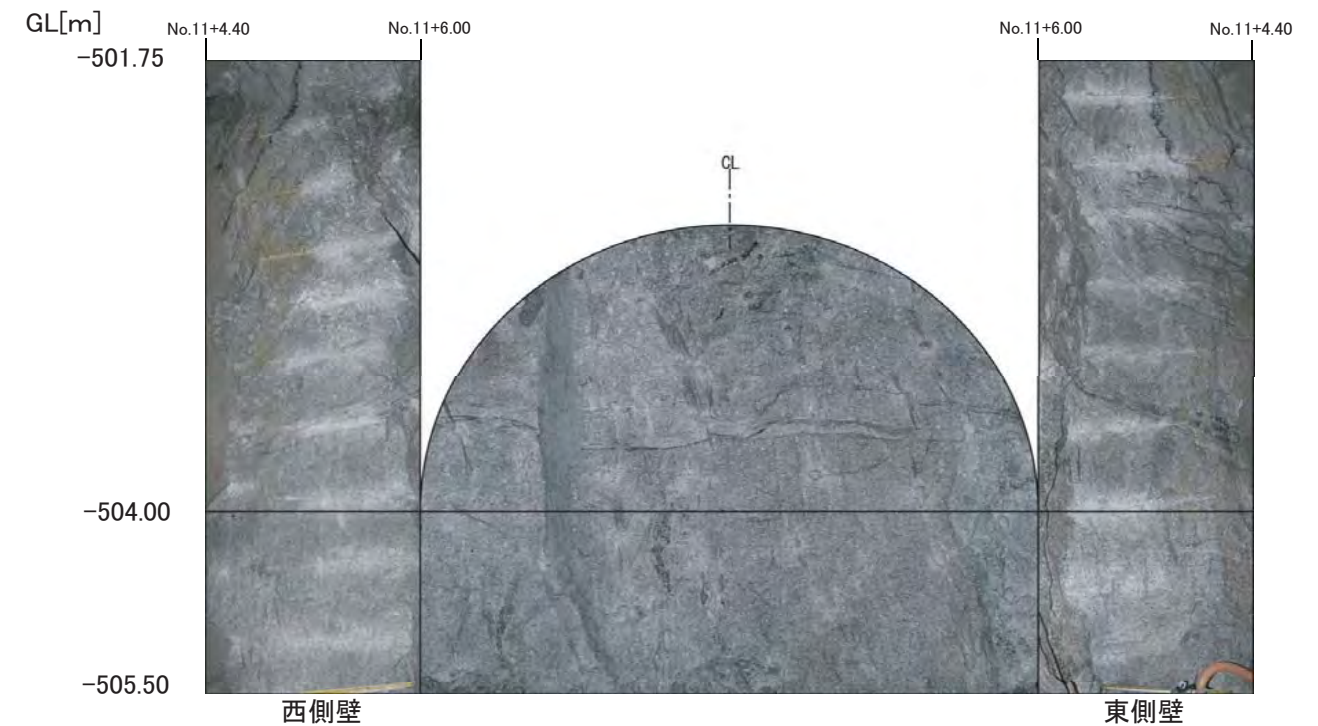
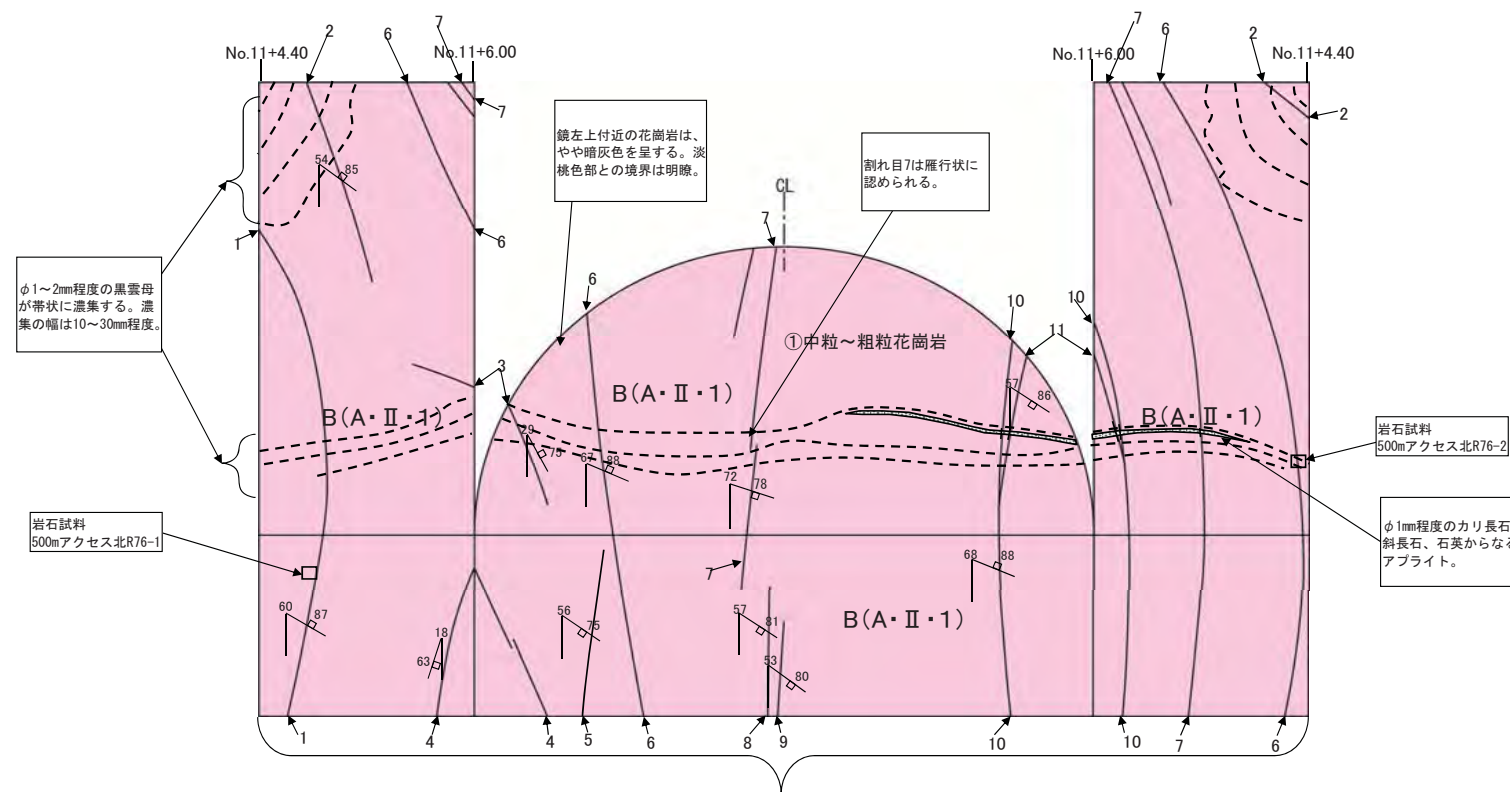
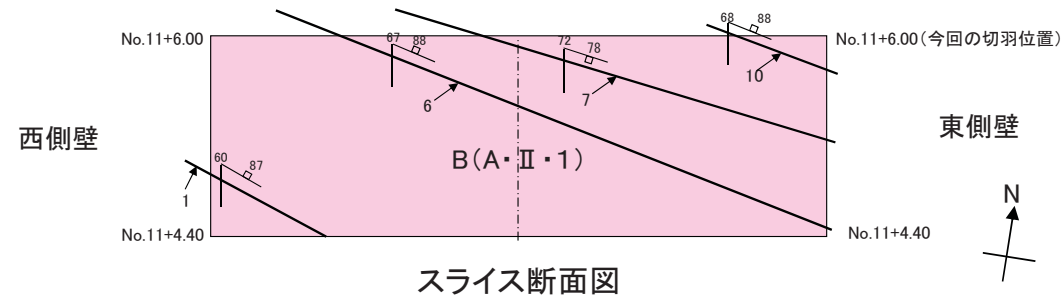
A5-請負-計測工(地質)-130705

シート番号	500mアクセス北坑道76	日時	2013/7/5 9:30~11:00	位置・深度	500mアクセス北坑道76 G.L. -501.75 m~G.L. -505.50 m	観察・撮影者	
-------	---------------	----	------------------------	-------	--	--------	--

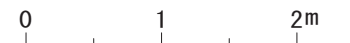
総括監督員	主任監督員	監督員	担当者

請負人 大林・大成・安藤ハザマ特定建設工事共同企業体
現場代理人

凡例 花崗岩 割れ目 割れ目の走向傾斜 岩級区分境界 湧水 黒雲母の濃集 アブライト



可視画像



岩種	花崗岩	電研式岩級	G.L. -501.75m~-504m B G.L. -504m~-505.5m B
岩相	①中粒～粗粒花崗岩 (淡桃色、淡褐色)	RMR値	G.L. -501.75m~-504m 85 G.L. -504m~-505.5m 85
風化	α	岩石試料番号	500mアクセス北R76-1 (花崗岩), 500mアクセス北R76-2 (花崗岩)
変質	1~2	採水試料番号	-
湧水	無し		

特記事項

当箇所はアクセス北坑道であり、掘進方向はN9° W方向である。横坑観察は切羽から1.6m離れた場所より目視観察を実施した。
岩種は花崗岩で、岩相は石英の粒径がφ2～8mm程度の中粒～粗粒花崗岩である。所々にφ10mm程度のカリ長石が認められる。
花崗岩に変質はほとんど認められず、有色鉱物は残存し、花崗岩は全体に淡桃色を呈する。割れ目7, 8, 9, 10, 11周辺の花崗岩は、淡褐色に変色している。
割れ目の走向傾斜は、WNW走向高角度南傾斜と北傾斜が主体で、他に、NW走向高角度東傾斜や、NNE走向高角度東傾斜が認められる。

割れ目の介在物は、カルサイトとクロライトが認められる。
湧水は認められなかった。
岩級区分は、割れ目間隔が60～100cm程度で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、B(A・II・1)級と評価した。

A工区地質記載シート

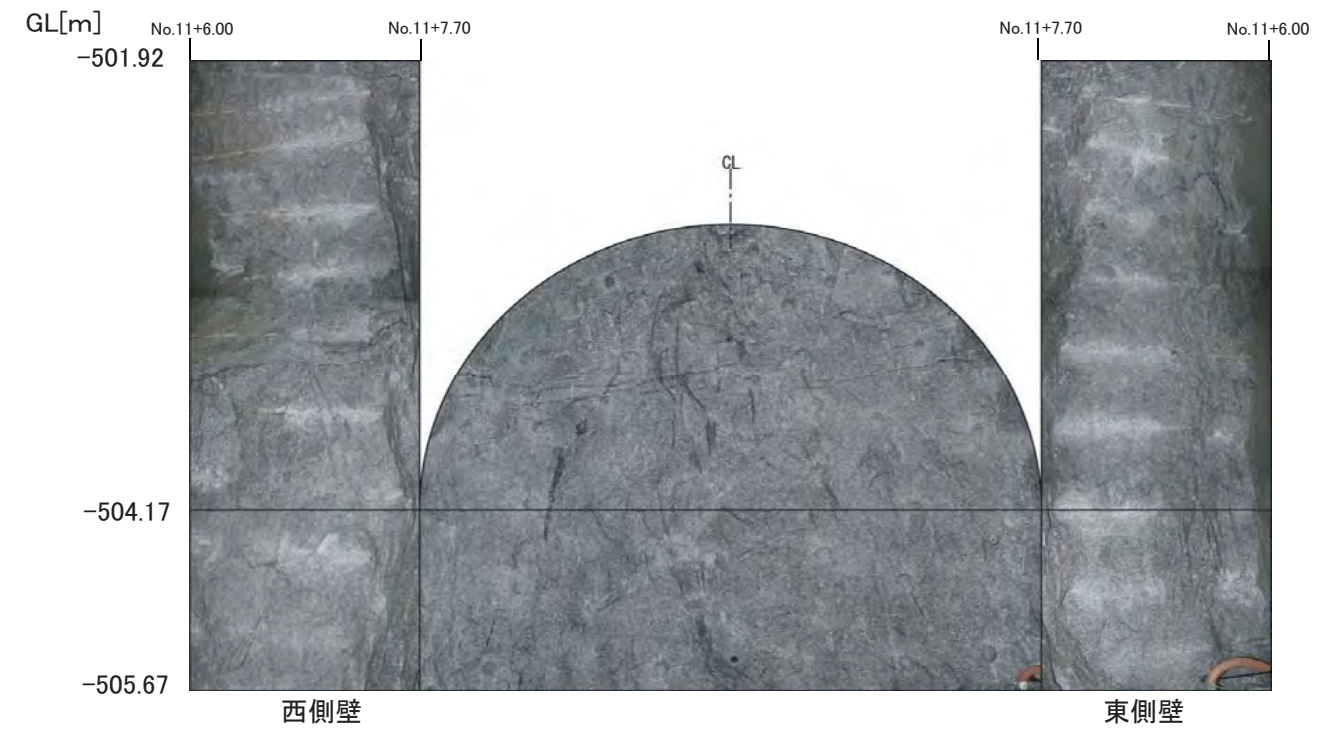
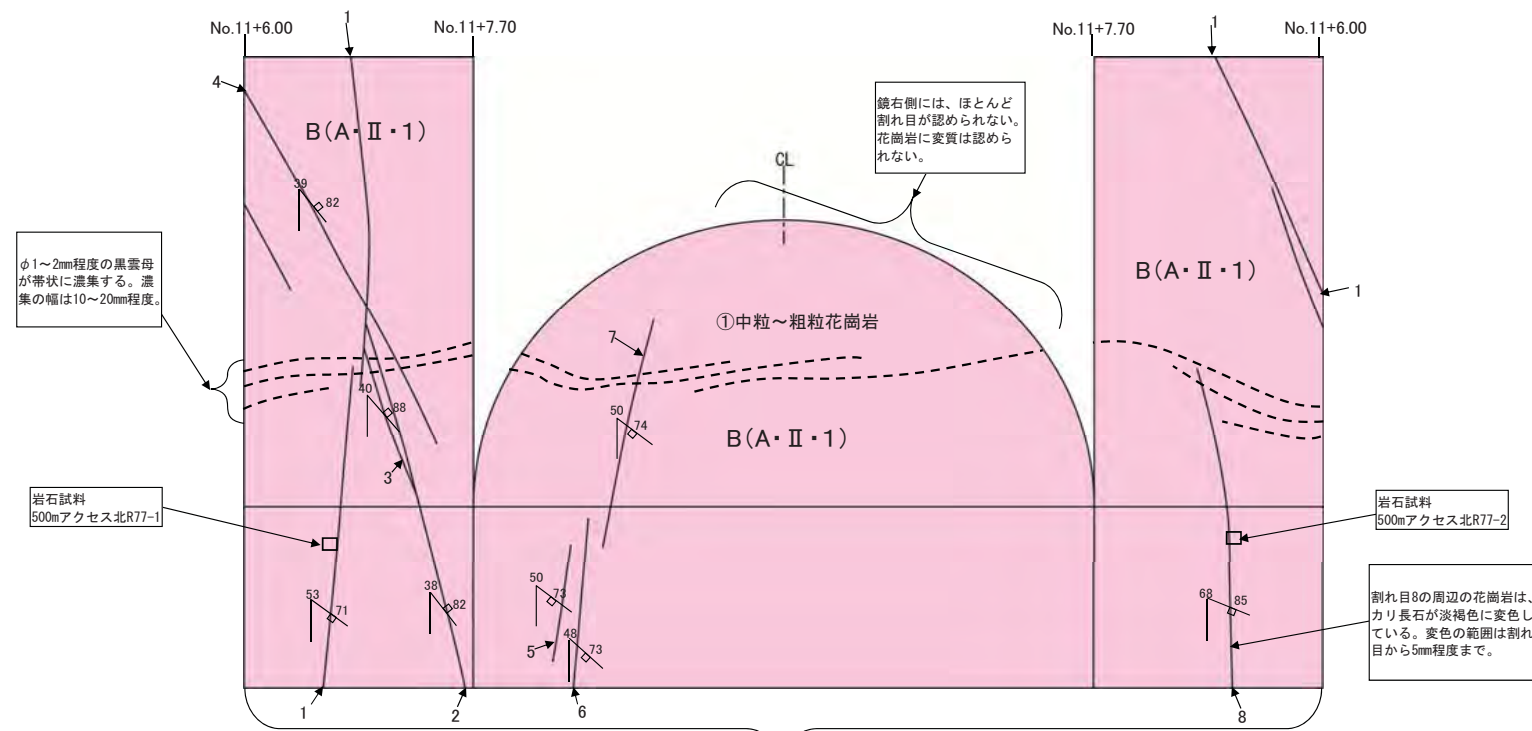
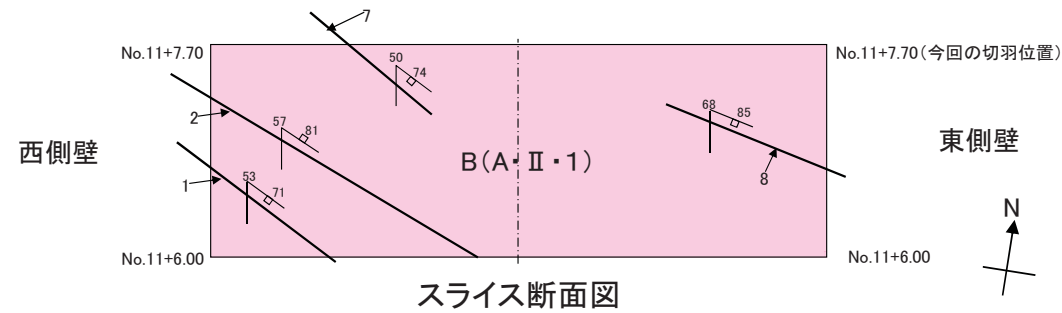
A5-請負-計測工(地質)-130708

シート番号	500mアクセス北坑道77	日時	2013/7/8 14:30~16:00	位置・深度	500mアクセス北坑道77 G.L. -501.92 m~G.L. -505.67 m	観察・撮影者	
-------	---------------	----	-------------------------	-------	--	--------	--

総括監督員	主任監督員	監督員	担当者

請負人 大林・大成・安藤ハザマ特定建設工事共同企業体
現場代理人

凡例 花崗岩 割れ目 割れ目の走向傾斜 岩級区分境界 湧水 黒雲母の濃集 アブライト



WNW走向高角度南傾斜と北傾斜、およびNW走向高角度北傾斜と南傾斜の割れ目が、60~100cm以上の間隔で認められる。
割れ目はクロライトとカルサイトを介在する。
花崗岩の変質はほとんど認められず、有色鉱物は残存している。花崗岩は全体に淡桃色を呈する。
ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さ。

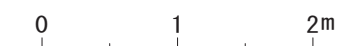
スケッチ

岩種	花崗岩	電研式岩級	G.L. -501.92m~-504.17m B G.L. -504.17m~-505.67m B
岩相	①中粒~粗粒花崗岩 (淡桃色、淡褐色)	RMR値	G.L. -501.92m~-504.17m 85 G.L. -504.17m~-505.67m 85
風化	α	岩石試料番号	500mアクセス北R77-1 (花崗岩), 500mアクセス北R77-2 (花崗岩)
変質	1~2	採水試料番号	-
湧水	無し		

特記事項

当箇所はアクセス北坑道であり、掘進方向はN9° W方向である。横坑観察は切羽から1.7m離れた場所より目視観察を実施した。
岩種は花崗岩で、岩相は石英の粒径がφ2~8mm程度の中粒~粗粒花崗岩である。所々にφ10mm程度のカリ長石が認められる。
花崗岩に変質はほとんど認められず、有色鉱物は残存し、花崗岩は全体に淡桃色を呈する。割れ目8周辺の花崗岩は、カリ長石が淡褐色に変色している。
割れ目の走向傾斜は、WNW走向高角度南傾斜と北傾斜、およびNW走向高角度北傾斜と南傾斜が認められる。

割れ目の介在物は、カルサイトとクロライトが認められる。
湧水は認められなかった。
岩級区分は、割れ目間隔が60~100cm以上で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、B(A・II・1)級と評価した。



A工区地質記載シート

A5-請負-計測工(地質)-130709

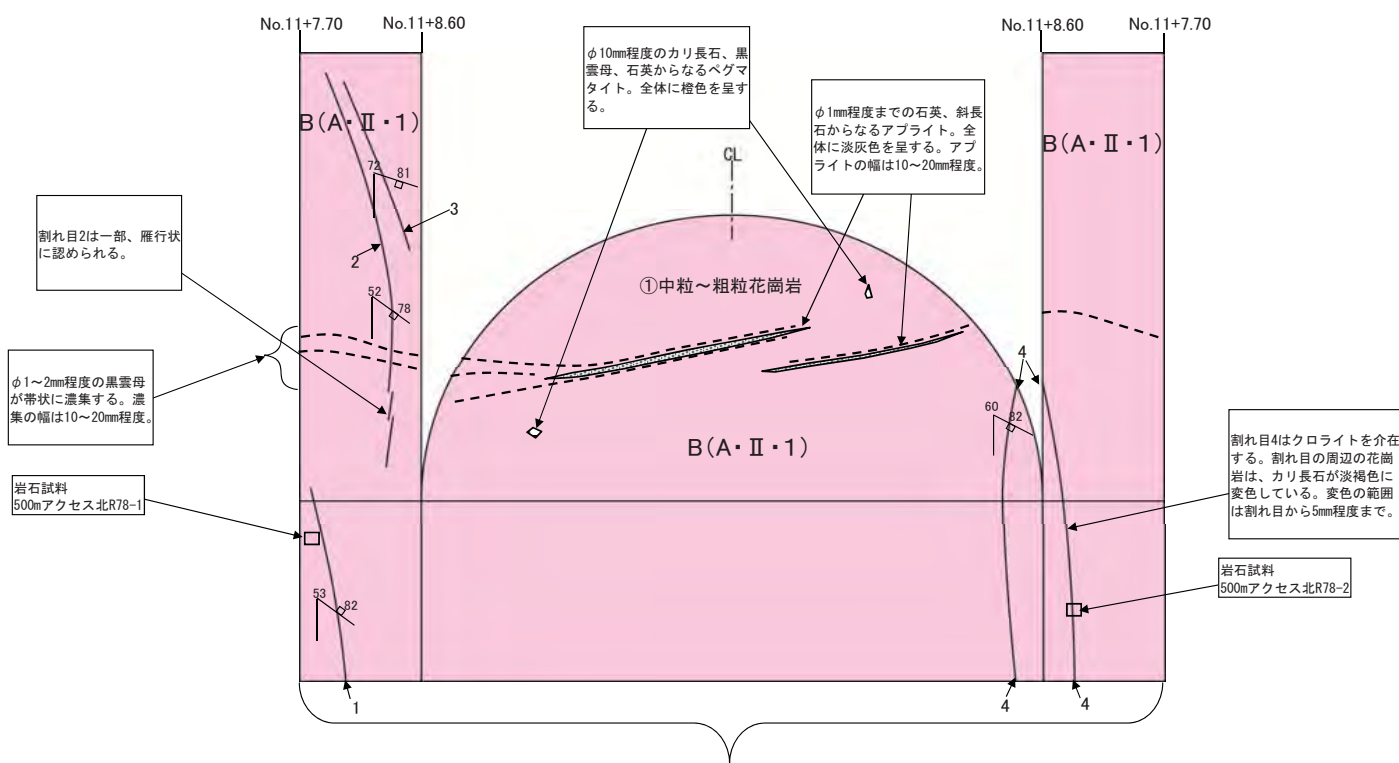
シート番号	500mアクセス北坑道78	日時	2013/7/9 17:30~19:00	位置・深度	500mアクセス北坑道78 G.L. -502.01 m~G.L. -505.76 m	観察・撮影者	
-------	---------------	----	-------------------------	-------	--	--------	--

総括監督員	主任監督員	監督員	担当者

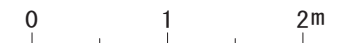
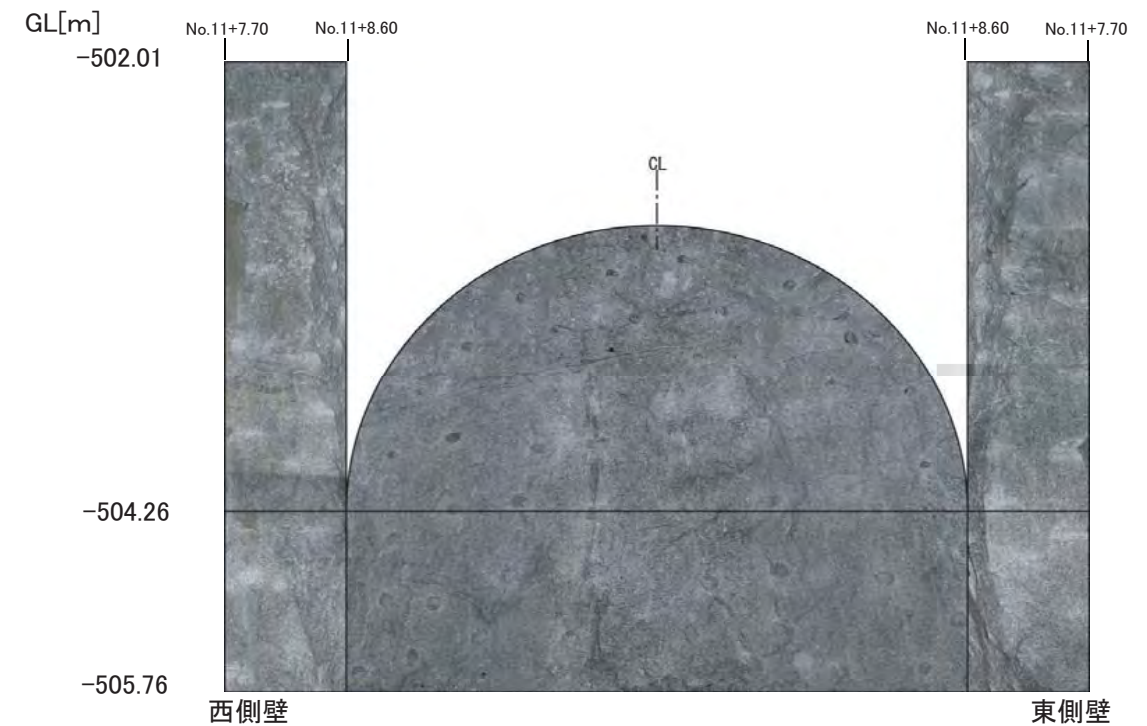
請負人 大林・大成・安藤ハザマ特定建設工事共同企業体
現場代理人

凡例

スライス断面図



WNW走向高角度南傾斜と北傾斜の割れ目が、60~100cm以上の間隔で認められる。
割れ目はクロライトとカルサイトを介在する。
花崗岩の変質はほとんど認められず、有色鉱物は残存している。花崗岩は全体に淡桃色を呈する。
ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さ。



スケッチ

岩種	花崗岩	電研式岩級	G.L. -502.01m~-504.26m G.L. -504.26m~-505.76m	B B
岩相	①中粒~粗粒花崗岩 (淡桃色、淡褐色)	RMR値	G.L. -502.01m~-504.26m G.L. -504.26m~-505.76m	90 90
風化	α	岩石試料番号	500mアクセス北R78-1 (花崗岩), 500mアクセス北R78-2 (花崗岩)	
変質	1~2	採水試料番号	-	
湧水	無し			

特記事項

当箇所はアクセス北坑道であり、掘進方向はN9° W方向である。横坑観察は切羽から0.9m離れた場所より目視観察を実施した。
岩種は花崗岩で、岩相は石英の粒径がφ2~8mm程度の中粒~粗粒花崗岩である。花崗岩に変質はほとんど認められず、有色鉱物は残存し、花崗岩は全体に淡桃色を呈する。割れ目4周辺の花崗岩は、カリ長石が淡褐色に変色している。割れ目の走向傾斜は、WNW走向高角度南傾斜と北傾斜が認められる。
割れ目の介在物は、カルサイトとクロライトが認められる。
湧水は認められなかった。
岩級区分は、割れ目間隔が60~100cm以上で、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する程度の硬さであることから、B (A・II・1) 級と評価した。